

モーターボート競走公益資金による  
財団法人日本船舶振興会の補助事業

# 家屋の評価に用いる建築費等に関する調査研究

—主要都市における建築費等に係る地域差及び平均的な家屋の概況—

昭和 59 年 3 月

財団法人 資産評価システム研究センター



## は し が き

財団法人資産評価システム研究センターは、主として地域の資産に関する調査研究の実施を目的として、昭和53年5月発足しました。

当評価センターにおける調査研究は、資産評価の基礎理論及び地方公共団体における資産評価技法の両面にわたって、毎年度、学識経験者並びに自治省、地方公共団体等の関係者をもって構成する資産評価システム、土地、家屋及び償却資産の各部門ごとの研究委員会において行われ、その成果は、直接、会員である地方公共団体等に配付のうえ、その活用を期待するとともに、当評価センターの実施する研修会、資料・情報の発行等、会員に対する便益提供のための各種事業の基盤ともなってきたところであります。

ここに、昭和58年度における調査研究の成果をとりまとめ公表することになりましたが、この機会に、熱心にご研究、ご審議をいただいた研究委員各位並びに実地調査に当たって種々ご協力を賜った地方公共団体関係者各位に心から感謝申しあげる次第であります。

なお、当評価センターは、今後とも、所期の目的にそって、事業内容の充実のためさらに努力を傾注する所存であります。地方公共団体をはじめ関係団体の皆様の一層のご指導、ご援助をお願い申しあげる次第であります。

最後に、この調査研究事業は、モーターボート競走公益資金による財団法人日本船舶振興会の補助金の交付を受けて実施したものであり、改めて深く感謝の意を表するものであります。

昭和59年3月

財団法人 資産評価システム研究センター  
理事長 山下 稔

## 研 究 組 織

### 家屋研究委員会

- (委員長) 松 下 清 夫 東京大学名誉教授
- (委員) 加 藤 裕 久 小山工業高等専門学校助教授
- 宍 道 恒 信 宍道建築設計事務所長
- 西 沢 博 電気通信共済会建築部調査役
- 上 杉 啓 東洋大学助教授
- 吉 田 倬 郎 工学院大学助教授
- 黒 田 隆 (財)建設物価調査会技術顧問
- 斉 藤 順 男 清水建設(株)設備部長
- 関 根 繁 夫 (株)大林組建築本部設備部次長
- 石 山 晴 一 住宅金融公庫建設指導部次長
- 湯 浅 利 夫 自治省府県税課長
- 鶴 岡 啓 一 自治省固定資産税課長
- 須 永 清 自治省固定資産課固定資産鑑定官
- 吉 田 隆 一 (財)資産評価システム研究センター調査研究部長
- (専門員) 島 野 高 治 自治省固定資産税課家屋第一係長
- 笹 木 平 自治省固定資産税課家屋第二係長
- 市 瀬 惟 義 (財)資産評価システム研究センター主任研究員

# 目 次

I	調査研究の目的等	1
1	目 的	1
2	調査方法	1
(1)	意 義	1
(2)	調査対象家屋	2
(3)	調査項目	2
(4)	調査の方法	2
3	調査結果の集計	2
(1)	とりまとめ方	2
(2)	凡 例	3
II	調査結果の概要	5
1	木造家屋に係る建築価額等の状況調査	5
(1)	建築価額等の推移	5
(2)	建築価額等の地域差等	6
(3)	建築価額及び修正建築価額の段階区分別構成比	13
(4)	物価水準補正率区分別建築価額等の状況	17
(5)	評点水準の状況	19
2	部分別の使用資材の状況調査	21
(1)	再建築費評点数の部分別構成比	21
(2)	主な部分別の使用資材等の地域差	24
3	平均的な家屋の一般的な使用資材等の状況	26
III	計数資料等	38
(1)	別表1 木造家屋に係る建築価額等の状況	38
(2)	別表2 木造家屋に係る建築価額等の指数年次比較	39
(3)	別表3 木造家屋に係る建築価額等の物価水準別状況	41
(4)	別表4 木造家屋に係る部分別構成比の状況	42
(5)	別表5 木造家屋に係る部分別（主要部分）評点数の状況	46
(6)	別表6 木造家屋に係る建築価額等の状況（3か年度平均）	47

(7)	別表 7	木造家屋に係る建築価額等の物価水準別状況 (3か年度平均) .....	51
(8)	別表 8	木造家屋に係る部分別(主要部分)評点数の 指数の状況(3か年度) .....	52
(9)	別図 1	木造家屋に係る建築価額等の都市別比較(昭 和58年度) .....	55
(10)	別図 2	木造家屋に係る建築価額等の都市別比較(3 か年度平均) .....	56
(11)	別図 3	木造家屋に係る部分別構成比の年次比較(3 か年度) .....	57
(12)	調査対象都市別の部分別仕上げ資材等一覧表 .....		58
IV 参考資料 .....			87
1	主要建築材料の卸売物価指数 .....		87
2	建築工事職種別労務費の上昇状況 .....		88
3	都道府県別木造居住用建物の工事予定単価(昭和53~ 57年) .....		89
4	消費者物価指数(昭和57年総合) .....		90

# 家屋の評価に用いる建築費等に関する調査研究

## I 調査研究の目的等

### 1 目 的

家屋の価額を求める手法として再建築価額を基準とする評価方法が定着している。再建築価額は、家屋の価額の構成要素として基本的なものであり、その評価の方式化も比較的容易であるため、地方税（不動産取得税及び固定資産税）における家屋の評価においてもこの方法が採られている。

当センターでは、専ら地方公共団体における評価実務の参考に供するため、昭和53年度から全国主要都市における建築費の実態、建築費と再建築価額を基準とした評価額との結び付きなどについて調査研究を行っているところである。

この調査研究の主な目的は、次のとおりである。

- ① 全国主要都市における標準的な木造家屋の建築価額の実態を把握するとともに、その推移を見ること。
- ② 標準的な木造家屋に係る建築価額について、全国主要都市間の地域差の状況を把握するとともに、固定資産評価基準（昭和38年自治省告示第158号）に定める物価水準による補正率との関連性を見ること。
- ③ 全国主要都市における標準的な木造家屋の構造様式、形状、規模、使用資材及びその施工量の状況を把握するとともに、建築費の主要構成部分別割合及びその地域差を明らかにすること。
- ④ その他全国主要都市における標準的な木造家屋について必要な経年比較を行うとともに、地域差の状況を明らかにすること。

なお、本年度は、専ら標本抽出調査である本調査を補うため、新たに、各調査対象都市における平均的な家屋の「一般的な使用資材の状況」についても調査したので、その結果を分析することとした。

### 2 調査方法

#### (1) 意 義

この調査は、昭和57年中に建築された木造専用住宅普通建て、その規模、構造及び形状が中庸である家屋を母集団とし、各調査対象都市からその標本となる家屋を各1棟抽出し、調査、分析することにより、当該母集団における地域差等を統計的に推定しようとするものである。また、抽出

家屋が各都道府県庁所在都市ごとに各1棟と極めて少数であるが、毎年度、当該都市の固定資産（家屋）評価担当職員に依頼して各都市に建築された同程度の家屋について調査しているので、建築価額等の推移についてあらましの傾向を把握することができるものとする。

なお、本年度においては、各調査対象都市における平均的な家屋に係る一般的な使用資材及び施工状況を標本調査ではなく、担当職員に対するアンケート調査という方式で行った。

## (2) 調査対象家屋

- ① 用途・構造 木造専用住宅普通建（昭和57年中に新築されたもの）
- ② 選定棟数 都道府県庁所在都市ごとに各1棟（総数47棟）
- ③ 程度・規模 各都市において、規模、構造及び形状が最も中庸なもの（住宅金融公庫の融資対象住宅に限る。）

## (3) 調査項目

### ア 調査対象家屋に係るもの

- ① 建築価額
- ② 構造様式、形状及び使用資材別施工量
- ③ 再建築費評点数の算出根拠（部分別内訳）

### イ その他

- ① 調査対象都市の平均的な家屋において使用頻度の多い資材名等
- ② その他建築費に関する必要事項

## (4) 調査の方法

- ① 調査対象家屋の所在する都市の固定資産評価担当職員によるアンケート調査（42棟）
- ② 上記の調査に基づく、当センター家屋研究委員会委員による実地調査（本年度対象都市、福島市、静岡市、神戸市、岡山市及び長崎市）

## 3 調査結果の集計

### (1) とりまとめ方

この研究成果は、調査対象都市の固定資産評価担当職員によるアンケート調査に基づいて、当センターの家屋研究委員会委員が、適宜、実地調査を行い、更に、各データについて精査・調整の上、整理集計するとともに若干の分析を加えて取りまとめたものである。

なお、沖縄県那覇市については、木造家屋の建築個数が極めて少ないこ



とから、建築価額等の「全国平均」及び「標準偏差」の積算並びに建築価額等の「最高」又は「最低」等の計数値の算定対象から除外することとした。

(2) 凡 例

収録事項の主な用語の意味等は次のとおりである。

- 建築価額 所有者が建築業者に支払った建築費（諸経費を含む。）で固定資産税の対象部分に相当する延べ床面積  $1 m^2$  当たりの価額
- 修正建築価額 「建築価額」については、標本家屋の品等及び施工の程度が、各調査対象都市間において一定していないため、その程度差が価額面に表われるという要因も含まれているので、各標本家屋についてその要因を取り除き、東京都（特別区）を基準にして求めた延べ床面積  $1 m^2$  当たりの理論建築価額  
具体的には、各調査対象都市の標本家屋の再建築費評点数の差は、本調査のようにほぼ同一規模の家屋を対象にしている場合には、標本家屋の品等及び施工の程度差がその原因と考えられるので、各家屋について東京都（特別区）の家屋の再建築費評点数を基準（100）とした場合の各家屋の指数を求め、この指数をもって「建築価額」を東京都（特別区）の基準へ程度修正することにより求めた。
- 再建築費評点数 延べ床面積  $1 m^2$  当たりの再建築費評点数
- 再建築価額 「再建築費評点数」に固定資産評価基準に定める評点1点当たりの価額を乗じた延べ床面積  $1 m^2$  当たりの評価額
- 平 均 注記していない限り算術平均とした。

○標準偏差 標準偏差 ( s ) =  $\sqrt{\frac{\sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2}{n}}$  で求めた。

○データの範囲 データの範囲 (R) = 最大値 (最高) - 最小値 (最低)

○評価水準 評価水準 =  $\frac{\text{「再建築価額」}}{\text{「建築価額」}} \times 100$  で求めた。

○評点水準 評点水準 =  $\frac{\text{「再建築費評点数」}}{\text{「建築価額」}} \times 100$  で求めた。

○消費者物価指数 消費者物価指数月報 (総理府統計局調査) の平均消費者物価地域差指数によった。

- 北海道地域 札幌市
- 東北地域 青森市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市及び福島市
- 北関東地域 水戸市、宇都宮市及び前橋市
- 南関東地域 浦和市、千葉市、東京都 (特別区) 及び横浜市
- 北陸地域 新潟市、富山市、金沢市及び福井市
- 中部地域 甲府市、長野市及び岐阜市
- 中京地域 静岡市、名古屋市及び津市
- 北近畿地域 大津市、京都市及び奈良市
- 南近畿地域 大阪市、神戸市及び和歌山市
- 山陰地域 鳥取市及び松江市
- 山陽地域 岡山市、広島市及び山口市
- 四国地域 徳島市、高松市、松山市及び高知市
- 北九州地域 福岡市、佐賀市及び長崎市
- 南九州地域 熊本市、大分市、宮崎市及び鹿児島市

## II 調査結果の概要

### 1 木造家屋に係る建築価額等の状況

#### (1) 建築価額等の推移

昭和56年度以降の建築価額等の推移をみると表1のとおりである。

表1 建築価額等の推移

(単位1㎡当たり円・点)  
昭和56年度=100

区	分	56年度	57年度	58年度
建築価額(A)	金額	100,390	107,811	108,258
	指数	100	107	108
再建築費評点数(B)	評点数	52,422	66,227	66,534
	指数	100	126	127
修正建築価額(C)	金額	102,639	101,052	109,986
	指数	100	98	107
再建築価額(D)	金額	51,502	65,473	65,383
	指数	100	127	127
評価水準(D)/(A)(%)		51	61	60

注 1 建築価額等は、各都市の数値の算術平均である。

2 再建築費評点数及び再建築価額は、昭和56年までは昭和54年基準、昭和57年度及び昭和58年度は昭和57年基準によって算出したものである。

建築価額は、低率ではあるが漸増傾向を示している。すなわち、昭和56年度を基準(100)とした指数でみると、昭和57年度は107、昭和58年度は108を示している。

次に、再建築費評点数及び再建築価額についてみると、昭和57年度では評価基準が改正され、昭和52年1月から昭和55年1月までの3年間の建築物価の上昇が評価に反映されているので、前年度に比べ約26~27%の伸び率(家屋の質の向上による伸びを含む。)となっている。

また、昭和58年度は、評価替えの行われぬ据え置き年度であるので、昭和57年と同一評価基準による評価が行われたため、おおむね横ばいとなっている。

次に、再建築価額の建築価額に対する割合、すなわち、評価水準についてみると、昭和56年度が51%、昭和57年度が61%、昭和58年度が60%となっており、この間における建築費が毎年度一定の伸びを示しているにもかかわらず、同様の伸びを示していない。これは、基準年度（昭和57年度）以外のいわゆる据え置き年度においては、評価ベースが評価の据え置き制度により固定されているためである。したがって、基準年度である昭和57年度には前基準年度である昭和54年度（60%）のレベルに戻り、大きく伸びたものであり、昭和58年度においては、据え置き年度であるため、昭和57年度と比べ1ポイント低下したものである。この減少幅は同じ据え置き年度である昭和55年度（対昭和54年度5ポイント低下）と比べかなり小さいものとなっている。

(2) 建築価額等の地域差等

ア 概 要

建築価額、再建築費評点数及び修正建築価額について、東京都（特別区）を100とした指数で、データの偏差をマクロ的にみたのが表2である。

表2 建築価額等の地域差（指数）

（特別区=100）

区 分	全国平均指数	最 高	最 低	標準偏差
建築価額	56年度	109 (神戸市)	60 (青森市)	10.6
	57年度	137 (横浜市)	65 (大分市)	15.0
	58年度	114 (京都市)	67 (鹿児島市)	10.1
	3か年度平均	115 (京都市)	68 (青森市外1市)	10.4
再建築費	56年度	111 (名古屋市)	89 (秋田市)	4.7
	57年度	141 (和歌山市)	90 (大津市)	8.3
	58年度	129 (大阪市)	86 (徳島市)	6.9
	3か年度平均	124 (大阪市)	91 (盛岡市)	5.8
修正建築価額	56年度	101 (横浜市外2市)	65 (青森市)	10.0
	57年度	123 (横浜市)	65 (大分市)	12.5
	58年度	114 (京都市)	73 (松山市)	8.9
	3か年度平均	111 (京都市)	71 (松山市外2市)	9.0

この表から、標本家屋の品等及び施工の程度差、地域的物価差、個別的特殊事情等の要素が含まれている建築価額についてみると、3か年度平均の数値では、平均84、標準偏差10.4、標準偏差の平均に対する割合12.4%、最高値115、最低値68、データの範囲47を示している。

また、本調査においては、その数値の差が、標本家屋の品等及び施工の程度差によるものと考えられる再建築費評点数について3か年度平均の数値をみると、平均101、標準偏差5.8、標準偏差の平均に対する割合5.7%、最高値124、最低値91、データの範囲33を示している。

このことから、再建築費評点数には、建築価額よりも偏差の要因が少ないことなどから予想はできるものの、実際に数値で比較すると、建築価額よりも再建築費評点数の偏差がかなり少ないことが分かる。また、この再建築費評点数の偏差及びデータの範囲は、そのまま各調査対象都市の「標準的家屋」の品等及び施工の程度の地域差を表わす指標として考えることができる。

次に、建築価額から標本家屋の品等及び施工の程度差による価額の変動要因を理論的に取り除いた修正建築価額を3か年度平均でみると、平均83、標準偏差9.0、標準偏差の平均に対する割合10.8%、最高値111、最小値71、データの範囲40を示している。これも予想されるとおり、当該価額の変動要因を理論的に取り除いたため建築価額よりも数値の偏差及びデータの範囲は小さくなっている。また、この数値の偏差及びデータの範囲は、修正建築価額に標本家屋の個別的特殊事情の要素が含まれているものの、地域的物価差を比較する指標として考えることができる。

## イ 地域差

### ① 建築価額

昭和58年度の建築価額の偏差についてみると、平均は108,258円、標準偏差は12,743円を示し、標準偏差内(区間 $\langle \bar{x}-S, \bar{x}+S \rangle$ 内をいい、 $\bar{x}$ は平均、 $S$ は標準偏差を意味する。以下同じ。)の中にあるデータ数は、46個中32個と全体の69.6%を占めており、標準偏差の平均に対する割合は11.8%となっている。

また、データの範囲等を見ると、最高値144,000円（京都市）、  
 最小値85,000円（鹿児島市）、データの範囲59,000円を示してい  
 る（別表1参照）。

その状況を具体的に示したのが図1である。

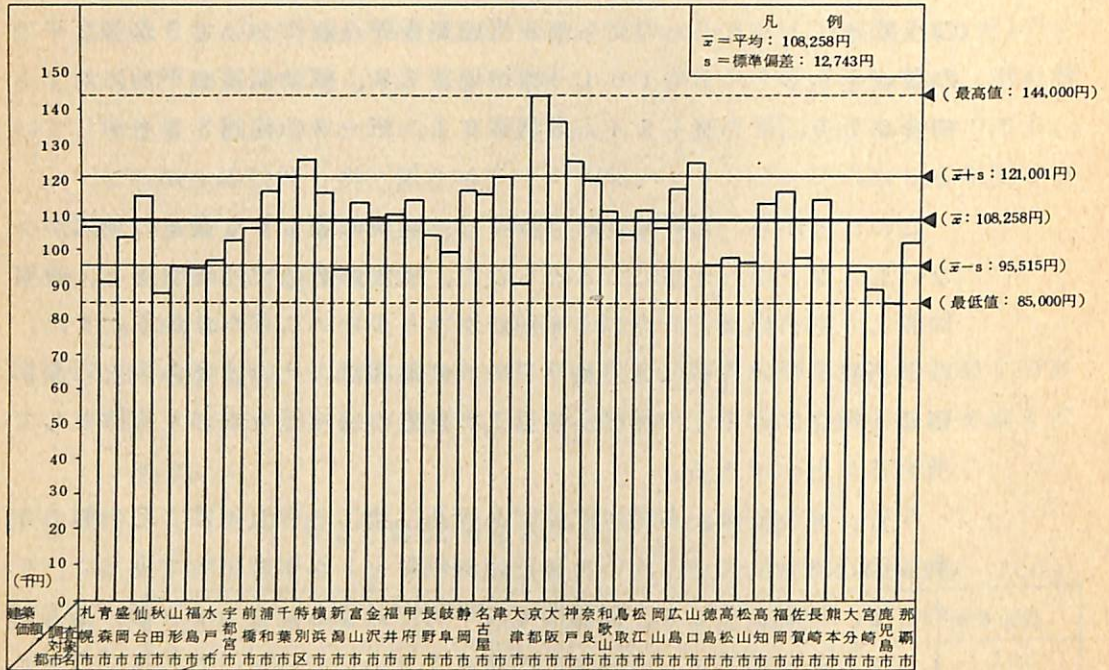


図1 建築価額の偏差状況（昭和58年度）

この図1から、建築価額について、各調査対象都市間の偏差をみる  
 ことができる。

まず、建築価額の高い標本家屋の存する都市として平均（108,258  
 円）以上の都市をみれば、仙台市、浦和市、千葉市、特別区、横浜市、  
 富山市、金沢市、福井市、甲府市、静岡市、名古屋市、津市、京都市、  
 大阪市、神戸市、奈良市、和歌山市、松江市、広島市、山口市、高知  
 市、福岡市、長崎市及び熊本市と、一部の都市を除き、3大都市圏内  
 又はそれに隣接する都市若しくは政令指定都市又はそれに次ぐ人口の

多い都市に集中している。

建築価額の低い標本家屋の存する都市は札幌市、青森市、盛岡市、秋田市、山形市、福島市、水戸市、宇都宮市、前橋市、新潟市、長野市、岐阜市、大津市、鳥取市、岡山市、徳島市、高松市、松山市、佐賀市、大分市、宮崎市及び鹿児島市となっている。

これらの各調査対象都市のデータを便宜的に、各都市が所在する都道府県全体に置き直して、日本地図として示したものが図2である。

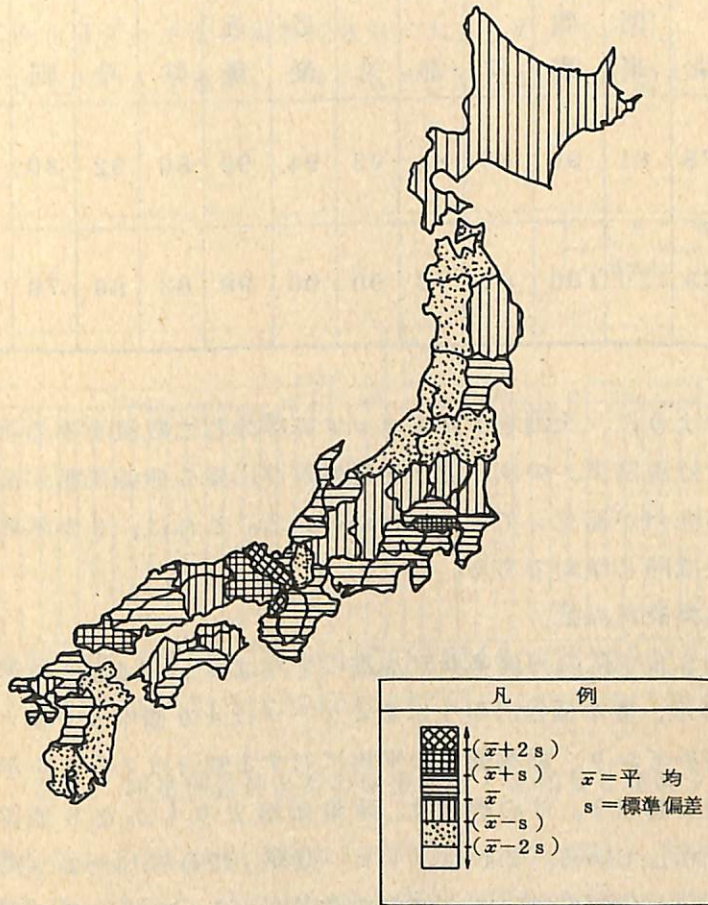


図2 建築価額の地域別偏差状況（昭和58年度）

この図からみると、東京を中心とする南関東及び大阪を中心とする南近畿の標本家屋の建築価額が高く、東北及び南九州の建築価額が低いことや、各都市間の広域的類似性を看取することができる。

建築価額の地域差をみるために、便宜的に全国を14ブロックに区分し、東京都（特別区）を100とした指数で、昭和58年度及び同年度を含む過去3か年度平均の標本家屋の建築価額の地域差を示したものが表3である。

表3 建築価額の地域差（指数）

（特別区=100）

地域 区分	北海道	東北	北関東	南関東	北陸	中部	中京	北近畿	南近畿	山陰	山陽	四国	北九州	南九州
58年度	85	78	81	95	85	84	93	94	99	86	92	80	87	75
3度か平均	84	73	79	100	81	79	90	96	98	83	86	79	83	73

このように、全国を14ブロックに区分して数値をみると、昭和58年度では南関東、中京、北・南近畿及び山陽の建築価額が高く、東北及び南九州が極立って低いことがわかる。これは、3か年度平均でもほぼ同じ傾向である。

② 再建築費評点数

昭和58年度の再建築費評点数の平均は66,534点、標準偏差は4,661点、標準偏差内の中にあるデータは46個中36個と全体の78%を占めており、標準偏差の平均に対する割合は7.0%を示している（別表1参照）。この数値は、建築価額よりもかなり偏差が小さいことを示している。これは、「ア 概要」で分析したように、再建築費評点数が建築価額よりも偏差の要因が少ないためと考えられるが、平均値のプラス、マイナス7%の狭い範囲に全体の78%のデータが集中していることは、我国が南北に長い列島のため気象条件等の違いがあり、各地域で使用資材等に地域差があることを考慮すれば、今回調査の各都市間の「標準的家屋」の品等及び施工の程度の地域差が比較的小さく、ある意味では、均一化されていると推測される。



この傾向は、以前の調査でも同様である。すなわち、昭和56年度調査では、平均52,422点、標準偏差2,541点、標準偏差の平均に対する割合は4.8%、昭和57年度調査では、平均66,227点、標準偏差5,116点、標準偏差の平均に対する割合は7.7%を示し、特に、同じ昭和57年基準で評価されている昭和57年度調査は本年度調査とほぼ同様の数値を示している。

しかし、本年度のデータは、最高値87,121点（大阪市）、最低値58,405点（徳島市）、データの範囲28,716点を示しており、個別にみた各データ間の偏差は意外に大きくなっている。

以上のことを理解しやすいように示したものが図3である。

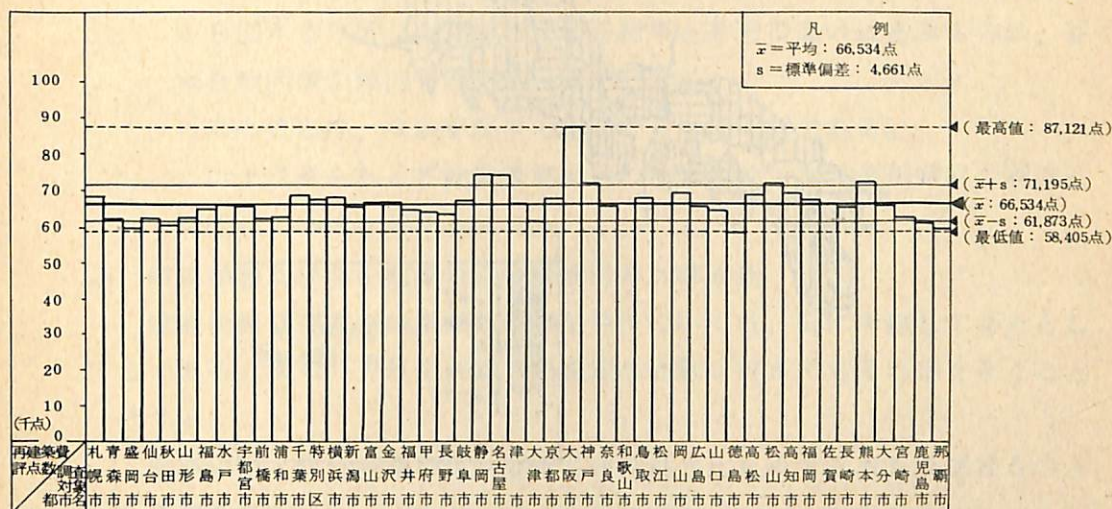


図3 再建築費評点数の偏差状況（昭和58年度）

図3をみると、大阪市（87,121点）だけが際立って偏差の大きい数値を示しており、このことが、平均や標準偏差等から推測される偏差の状況に比べデータの範囲が広く示されていることの原因であることが分かる。

この傾向は、過去2年度の調査においても同様であり、昭和58年度を含む過去3か年度平均の東京都（特別区）を100とした大阪市の指数は124を示し、他都市に比べて際立っている（別表6参照）。

次に、地域差をみるために、便宜的に各調査対象都市のデータを各都市所在の都道府県全体に置き直してみると図4のとおりである。

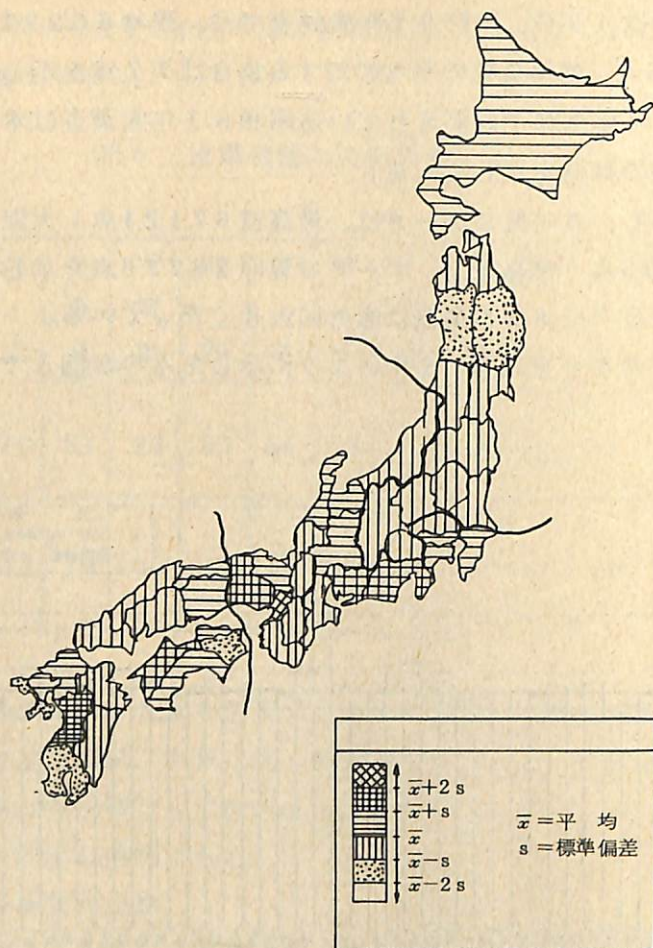


図4 再建築費評点数の地域別偏差状況（昭和58年度）

図4によると、大きく分けて、東北、北関東、中部の日本の北部及び山陰、山陽、四国、九州の日本の南部において、再建築費評点数が低い傾向にあり、南関東、中京、北陸及び南近畿の日本の中央部（北近畿を除く。）の再建築費評点数が高い傾向にある。その状況を全国を14ブロックに区分し、東京都（特別区）を100とした指数で、昭和58年度及び同年度を含む過去3か年度間で地域差をみたものが表4である。

表4 再建築費評点数の地域差指数

(特別区=100)

地域 区分	北海道	東北	北関東	南関東	北陸	中部	中京	北近畿	南近畿	山陰	山陽	四国	北九州	南九州
58年度	101	92	96	99	98	96	106	97	111	99	98	100	99	97
3度か平均	104	95	100	102	102	99	107	100	116	100	101	100	102	99

表4によると、各地域の指数は、分析ブロックを少なくしていることから図4で分析した都道府県別の結果と若干の違いはあるものの、おおむね同様の傾向を示している。

このことは、3か年度平均でもほぼ同様である。

以上にみられる再建築費評点数の地域差は、主に使用資材の相違に起因していると考えられる。

(3) 建築価額及び修正建築価額の段階区分別構成比

建築価額及び修正建築価額の偏差等については、既に考察してきたところである。次に、それぞれがどの程度の価額レベルにあるのかをみることにする。

建築価額と修正建築価額の段階区分別構成比を示すと表5及び表6のとおりである。

まず、建築価額であるが、表5から、各年度ごとに最も個数が集中している区分をみると、昭和56年度では90,000円以上99,999円以下、昭和57年度では100,000円以上109,999円以下、昭和58年度では110,000円以上119,999円以下を示しており、最頻区分が漸次上昇していることがわかる(太枠部分参照)。

このことは、昭和56年度の建築価額の平均が100,390円であり、標準偏差区間 $\langle \bar{x} - S, \bar{x} + S \rangle$ が $\langle 86,433 \text{円}, 114,347 \text{円} \rangle$ であること、昭和57年度の同平均が107,812円であり、標準偏差区間が $\langle 89,625 \text{円}, 125,999 \text{円} \rangle$ であること、そして、昭和58年度の同平均が

108,258円であり、標準偏差区間が<95,515円、121,001円>を示していることから理解できる(斜線部分参照)。

表5 建築価額の段階区分別調

区 分		建 築 価 額 (円)									
		70,000 ~ 79,999	80,000 ~ 89,999	90,000 ~ 99,999	100,000 ~ 109,999	110,000 ~ 119,999	120,000 ~ 129,999	130,000 ~ 139,999	140,000 ~ 149,999	150,000 ~ 159,999	160,000 ~ 169,999
56 年度	個数 (構成 比)	1 (2)	10 (21)	15 (32)	10 (21)	5 (11)	3 (7)	2 (4)	1 (2)	— (—)	— (—)
57 年度	個数 (構成 比)	1 (2)	3 (6)	13 (28)	17 (36)	4 (9)	4 (9)	1 (2)	2 (4)	1 (2)	1 (2)
58 年度	個数 (構成 比)	— (—)	3 (6)	12 (26)	10 (21)	14 (30)	6 (13)	1 (2)	1 (2)	— (—)	— (—)
3度 が平 平均	個数 (構成 比)	— (—)	5 (11)	12 (26)	17 (36)	7 (15)	3 (6)	2 (4)	1 (2)	— (—)	— (—)

- 注) 1 太枠は、最頻区分  
2 斜線部分は、標準偏差区間を含む区分

表6 修正建築価額の段階区分別調

区 分		修 正 建 築 価 額 (円)									
		70,000 ~ 79,999	80,000 ~ 89,999	90,000 ~ 99,999	100,000 ~ 109,999	110,000 ~ 119,999	120,000 ~ 129,999	130,000 ~ 139,999	140,000 ~ 149,999	150,000 ~ 159,999	160,000 ~ 169,999
56 年度	個数 (構成 比)	— (—)	7 (15)	14 (30)	16 (34)	4 (8)	1 (2)	5 (11)	— (—)	— (—)	— (—)
57 年度	個数 (構成 比)	1 (2)	7 (15)	19 (40)	10 (21)	5 (11)	2 (4)	1 (2)	2 (4)	— (—)	— (—)
58 年度	個数 (構成 比)	— (—)	— (—)	12 (26)	11 (23)	15 (32)	8 (17)	— (—)	1 (2)	— (—)	— (—)
3度 が平 平均	個数 (構成 比)	— (—)	3 (6)	15 (32)	18 (38)	6 (13)	3 (6)	1 (2)	1 (2)	— (—)	— (—)

- 注) 1 太枠は、最頻区分  
2 斜線部分は、標準偏差区間を含む区分

また、3か年度平均でみると、最頻区分、標準偏差等から判断して、建築価額については100,000円以上109,999円以下の区分が、全国をマクロ的にみれば、最も中庸な価額区分と解せるであろう。

次に、修正建築価額について、表6から、各年度ごとに最も個数が集中している区分をみると、昭和56年度では100,000円以上109,999円以下、昭和57年度では90,000円以上99,999円以下、昭和58年度では110,000円以上119,999円以下を示しており、建築価額と異なり、昭和57年度の最頻区分が低くなっている。これは、修正建築価額を算出する場合、東京都（特別区）の再建築費評点数を100とした指数を基にしているので、各年度の東京都（特別区）の再建築費評点数の高低が、修正建築価額の分布に影響を与えるためである。すなわち、昭和57年度には、再建築費評点数の平均が66,227点であるのに対し、東京都（特別区）は62,066点と平均よりも低い点数を示しており、この点数を基準にして修正建築価額を算出したため、昭和57年度の最頻区分が低くなったのである。

なお、昭和58年度の再建築費評点数の平均は66,534点であり、東京都（特別区）は67,526点となっている。

このような修正建築価額の特徴は、数年度にわたって修正建築価額を比較する場合に留意する必要がある。

次に、建築価額と修正建築価額の段階別の状況を、昭和58年度について図示すれば、次の図5のとおりである。

図5によれば、昭和58年度の建築価額と修正建築価額の度数分布の状況は、建築価額よりも修正建築価額の方が集中化していることが分かる。これは、修正建築価額が建築価額に内在する標本家屋の品等及び施工の程度差の偏差要因を修正しているため、その結果が現われたものである。

また、参考までに、昭和58年度を含む過去3年度間について、同様に図示したものが図6である。

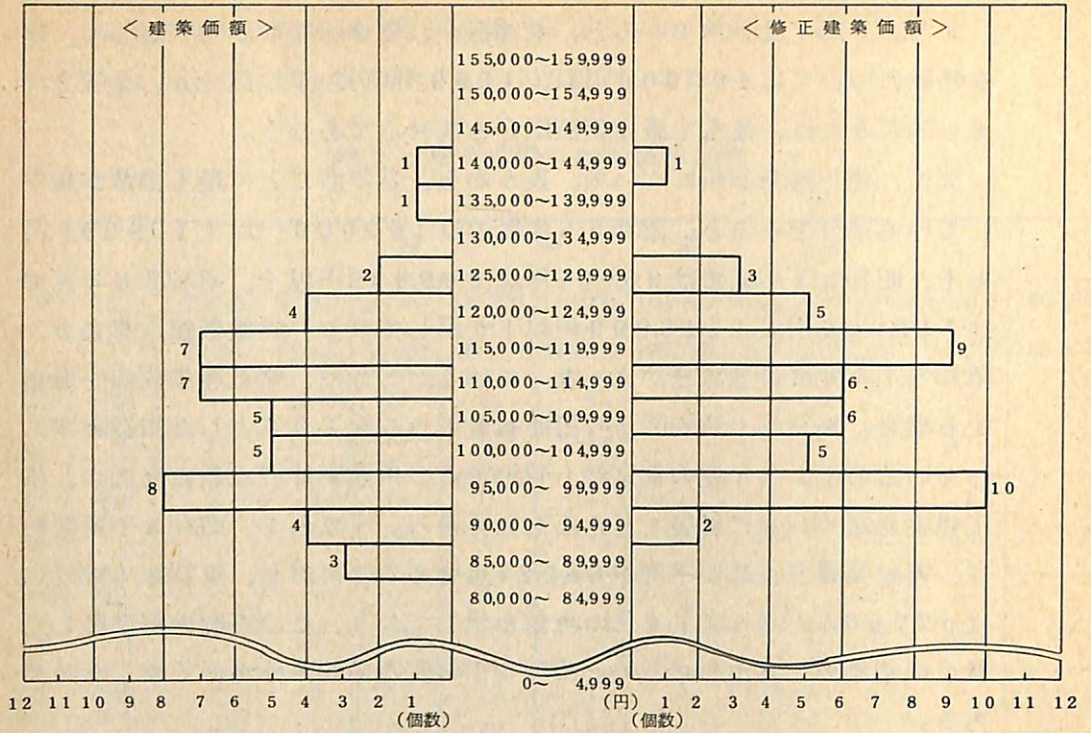


図5 木造家屋に係る建築価額等の段階別状況（58年度）

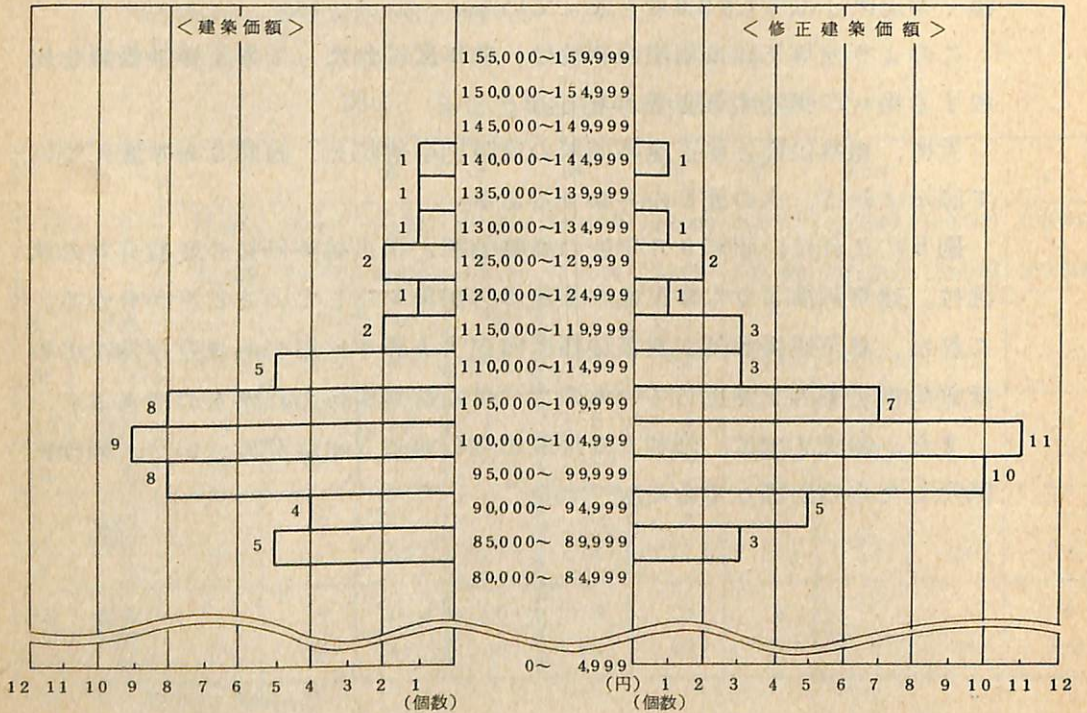


図6 木造家屋に係る建築価額等の段階別状況（3か年度平均）

(4) 物価水準補正率区分別建築価額等の状況

固定資産評価基準に定める物価水準による補正率（以下「物価水準補正率」という。）の区分ごとに、建築価額、修正建築価額及び消費者物価指数について示したものが表7である。

表7 物価水準補正率区分別調

区分	物価水準	年度等	平均	最高	最低	標準偏差
建築価額	1.00	58年度	123,311 <sup>円</sup>	144,000 <sup>円</sup> (京都市)	106,740 <sup>円</sup> (札幌市)	11,352 <sup>円</sup>
		3か年度平均	123,763	144,333 (京都市)	105,394 (札幌市)	13,472
	0.95	58年度	110,889	121,000 (津市)	90,239 (大津市)	9,410
		3か年度平均	107,359	127,631 (浦和市)	95,989 (仙台市)	8,726
	0.90	58年度	102,073	124,000 (山口市)	85,000 (鹿児島市)	9,857
		3か年度平均	98,665	116,617 (山口市)	85,855 (青森市)	7,747
修正建築価額	1.00	58年度	117,010	144,000 (京都市)	105,167 (名古屋市)	12,326
		3か年度平均	115,889	140,399 (京都市)	97,391 (大阪市)	15,346
	0.95	58年度	113,635	125,432 (浦和市)	98,086 (大津市)	9,674
		3か年度平均	105,979	127,014 (浦和市)	94,535 (岡山市)	8,648
	0.90	58年度	105,840	129,167 (山口市)	91,480 (松山市)	9,650
		3か年度平均	100,195	117,895 (山口市)	88,848 (大分市)	7,736
消費者物価指数	1.00	57年	95.9	100 (特別区)	92.9 (福岡市)	2.2
		3か年度平均	96.1	100 (特別区)	93.6 (福岡市)	2.0
	0.95	57年	92.9	95.0 (静岡市)	90.6 (前橋市)	1.2
		3か年度平均	93.2	95.5 (静岡市)	90.6 (津市)	1.4
	0.90	57年	91.7	94.0 (山形市)	89.5 (宮崎市)	1.2
		3か年度平均	91.8	94.2 (山形市)	89.9 (宮崎市)	1.1

昭和58年度の建築価額等を物価水準補正率区別にみると、建築価額については1.00の場合123,311円、0.95の場合110,889円、0.90の場合102,073円であり、修正建築価額については1.00の場合117,010円、0.95の場合113,635円、0.90の場合105,840円である。また、消費者物価指数については1.00の場合95.9、0.95の場合92.9、0.90の場合91.7である。以上のことから建築価額、修正建築価額及び消費者物価指数の格差は、物価水準補正率の区分に、おおむね対応していると考えられる。

このことについて、修正建築価額及び再建築価額により、偏差の状況の点からみってみる。この場合、仮に、物価水準補正率が妥当であるとすれば、修正建築価額と再建築価額の算出方法からして、それぞれの偏差は、ほぼ同様の数値を示すことになる。

実際に、修正建築価額と再建築価額の偏差について、図に示したものが図7である。

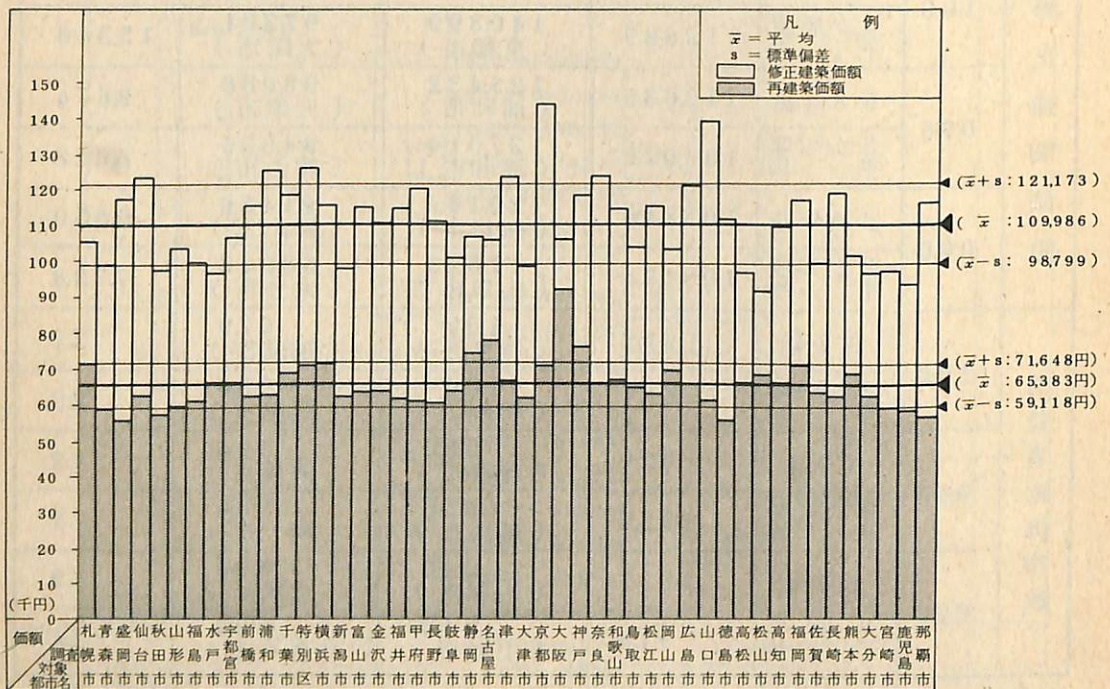


図7 修正建築価額及び再建築価額との偏差状況（昭和58年度）





数が建築価額の7割を超えているものがある反面、建築価額の5割を下回っているものがある。

次に、建築価額と再建築費評点数の相関関係について、昭和58年度及び同年度を含む過去3か年度平均で見たものが、図9並びに図10である。

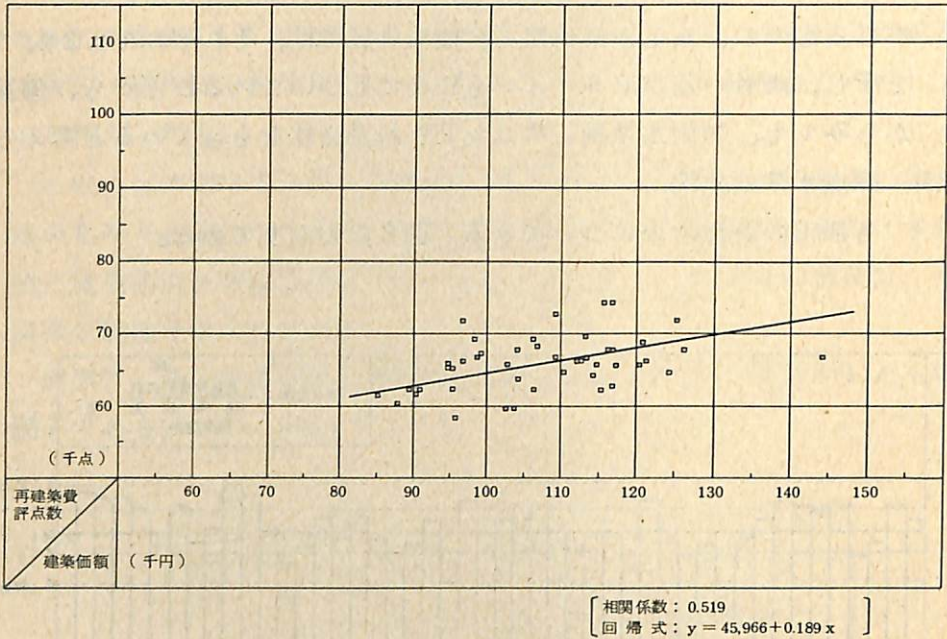
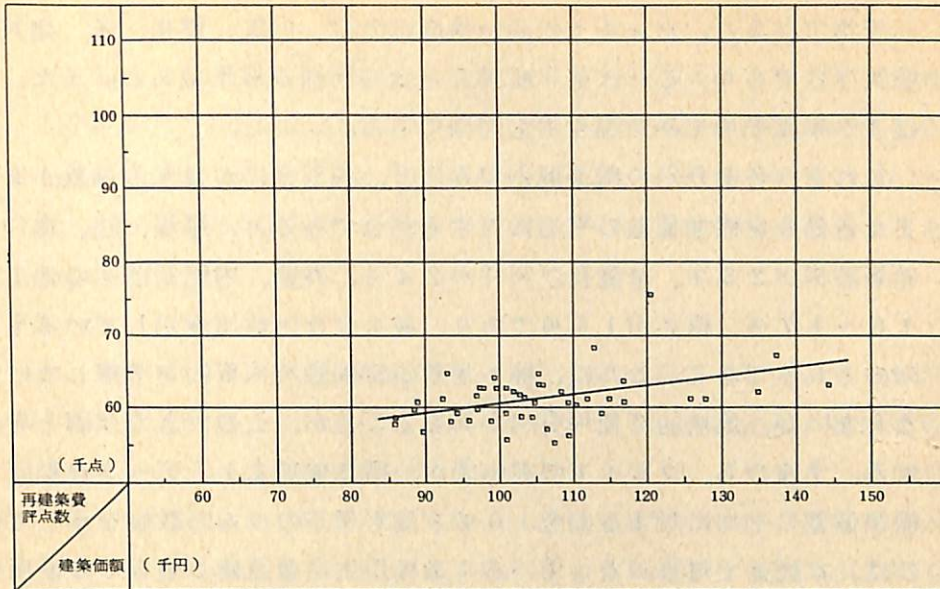


図9 木造家屋に係る建築価額と再建築費評点数の散布図  
(昭和58年度)

昭和58年度の相関係数は0.519と3か年度平均の相関係数0.468と比べ、相関関係が強くなっているが、昭和58年度と3か年度平均は、ほぼ同様の傾向と解して良い。すなわち、それぞれの回帰式をみれば、極めて、X軸と平行に近い直線となっている。

これは、前述のとおり評点水準が低いこと及び建築価額の上昇割合と再建築費評点数の上昇割合に相違があること等を示している。



相関係数：0.468  
 回帰式： $y=48,423+0.126x$

図10 木造家屋に係る建築価額と再建築費評点数の散布図  
 (3か年度平均)

## 2. 部分別の使用資材の状況

### (1) 再建築費評点数の部分別構成比

標本家屋について固定資産評価基準に定める各部分別の再建築費評点数の構成状況をみると表8のとおりである。

表8 昭和58年度再建築費評点数の部分別構成比

区 分		屋 根	基 礎	外 壁	柱	造 作	内 壁	天 井	床	建 具	そ の 他 工 事	建 築 設 備
最高	58年度 (3か年度平均)	18 (18)	9 (9)	15 (15)	16 (17)	10 (11)	21 (21)	14 (12)	14 (13)	16 (16)	9 (9)	16 (15)
最低	58年度 (3か年度平均)	5 (6)	3 (3)	6 (6)	6 (6)	4 (4)	9 (9)	4 (4)	9 (7)	8 (7)	5 (5)	5 (5)
平均	58年度 (3か年度平均)	12 (12)	5 (5)	10 (10)	10 (10)	6 (6)	14 (14)	7 (7)	11 (11)	11 (11)	6 (6)	8 (8)
標準 偏差	58年度 (3か年度平均)	3.0 (3.0)	1.2 (1.3)	1.7 (1.8)	2.5 (2.5)	1.5 (1.5)	2.3 (2.4)	1.7 (1.7)	1.1 (1.2)	1.5 (1.9)	1.0 (1.0)	2.0 (2.0)

平均でみると、ウェイトの高い構成部分は、内壁、屋根、床、建具、外壁及び柱であり、これは前年度調査と全く同様の結果である。また、これは3か年度平均でみた場合でも同様である。

これを、各部分別の標準偏差でみると、各部分にかなりの偏差があり、また各部分を標準偏差の平均に対する割合でみると、屋根、柱、造作及び建築設備が25%、基礎及び天井が24%、外壁、内壁及びその他工事が16~17%、建具が14%であり、最も少ない数値を示しているものが床の10%である。これは、標本家屋の個別特殊要因を考慮しなければならないが、地域的に使用資材が異なることが、その大きな原因と考えられる。すなわち、ウェイトの高い床が、標準偏差1.1、データの範囲5、標準偏差の平均に対する割合10%と最も偏差の少ない数値を示しているのは、本調査で対象になっている木造専用住宅普通建の場合その使用資材が一般に量等に限られているため、他の部分に比べ、その地域差がないためと考えられる。

次に、再建築費評点数の部分別構成比の地域的特色をみるために、便宜的に全国を14ブロックに分けて、その構成比を比較したものが図12である。

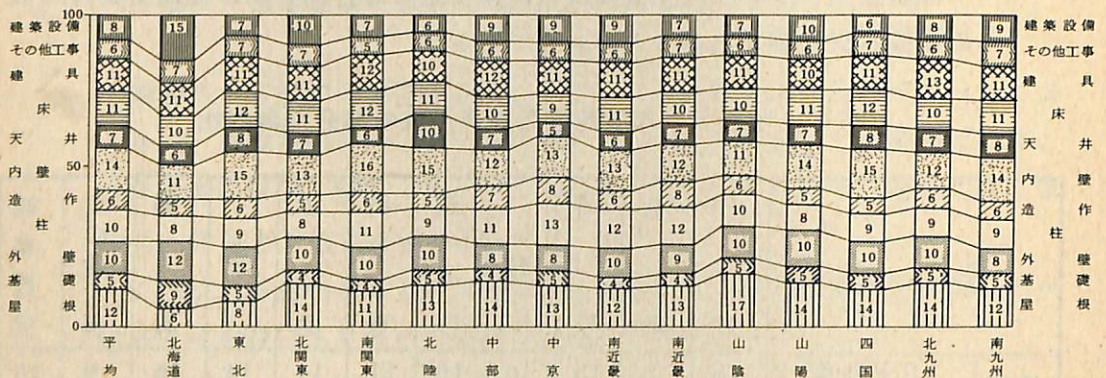


図12 再建築費評点数の地域別の部分別構成比(昭和58年度)

図12から主な構成部分の特徴をみると次のとおりである。

### ① 屋 根

平均では、屋根は内壁に次ぐ高いウェイトを占めている。また地域別にみると、山陰が最も高く、次に北関東、中部、山陽及び北九州が高い数値を示しており、これらの地域の最大ウェイトを占めている。一方、北海道及び東北が低い。これは、各地域の使用資材の相違によるところが大きいと考えられる。

### ② 基 礎

平均でみると、基礎は最もウェイトの低い部分である。各地域別にみても、北海道が他の地域と比較すれば、最も高いほかは、ほぼ同程度である。これは全国的に使用資材は、布コンクリートであり、地域差がないことが理由であると考えられる。北海道については、凍結深度が深いので、他地域と比べ、布基礎の施工量（ $90 \times 12$  cm）が多いものと考えられる。

### ③ 外 壁

外壁は、平均でみると、柱とともに上から5番目のウェイトを占めている。地域別にみると、北海道及び東北が高く、中部、中京及び南九州が低い。これは、外壁の使用資材はモルタルがほとんどを占め、地域差はほとんどないが、開口率等の関係で施工量の相違が相当程度生じるために差があるものと考えられる。

### ④ 柱

柱は、平均で全体の1割のウェイトを占めている。地域別にみると、中京、北近畿及び南近畿が高く、これらの地域の最大ウェイト若しくはそれに近いウェイトを占めている。また、北海道、東北、北関東、北陸、山陽、四国、北九州及び南九州が低い。これは、各地域の使用資材及び品等の相違によるものと考えられる。

### ⑤ 内 壁

内壁は、平均でみると、最大ウェイトを占める部分である。地域別にみると、東北、南関東、北陸及び四国が高く、北海道及び山陰が低い。

### ⑥ 天 井

天井は、平均及び地域別でも大きなウェイトを占めていない。また地域別にみると、北陸が最も高く、北海道、南関東、中京及び北近畿が低くなっている。

⑦ 床

床は、平均で、内壁、屋根に続き3番目に高いウェイトを占めている。標準偏差及び標準偏差の平均に対する割合が小さいことから分かるように、地域差がほとんどなく、中京が若干低い程度である。

⑧ 建 具

建具は、平均で、床と同様に、上から3番目の高いウェイトを占めている。建具においても、偏差が少ないことから、各地域の差はあまりないが、北九州が若干高くなっている。

(2) 主な部分別の使用資材等の地域差

昭和58年度調査の標本家屋の主要部分に施工されている資材の状況を見るために、各主要部分ごとに、各標本家屋において最も多く使用されている資材(上位3種類。ただし外壁は2種類)を抽出し、集計したものを示したのが図13である。また、各標本家屋について、仕上げ資材の内容及びその構成割合を示したものが計数資料等の(12)である。

部分	使用資材	構成割合(個/46%)
屋根	日本瓦	63.0%(29個)
	着色亜鉛鉄板	15.2%(7個)
	セメント瓦	13.0%(6個)
基礎	60cm×15cm	71.7%(33個)
	45cm×15cm	17.4%(8個)
	60cm×12cm	6.5%(3個)
外壁	モルタル	87.0%(40個)
	着色亜鉛鉄板 成型板	8.7%(4個)
柱	桧	41.3%(19個)
	杉	32.6%(15個)
	米桐	19.6%(5個)
内壁	繊維壁	39.1%(18個)
	合成樹脂壁紙	26.1%(12個)
	プリント合板	10.9%(5個)
天井	一重回り縁	28.3%(13個)
	合成樹脂壁紙	19.6%(9個)
	軟質繊維板	17.4%(8個)
床	畳	71.7%(33個)
	単板張合板	10.9%(5個)
	モザイクパーケット	8.7%(4個)

図13 主な使用資材の状況(昭和58年度)

## ① 屋 根

屋根の使用資材として、最も多い施工割合のものは日本瓦で標本家屋46個のうち29個であり、実に、63.0%を占めている。次に多いものは、着色亜鉛鉄板成型板であり、7個15.2%を占めている。また、この着色亜鉛鉄板成型板は、北海道及び東北に遍在している点の特徴である。

セメント瓦は、北・南九州に多く使用されており、6個13.0%を占めている。

## ② 基 礎

基礎の構造では、全国的に布基礎が普及している。

断面の大きさ別にその使用状況をみると、60×15 cmの規模のものが33個71.7%と多数を占めている。続いて、45×15 cmの規模のもの8個17.4%、60×12 cmの規模のもの3個6.5%の順となっている。

基礎については、特に、地域差というものが現われていないが、今回調査では、45×15 cmの規模のもの以外全て高さ60 cm以上であり、自然条件に関係なく、基礎が高くなっている。また、自然条件が関与していると考えられるのは、北海道であり、90×12 cmで鉄筋入りと基礎の施工量が多くなっている。

## ③ 外 壁

外壁の使用資材として、各標本家屋で最も多い施工割合を占めているのはモルタルで40個87.0%を占っており、その他、特に地域差はみられない。

## ④ 柱

柱の使用資材としては、桧、杉、米桐が多く使用されている。

桧を最も多く使用している標本家屋は、1.9個、41.3%を占めている。杉については、1.5個、32.6%、米桐については、9個、19.6%となっている。

なお、杉については、東北、南関東、北陸及び北・南九州での使用が多く、桧については、北関東、中京及び北・南近畿に多く、また、米桐については、山陽及び四国に多く使用されている。

### ⑤ 内 壁

内壁の使用資材として、各標本家屋に最も多く施工されている資材は、繊維壁であり、全標本家屋中18個、39.1%を占めている。次に多く使用されているのが、合成樹脂壁紙であり、12個、26.1%を占めている。これは、標本家屋の施工で、和室又は洋間のいずれが多いかの相違によるものと考えられ、和室が多い場合には、最も施工量の多い資材が繊維壁となり、洋間が多い場合には、合成樹脂壁紙になったものと考えられる。その他、特に、目立った地域差はみられない。

### ⑥ 天 井

天井に使用されている資材等は、多種多様にわたっているが、これは、地域差というよりも、各標本家屋の個別的特徴の差と考えられるものである。

図13に示す資材等のほかに、打上天井、目透し天井等の施工、岩綿繊維板、プリント合板等の資材が、施工割合の多い資材である。

### ⑦ 床

床については、畳の施工が群を抜いており、次に、単板張合板、モザイクパーケットの順である。その他、特に、目立った地域差はみられない。

## 3 平均的な家屋の一般的な使用資材等の状況

昭和58年度調査では、調査対象都市（以下「3」において「都市」という。）の家屋における使用頻度の高い資材及び一般的な施工状況について調査したので、以下その状況について説明する。

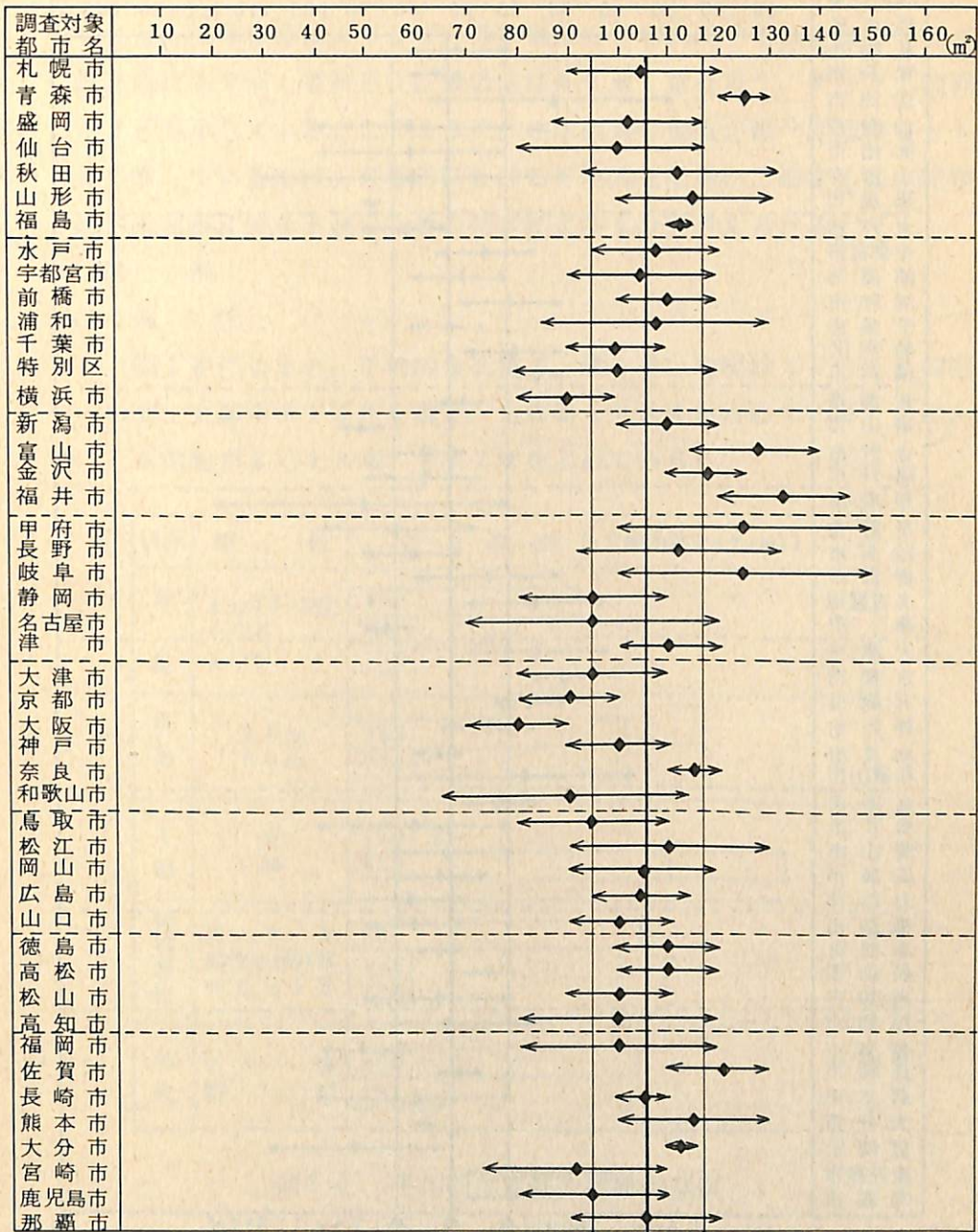
### ア 家屋の規模

都市における平均的な家屋について、延べ床面積及び建床面積の状況を見ると図14及び図15のとおりである。

図14から延べ床面積についてみると、報告数値の中間値の平均は106 $m^2$ 、標準偏差は11.0 $m^2$ 、標準偏差の平均に対する割合は10.4%、最高値は133 $m^2$ （福井市）、最低値は80 $m^2$ （大阪市）、データの範囲は53 $m^2$ を示している。

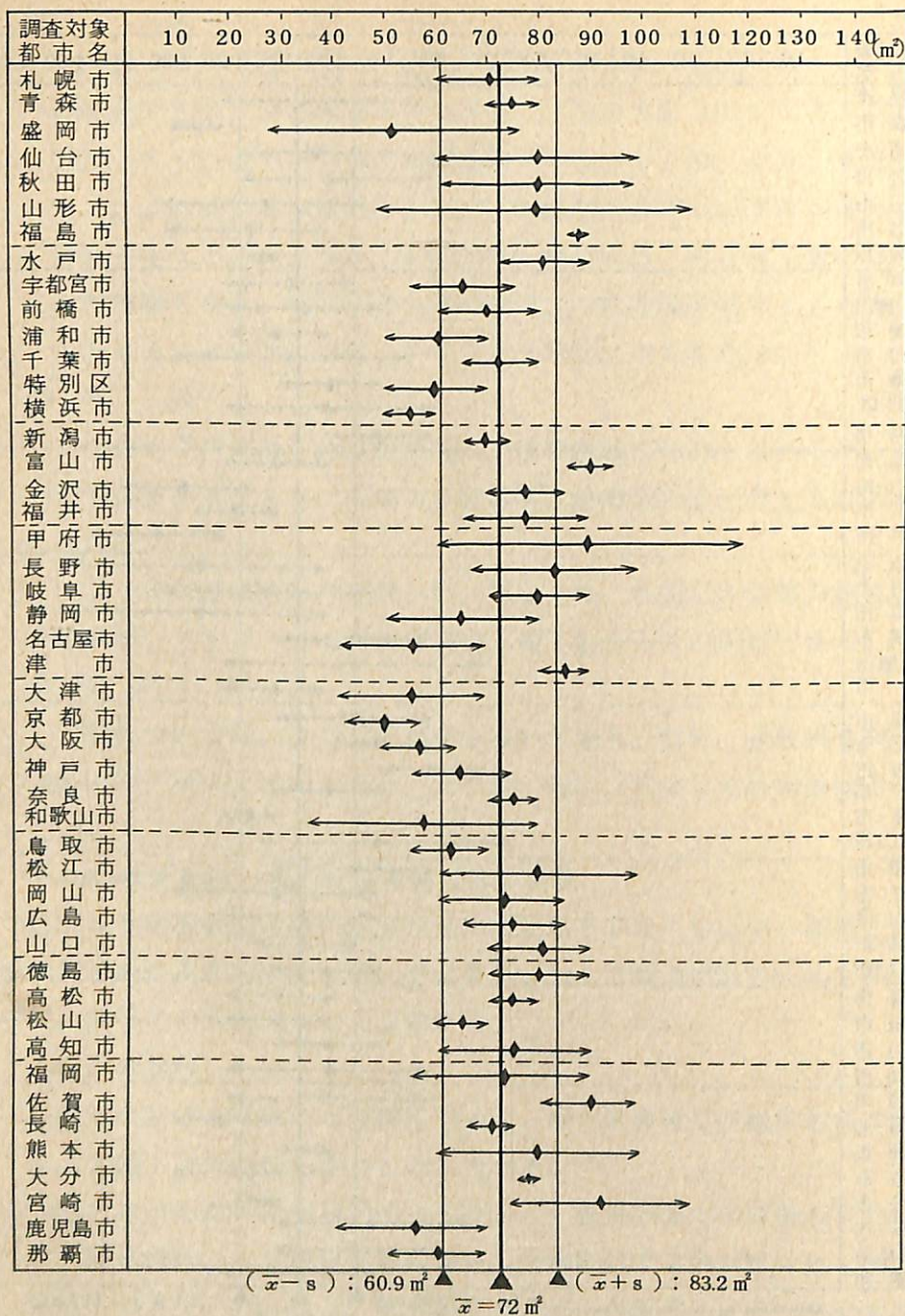
また、都市別にみると、青森市、富山市、金沢市、福井市、甲府市、岐阜市及び佐賀市において延べ床面積が広く、横浜市、京都市、大阪市、和歌山市及び宮崎市が狭いという結果になっている。





凡 例	
$\bar{x}$	= 平均
s	= 標準偏差
↔	= 報告数値の幅
◆	= 報告数値の中間値

図 1 4 平均的な家屋の延べ床面積の状況



凡 例	
$\bar{x}$	= 平均
s	= 標準偏差
↔	= 報告数値の幅
◆	= 報告数値の中間値

図 1 5 平均的な家屋の建床面積の状況

次に、図15から建床面積についてみると、報告数値の中間値の平均は72㎡、標準偏差は11.2㎡、標準偏差の平均に対する割合は15.6%、最高値は92㎡（宮崎市）、最低値は50㎡（京都市）、データの範囲は42㎡を示している。このように、建床面積の偏差が延べ床面積よりも大きくなっているのは、各都市における平均的な家屋の二階率（建床面積の延べ床面積に対する割合）等の相違によるものと考えられる。

## 1 屋 根

### ① 勾 配

図16によると、平均的な家屋で、最も多い勾配は4.5/10勾配であり、全都市中19市を数え、全体の40.4%を占めている。次に、4/10勾配が多く13市、27.7%を占めている。

区分	屋 根	主 な 構 成 比 (都市数/47(%))
勾 配	4.5/10 勾配	40.4
	4/10 "	27.7
	3/10 "	12.8
軒 出	45cm	53.2
	60cm	27.7
下 屋	有	17.0
	無	83.0
使用 資材	日本瓦	66.0
	着色亜鉛鉄板	12.8
	セメント瓦	12.8
形 式	切寄	66.0
	妻棟	19.1

図16 平均的な家屋の屋根の状況

地域別にみると、北海道が1/10勾配、東北が2/10～3/10勾配のところが多く、勾配が緩やかになっており、南九州では5/10勾配が多くなっている。

### ② 軒 出

軒出については、平均的な家屋の軒出が45～60cmの規模である

都市が全体の8割を超えている。地域的特色は、特に、みられないが、東北の山形市が70 cm であり、他と比べて長くなっている。

### ③ 下 屋

平均的な家屋では、下屋が無いとする都市が、全体の8割を超えており下屋があるとする都市も、各地域に散在しており、地域的特色は特にみられない。

### ④ 使用資材

平均的な家屋の使用資材は、日本瓦が最も多く、次に、着色亜鉛鉄板、セメント瓦の順となっている。

地域的には、北海道及び東北に着色亜鉛鉄板が多く、北・南九州にセメント瓦が多く使用されている。また、四国にはスレート葺の施工が多い。

### ⑤ 形 式

屋根の形式は、切妻及び寄棟の形式がほとんどである。

なお、地域的特色としては、北海道のスノーダクト方式の屋根がある。

## ウ 基 礎

区分	基 礎	主 な 構 成 比 (都市数/47(%))
規 模	(布コンクリート) 60×12~15 cm	70.2
	45×12~15 cm	25.5

図17 平均的な家屋の基礎の状況

平均的な家屋の基礎は、布コンクリートであり、その規模は60×12~15 cm 及び45×12~15 cm で、全都市の約96%を占めている。地域的特色としては、北海道において、90×12 cm と施工量の多い基礎が、平均的な家屋に使用されていることである。

## エ 外 壁

平均的な家屋の外壁に使用されている資材は、モルタルが最も多い結果となっている。

地域的にみると、着色亜鉛鉄板が使用されているとしている都市が、中京及び四国に多い。

また、開口率については、20~30%のものが全体の70%以上を占めており、南近畿より南に所在する地域に開口率40%以上の都市がみられる。

区分	外 壁	主 な 構 成 比 (都市数/47(%))
使用 資材	モルタル	76.6
	着色亜鉛鉄板	12.8
開 口 率	20~29%	40.4
	30~39%	31.9
	40~49%	19.1

図18 平均的な家屋の外壁の状況

オ 柱

区分	柱	主 な 構 成 比 (都市数/47(%))
使用 資材	桧	36.2
	杉	34.0
	米 柾	12.8

図19 平均的な家屋の柱の状況

平均的な家屋に使用されている柱の資材は、桧、杉及び米柾で大部分を占めている。

桧は、北・南関東、中京及び北・南近畿に多く、杉は、東北、北陸及び北・南九州で多い。また、米柾は、山陽及び四国に多いという地域的特色がある。

カ 内 壁

区分	内 壁	主 な 構 成 比 (都市数/47(%))
開 口 率	30~39%	53.2
	20~29%	23.4
	40~49%	21.3

図20 平均的な家屋の内壁の状況

内壁の開口率は、20~49%の範囲にほぼ含まれる状況となっており、特に30~39%の範囲に全体の5割以上が集中している。

地域別にみると、北海道及び東北の開口率が低く、南近畿及びそれ以南の地域の開口率が高い傾向にある。

また、使用資材の状況については、表9-1、9-2のとおりである。

表9-1

		内 壁 ( 和 室 )			
都 道 府 県	調 査 対 象 都 市 名	1	2	3	
北 海 道 青 森 県 岩 手 県 宮 城 県 秋 田 県 山 形 県 福 島 県	札幌市	合成樹脂壁紙	石膏ボード(化粧板)	繊維壁(砂状のもの)	
	青森市	繊維壁(砂状のもの)	合成樹脂壁紙	プリント合板	
	盛岡市	繊維壁(砂状のもの)	合成樹脂壁紙・下地合板	繊維壁(繊維状のもの)	
	仙台市	京壁	繊維壁・下地合板	和風壁合板	
	秋田市	繊維壁(繊維状のもの)	合成樹脂壁紙・下地合板	—	
	山形市	繊維壁(砂状のもの)	合成樹脂壁紙	合板	
	福島市	繊維壁(砂状のもの)	合成樹脂壁紙	プリント合板	
	茨 城 県 栃 木 県 群 馬 県 埼 玉 県 千 葉 県 東 京 都 神 奈 川 県	水戸市	京壁	繊維壁	砂壁
		宇都宮市	京壁	繊維壁	—
前橋市		京壁	繊維壁・下地合板(繊維状のもの)	砂壁	
浦和市		砂壁	繊維壁	京壁	
千葉市		砂壁	繊維壁	—	
特別区		繊維壁(砂状のもの)	繊維壁(綿状のもの)	合成樹脂壁紙	
横浜市		繊維壁(砂状のもの)	繊維壁(綿状のもの)	合成樹脂壁紙	
新 潟 県 富 山 県 石 川 県 福 井 県		新潟市	繊維壁(砂状のもの)	繊維壁(繊維状のもの)	繊維壁(綿状のもの)
		富山市	繊維壁(砂状のもの)	繊維壁(繊維状のもの)	繊維壁(綿状のもの)
	金沢市	繊維壁・下地合板(砂状のもの)	繊維壁・下地合板(繊維状のもの)	合成樹脂壁紙	
	福井市	京壁	繊維壁	合成樹脂壁紙	
山 梨 県 長 野 県 岐 阜 県 静 岡 県 愛 知 県 三 重 県	甲府市	聚楽壁	—	—	
	長野市	繊維壁(砂状のもの)	繊維壁(繊維状のもの)	漆喰壁	
	岐阜市	繊維壁(綿状のもの)	繊維壁(砂状のもの)	繊維壁・下地合板(綿状のもの)	
	静岡市	繊維壁・下地合板(繊維状のもの)	—	—	
	名古屋市	繊維壁	砂壁	合成樹脂壁紙	
	津市	砂壁	繊維壁(綿状のもの)	繊維壁・下地合板(綿状のもの)	
滋 賀 県 京 都 府 大 阪 府 兵 庫 市 奈 良 市 和 歌 山 県	大津市	繊維壁(砂状のもの)	繊維壁(繊維状のもの)	合成樹脂壁紙・下地合板	
	京都市	繊維壁(砂状のもの)	繊維壁(綿状のもの)	合成樹脂壁紙・下地合板	
	大阪市	繊維壁(砂状のもの)	繊維壁(繊維状のもの)	繊維壁(綿状のもの)	
	神戸市	京壁	繊維壁	—	
	奈良市	砂壁	繊維壁	合成樹脂壁紙	
	和歌山市	繊維壁(砂状のもの)	繊維壁(繊維状のもの)	和風壁合板	
鳥 取 県 島 根 県 岡 山 県 広 島 県 山 口 県	鳥取市	繊維壁(砂状のもの)	繊維壁(繊維状のもの)	木摺漆喰壁	
	松江市	繊維壁・下地合板(砂状のもの)	繊維壁・下地合板(綿状のもの)	合成樹脂壁紙(下地石膏ボード)	
	岡山市	繊維壁・下地合板(砂状のもの)	繊維壁・下地合板(繊維状のもの)	繊維壁・下地合板(綿状のもの)	
	広島市	繊維壁(繊維状のもの)	繊維壁(綿状のもの)	合成樹脂壁紙	
	山口市	繊維壁(砂状のもの)	繊維壁(繊維状のもの)	繊維壁(綿状のもの)	
徳 島 県 香 川 県 愛 媛 県 高 知 県	徳島市	繊維壁(砂状のもの)	繊維壁(綿状のもの)	—	
	高松市	聚楽壁	繊維壁(砂状のもの)	合成樹脂壁紙	
	松山市	繊維壁(綿状のもの)	繊維壁(砂状のもの)	合成樹脂壁紙	
	高知市	繊維壁(砂状のもの)	合成樹脂壁紙・下地合板	繊維壁(綿状のもの)	
福 岡 県 佐 賀 県 長 崎 県 熊 本 県 大 分 県 宮 崎 県 鹿 児 島 県 沖 縄 県	福岡市	繊維壁・下地合板(砂状のもの)	繊維壁・下地合板(繊維状のもの)	プラスター	
	佐賀市	プラスター	繊維壁・下地合板(砂状のもの)	繊維壁・下地合板(綿状のもの)	
	長崎市	繊維壁	—	—	
	熊本市	繊維壁	布貼	ラワン合板	
	大分市	繊維壁・下地合板(砂状のもの)	繊維壁・下地合板(繊維状のもの)	繊維壁・下地合板(綿状のもの)	
	宮崎市	繊維壁	布貼	合成樹脂壁紙	
	鹿児島市	繊維壁・下地合板(砂状のもの)	繊維壁・下地合板(綿状のもの)	合成樹脂壁紙・下地合板	
	那覇市	プリント合板	布貼・下地合板	砂状吹付(下地ラワン合板)	

表 9 - 2

		内 壁 ( 洋 間 )			
都 道 府 県	調査対象 都 市 名	1	2	3	
北 海 道	札幌市	合成樹脂壁紙	石膏ボード(化粧板)	プリント合板	
	青森市	合成樹脂壁紙	プリント合板	布貼・下地合板	
	岩手市	合成樹脂壁紙・下地合板	布貼・下地合板	プリント合板	
	宮城県	仙台市	プリント合板	合成樹脂壁紙	布貼・下地合板
	秋田県	秋田市	合成樹脂壁紙・下地合板	プリント合板	布貼・下地合板
	山形県	山形市	合成樹脂壁紙	単板張合板	プリント合板
	福島県	福島市	合成樹脂壁紙	プリント合板	布貼
茨 城 県	水戸市	合成樹脂壁紙	プリント合板	布貼	
	栃木県	宇都宮市	合成樹脂壁紙	プリント合板	単板張合板
	群馬県	前橋市	合成樹脂壁紙・下地合板	布貼・下地合板	プリント合板
	埼玉県	浦和市	合成樹脂壁紙	プリント合板	布貼
	千葉県	千葉市	合成樹脂壁紙	プリント合板	布貼
	東京都	特別区	合成樹脂壁紙	プリント合板	角タイル
	神奈川県	横浜市	プリント合板	単板張合板	合成樹脂壁紙
新 富 石 福 山 川 井 福 山 梨 野 岐 静 岡 愛 知 三 重 津 市	新潟市	合成樹脂壁紙	合成樹脂壁紙・下地合板	布貼・下地合板	
	富山市	合成樹脂壁紙・下地合板	布貼・下地合板	プリント合板	
	金沢市	合成樹脂壁紙・下地合板	布貼・下地合板	プリント合板	
	福井市	合成樹脂壁紙	布貼	プリント合板	
山 梨 県	甲府市	合成樹脂壁紙	布貼	単板張合板	
	長野市	合成樹脂壁紙・下地合板	単板張合板	布貼・下地合板	
	岐阜県	岐阜市	布貼・下地合板	合成樹脂壁紙・下地合板	プリント合板
	静岡県	静岡市	合成樹脂壁紙・下地合板	布貼・下地合板	プリント合板
	愛知県	名古屋市	プリント合板	単板張合板	布貼
	三重県	津市	プリント合板	合成樹脂壁紙・下地合板	布貼・下地合板
	滋 京 大 兵 奈 和 賀 都 阪 庫 良 山 津 市 京 都 市 大 阪 市 神 戸 市 奈 良 市 和 歌 山 市	津市	合成樹脂壁紙・下地合板	プリント合板	布貼・下地合板
京都市		合成樹脂壁紙・下地合板	プリント合板	単板張合板	
大阪市		プリント合板	単板張合板	合成樹脂壁紙	
神戸市		プリント合板	布貼	石膏ボード(化粧板)	
奈良市		合成樹脂壁紙	布貼	プリント合板	
和歌山市		プリント合板	合成樹脂壁紙	単板張合板	
鳥 島 岡 広 山 口 鳥 取 根 山 島 山 口 市 松 江 市 岡 山 市 広 島 市 山 口 市		鳥取市	合成樹脂壁紙	プリント合板	布貼
	根松市	合成樹脂壁紙	プリント合板	石膏ボード(化粧板)	
	岡山市	合成樹脂壁紙・下地合板	プリント合板	硬質繊維板	
	広島市	合成樹脂壁紙	合板	布貼	
	山口市	プリント合板	クロス合板	合成樹脂壁紙	
德 香 愛 高 島 川 媛 知 德 島 市 高 松 市 松 山 市 高 知 市	徳島市	合成樹脂壁紙・下地合板	プリント合板	布貼・下地合板	
	高松市	合成樹脂壁紙	プリント合板	布貼	
	松山市	プリント合板	合成樹脂壁紙	布貼・下地合板	
	高知市	合成樹脂壁紙・下地合板	プリント合板	単板張合板	
福 佐 長 熊 大 宮 鹿 児 沖 岡 賀 崎 本 分 宮 崎 鹿 児 那 市 福 岡 市 佐 賀 市 長 崎 市 熊 本 市 大 分 市 宮 崎 市 鹿 児 島 市 那 覇 市	福岡市	合成樹脂壁紙・下地合板	プリント合板	布貼・下地合板	
	佐賀市	プリント合板	合成樹脂被覆合板	合成樹脂壁紙	
	長崎市	単板張合板	プリント合板	合成樹脂壁紙	
	熊本市	合板	合成樹脂壁紙	—	
	大分市	合成樹脂壁紙・下地合板	プリント合板	単板張合板	
	宮崎市	合成樹脂壁紙	プリント合板	石膏ボード	
	鹿児島市	合成樹脂壁紙・下地合板	プリント合板	単板張合板	
	那覇市	プリント合板	布貼・下地ラワン合板	タイル	

キ 天 井

各都市の平均的な家屋の使用資材は、表10-1、10-2のとおりである。

表 10-1

		天 井 ( 和 室 )		
都 道 府 県	調 査 対 象 都 市 名	1	2	3
北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県	札幌市	目透し天井・一重回り縁	石膏ボード(化粧板)	プリント合板
	青森市	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁	プリント合板
	盛岡市	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁	—
	仙台市	打上天井	石膏ボード(吸音板)	ラワン合板
	秋田市	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁	軟質繊維板(化粧板)
	山形市	竿縁天井・一重回り縁	合 板	合成樹脂壁紙
	福島市	竿縁天井・一重回り縁	舟底天井	格 天 井
茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	水戸市	目透し天井・二重回り縁	目透し天井 板張合板	舟底天井
	宇都宮市	目透し天井・二重回り縁	目透し天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁
	前橋市	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁	—
	浦和市	打上天井	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁
	千葉市	プリント合板	打上天井	打上天井
	特別区	プリント合板	単板張合板	軟質繊維板
	横浜市	プリント合板	単板張合板	—
新潟県 富山県 石川県 福井県	新潟市	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁	格 天 井
	富山県	目透し天井・二重回り縁	竿縁天井・一重回り縁	目透し天井・一重回り縁
	金沢市	目透し天井・一重回り縁	目透し天井・二重回り縁	石膏ボード(吸音板)
	福井市	竿縁天井・二重回り縁	竿縁天井・一重回り縁	合成樹脂壁紙
山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県	甲府市	打上天井	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁
	長野市	目透し天井・一重回り縁	目透し天井・二重回り縁	プリント合板
	岐阜市	打上天井	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁
	静岡市	目透し天井	竿縁天井・一重回り縁	—
	名古屋	竿縁天井・二重回り縁	目透し天井	竿縁天井・一重回り縁
	津市	竿縁天井・一重回り縁	打上天井	竿縁天井・二重回り縁
	大津市	打上天井	竿縁天井・一重回り縁	—
滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県	京都市	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・一重回り縁	—
	大阪市	打上天井	石膏ボード(化粧板)	単板張合板
	神戸市	打上天井	布 貼	—
	奈良市	打上天井	プリント合板	布 貼
	和歌山市	打上天井	竿縁天井・一重回り縁	—
	鳥取市	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁	—
	根松市	竿縁天井・二重回り縁	竿縁天井・一重回り縁	—
岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県	岡山市	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁	格 天 井
	広島市	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁	石膏ボード(化粧板)
	山口市	打上天井	プリント合板	板 張
	徳島市	合 板	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁
	高松市	目透し天井・二重回り縁	目透し天井・一重回り縁	竿縁天井・一重回り縁
	松山市	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁	—
	高知市	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁	合 板
福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県	福岡市	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁	—
	佐賀市	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁	打上天井
	長崎市	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁	—
	熊本市	合 板	布 貼	ラワン合板
	大分市	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁	ラワン合板
	宮崎市	プリント合板	軟質繊維板	プリント合板
	鹿児島市	竿縁天井・一重回り縁	竿縁天井・二重回り縁	合成樹脂壁紙
那覇市	プリント合板	竿縁天井・一重回り縁	ラワン合板	



表 10-2

		天 井 ( 洋 間 )			
都 道 府 名	調 査 対 象 都 市 名	1	2	3	
北 海 道	札幌市	合成樹脂壁紙	石膏ボード(吸音板)	軟質繊維板(吸音板)	
	青森市	合成樹脂壁紙	軟質繊維板(化粧板)	布 貼	
	盛岡市	合成樹脂壁紙	軟質繊維板(化粧板)	布 貼	
	宮城	仙台市	軟質繊維板(化粧板)	石綿スレート(フレキシブル板)	布 貼
	秋田	秋田市	合成樹脂壁紙	軟質繊維板(化粧板)	石膏ボード(吸音板)
	山形	山形市	合成樹脂壁紙	単板張り合板	—
	福島	福島市	合成樹脂壁紙	軟質繊維板(化粧板)	石膏ボード(吸音板)
	茨 城	水戸市	軟質繊維板	合成樹脂壁紙	石膏ボード
栃 木	宇都宮市	軟質繊維板	合成樹脂壁紙	石膏ボード	
	群馬	前橋市	合成樹脂壁紙	軟質繊維板(化粧板)	—
	埼玉	浦和市	軟質繊維板(化粧板)	合成樹脂壁紙	布 貼
	千葉	千葉市	合成樹脂壁紙	石膏ボード(吸音板)	岩綿繊維板
	東京	特別区	合成樹脂壁紙	軟質繊維板(化粧板)	石膏ボード(吸音板)
	神奈川	横浜市	石膏ボード(吸音板)	岩綿繊維板	軟質繊維板(化粧板)
	新 潟	新潟市	軟質繊維板(化粧板)	合成樹脂壁紙	石膏ボード(吸音板)
	富 山	富山市	合成樹脂壁紙	石膏ボード(吸音板)	布 貼
石 川	金沢市	合成樹脂壁紙	布 貼	岩綿繊維板	
	福 井	福井市	合成樹脂壁紙	軟質繊維板	
	山 梨	甲府市	合成樹脂壁紙	布 貼	軟質繊維板
長 野	長野市	合成樹脂壁紙	軟質繊維板(化粧板)	布 貼	
	岐阜	岐阜市	布 貼	合成樹脂壁紙	石膏ボード(吸音板)
	静岡	静岡市	合成樹脂壁紙	繊維板(化粧板)	布 貼
	愛 知	名古屋市	石膏ボード(化粧板)	合成樹脂壁紙	—
	三 重	津 市	軟質繊維板(化粧板)	半硬質繊維板(吸音板)	布 貼
滋 賀	大津市	軟質繊維板	合成樹脂壁紙・下地合板	布 貼	
	京都	京都市	合成樹脂壁紙	石膏ボード(吸音板)	軟質繊維板(化粧板)
	大阪	大阪市	石膏ボード(化粧板)	石膏ボード(吸音板)	岩綿繊維板
	兵 庫	神戸市	石膏ボード(化粧板)	布 貼	石膏ボード(化粧板)
	奈 良	奈良市	布 貼	石膏ボード	プリント合板
	和 歌 山	和歌山市	軟質繊維板	合成樹脂壁紙	石膏ボード(吸音板)
鳥 取	鳥取市	合成樹脂壁紙	軟質繊維板(化粧板)	布 貼	
	島 根	松江市	軟質繊維板(化粧板)	石膏ボード(吸音板)	合成樹脂壁紙
	岡 山	岡山市	合成樹脂壁紙	軟質繊維板(化粧板)	石膏ボード(吸音板)
	広 島	広島市	合成樹脂壁紙	石膏ボード(吸音板)	布 貼
	山 口	山口市	半硬質繊維板(吸音板)	布 貼	軟質繊維板(化粧板)
徳 島	徳島市	合成樹脂壁紙	軟質繊維板(化粧板)	布 貼	
	香 川	高松市	岩綿繊維板	布 貼	
	愛 媛	松山市	石綿スレート(吸音板)	石膏ボード(吸音板)	合成樹脂壁紙
	高 知	高知市	合成樹脂壁紙	軟質繊維板(化粧板)	布 貼
福 岡	福岡市	合成樹脂壁紙	石膏ボード(吸音板)	布 貼	
	佐賀	佐賀市	軟質繊維板(化粧板)	合成樹脂壁紙	布 貼
	長 崎	長崎市	合成樹脂壁紙	軟質繊維板	布 貼
	熊 本	熊本市	合成樹脂壁紙	合 板	—
	大 分	大分市	合成樹脂壁紙	軟質繊維板(化粧板)	石膏ボード(吸音板)
	宮 崎	宮崎市	軟質繊維板	石膏ボード	プリント合板
	鹿 児 島	鹿児島市	合成樹脂壁紙	軟質繊維板(化粧板)	布 貼
	沖 縄	那覇市	半硬質繊維板	合成樹脂壁紙	—

ク 床

平均的な家屋の床の使用資材は、表11-1、11-2のとおりである。

表 11-1

		床 (和 室)			
都 道 府 県	名	調査対象 都 市 名	1	2	3
北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県	札幌市 青森市 盛岡市 仙台市 秋田市 山形市 福島市	札幌市	畳	合成樹脂床畳	—
		青森市	畳	—	—
		盛岡市	畳	—	—
		仙台市	畳	フローリング張(なら)	縁甲板張
		秋田市	畳	単板張合板	軟質クッションフロア
		山形市	畳	縁甲板張	軟質クッションフロア
		山形市	畳	単板張合板	縁甲板張
		福島市	畳	—	—
		福島市	畳	—	—
茨城県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	水戸市 宇都宮市 前橋市 浦和市 千葉市 特別区 横浜市	水戸市	畳	—	—
		宇都宮市	畳	単板張合板	縁甲板張
		前橋市	畳	—	—
		浦和市	畳	縁甲板張	巾広板
		千葉市	畳	—	—
		特別区	畳	縁甲板張	単板張合板
		横浜市	畳	合成樹脂床畳	—
		横浜市	畳	—	—
		横浜市	畳	—	—
新潟県 富山県 石川県 福井県	新潟市 富山市 金沢市 福井市	新潟市	畳	—	—
		富山市	畳	フローリング張	モザイクパーケット
		金沢市	畳	単板張合板	縁甲板張
		福井市	畳	フローリング張	じゅうたん
		福井市	畳	—	—
		福井市	畳	—	—
		福井市	畳	—	—
		福井市	畳	—	—
		福井市	畳	—	—
山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県	甲斐市 長野市 長野市 静岡市 名古屋市 津市	甲斐市	畳	縁甲板張	単板張合板
		長野市	畳	縁甲板張	フローリング張(なら)
		長野市	畳	—	—
		静岡市	畳	—	—
		名古屋市	畳	—	—
		名古屋市	畳	—	—
		津市	畳	縁甲板張	フローリング張
		津市	畳	—	—
		津市	畳	—	—
滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県	大津市 京都市 京都市 大阪市 神戸市 奈良市 和歌山市	大津市	畳	—	縁甲板張
		京都市	畳	単板張合板	—
		京都市	畳	—	—
		大阪市	畳	縁甲板張	じゅうたん
		神戸市	畳	フローリング張	—
		奈良市	畳	縁甲板張	フローリング張(ぶな)
		和歌山市	畳	—	—
		和歌山市	畳	—	—
		和歌山市	畳	—	—
鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県	鳥取市 松江市 岡山市 岡山市 広島市 山口市	鳥取市	畳	—	—
		松江市	畳	フローリング張(さくら)	縁甲板張
		岡山市	畳	—	—
		岡山市	畳	合成樹脂表畳	合成樹脂床畳
		広島市	畳	—	—
		山口市	畳	—	—
		山口市	畳	—	—
		山口市	畳	—	—
		山口市	畳	—	—
徳島県 香川県 愛媛県 高知県	徳島市 高松市 高松市 高松市 高知市	徳島市	畳	—	—
		高松市	畳	縁甲板張	単板張合板
		高松市	畳	縁甲板張	フローリング張(なら)
		高松市	畳	—	—
		高知市	畳	—	—
		高知市	畳	—	—
		高知市	畳	—	—
		高知市	畳	—	—
		高知市	畳	—	—
福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県	福岡市 福岡市 佐賀市 長崎市 熊本市 熊本市 大分市 宮崎市 鹿児島市 鹿儿那市	福岡市	畳	縁甲板張	プリント合板
		福岡市	畳	縁甲板張	単板張合板
		佐賀市	畳	—	—
		長崎市	畳	—	—
		熊本市	畳	合板	軟質クッションフロア
		熊本市	畳	縁甲板張	クリンカータイル
		大分市	畳	—	—
		宮崎市	畳	—	—
		鹿児島市	畳	単板張合板	フローリング張(さくら)
鹿儿那市	畳	ラワン合板	—		

表 11-2

		床 (洋 間)		
都 道 府 名	調査対象 都 市 名	1	2	3
北 海 道	札幌市	じゅうたん	合 板	軟質クッションフロア
青 森 県	青森市	プリント合板	じゅうたん	軟質クッションフロア
岩 手 県	盛岡市	単板張合板	じゅうたん	—
宮 城 県	仙台市	モザイクパーケット(なら)	単板張合板	軟質クッションフロア
秋 田 県	秋田市	じゅうたん	じゅうたん	単板張合板
山 形 県	山形市	じゅうたん	フローリング張	軟質クッションフロア
福 島 県	福島市	じゅうたん	単板張合板	軟質クッションフロア
茨 城 県	水戸市	モザイクパーケット	じゅうたん	軟質クッションフロア
栃 木 県	宇都宮市	単板張合板	じゅうたん	軟質クッションフロア
群 馬 県	前橋市	じゅうたん	単板張合板	プリント合板
埼 玉 県	浦和市	モザイクパーケット	軟質クッションフロア	フローリング張
千 葉 県	千葉市	フローリング張	軟質クッションフロア	じゅうたん
東 京 都	特別区	じゅうたん	モザイクパーケット	軟質クッションフロア
神 奈 川 県	横浜市	単板張合板	じゅうたん	軟質クッションフロア
新 潟 県	新潟市	モザイクパーケット(なら・ふな)	じゅうたん	フローリング張(さくら)
富 山 県	富山市	軟質クッションフロア	じゅうたん	モザイクパーケット
石 川 県	金沢市	単板張合板	軟質クッションフロア	じゅうたん
福 井 県	福井市	モザイクパーケット	軟質クッションフロア	じゅうたん
山 梨 県	甲府市	じゅうたん	フローリング張	軟質クッションフロア
長 野 県	長野市	単板張合板	じゅうたん	軟質クッションフロア
岐 阜 県	岐阜市	プリント合板	単板張合板	じゅうたん
静 岡 県	静岡市	モザイクパーケット(なら・ふな)	じゅうたん	—
愛 知 県	名古屋市	プリント合板	軟質クッションフロア	じゅうたん
三 重 県	津市	モザイクパーケット	軟質クッションフロア	じゅうたん
滋 賀 県	大津市	モザイクパーケット	じゅうたん	軟質クッションフロア
京 都 府	京都市	単板張合板	軟質クッションフロア	じゅうたん
大 阪 府	大阪市	モザイクパーケット(さくら)	フローリングブロック(さくら)	軟質クッションフロア
兵 庫 県	神戸市	寄木合板	じゅうたん	軟質クッションフロア
奈 良 県	奈良市	モザイクパーケット	じゅうたん	軟質クッションフロア
和 歌 山 県	和歌山市	フローリングブロック	軟質クッションフロア	じゅうたん
鳥 取 県	鳥取市	単板張合板	軟質クッションフロア	じゅうたん
島 根 県	松江市	単板張合板	じゅうたん	軟質クッションフロア
岡 山 県	岡山市	フローリングブロック	軟質クッションフロア	じゅうたん
広 島 県	広島市	モザイクパーケット	じゅうたん	軟質クッションフロア
山 口 県	山口市	単板張合板	フローリング張	プリント合板
徳 島 県	徳島市	単板張合板	じゅうたん	フローリング張
香 川 県	高松市	じゅうたん	モザイクパーケット	軟質クッションフロア
愛 媛 県	松山市	寄木貼(なら)	軟質クッションフロア	じゅうたん
高 知 県	高知市	クッションフロア	モザイクパーケット	合 板
福 岡 県	福岡市	プリント合板	軟質クッションフロア	じゅうたん
佐 賀 県	佐賀市	フローリング張	軟質クッションフロア	縁甲板張
長 崎 県	長崎市	単板張合板	軟質クッションフロア	じゅうたん
熊 本 県	熊本市	合 板	軟質クッションフロア	じゅうたん
大 分 県	大分市	単板張合板	軟質クッションフロア	じゅうたん
宮 崎 県	宮崎市	単板張合板	フローリング張	軟質クッションフロア
鹿 児 島 県	鹿児島市	単板張合板	プリント合板	じゅうたん
沖 縄 県	那覇市	フローリング張(なら)	プリント合板	モザイクタイル

Ⅲ 計数資料等

(1) 別表1 木造家屋に係る建築価額等の状況

都道府県	調査対象 都市名	建築価額		再建築費評点数		修正建築価額		再建築価額			
		価額 (A) (円)	指数 (特別区 =100) (B)	評点数 (C)	指数 (特別区 =100) (D)	価額 (A) / (D) (E) (円)	指数 (特別区 =100) (F)	一点単価 (G)	価額 (C) × (G) (H) (円)	(H) / (A) (%)	
北海道	札幌市	106,740	85	68,103	101	105,683	84	1.05	71,508	67	
	青森市	90,900	72	62,161	92	98,804	78	0.95	59,053	65	
	岩手市	103,511	82	59,751	88	117,626	93	0.95	56,763	55	
	宮城県	115,164	91	62,474	93	123,832	98	1.00	62,474	54	
	秋田市	87,725	70	60,467	90	97,472	77	0.95	57,444	65	
	山形市	95,026	75	62,367	92	103,289	82	0.95	59,249	62	
	福島市	95,002	75	65,017	96	98,960	78	0.95	61,766	65	
	茨城県	水戸市	96,670	77	66,392	98	98,643	78	1.00	66,392	69
		宇都宮市	102,850	82	65,742	97	106,031	84	1.00	65,742	64
		群馬市	106,060	84	62,390	92	115,283	91	1.00	62,390	59
埼玉県		116,652	93	62,645	93	125,432	99	1.00	62,645	54	
千葉県		120,735	96	68,700	102	118,368	94	1.00	68,700	57	
東京都		126,066	100	67,526	100	126,066	100	1.05	70,902	56	
神奈川県		116,205	92	67,938	101	115,054	91	1.05	71,335	61	
新潟県		新潟市	94,753	75	65,459	97	97,684	77	0.95	62,186	66
		富山市	113,400	90	66,780	99	114,545	91	0.95	63,441	56
		石川市	109,000	86	66,791	99	110,101	87	0.95	63,451	58
	福井市	110,000	87	64,877	96	114,583	91	0.95	61,633	56	
	山梨県	甲府市	114,000	90	64,004	95	120,000	95	0.95	60,804	53
		長野市	104,080	83	63,673	94	110,723	88	0.95	60,489	58
岐阜市		99,100	79	67,062	99	100,101	79	0.95	63,709	64	
静岡県		116,714	93	74,199	110	106,104	84	1.00	74,199	64	
愛知県		115,684	92	74,113	110	105,167	83	1.05	77,819	67	
三重市		121,000	96	66,411	98	123,469	98	1.00	66,411	55	
滋賀県	大津市	90,239	72	61,908	92	98,086	78	1.00	61,908	69	
	京都市	144,000	114	67,827	100	144,000	114	1.05	71,218	49	
	大阪市	136,147	108	87,121	129	105,540	84	1.05	91,477	67	
	兵庫県	125,000	99	71,562	106	117,925	94	1.05	75,140	60	
	奈良市	120,000	95	65,800	97	123,711	98	1.00	65,800	55	
	和歌山市	112,000	89	66,331	98	114,286	91	1.00	66,331	59	
鳥取県	鳥取市	104,309	83	67,993	101	103,276	82	0.95	64,593	62	
	松江市	112,700	89	66,247	98	115,000	91	0.95	62,935	56	
	岡山市	106,060	84	69,281	103	102,971	82	1.00	69,281	65	
	広島市	117,410	93	65,585	97	121,041	96	1.00	65,585	56	
	山口市	124,000	98	64,660	96	129,167	102	0.95	61,427	50	
	徳島県	徳島市	95,538	76	58,405	86	111,091	88	0.95	55,485	58
高松市		98,000	78	69,196	102	96,078	76	0.95	65,736	67	
愛媛市		96,969	77	71,862	106	91,480	73	0.95	68,269	70	
高知市		113,000	90	69,525	103	109,709	87	0.95	66,049	58	
福岡県		福岡市	116,644	93	67,671	100	116,644	93	1.05	71,055	61
		佐賀市	98,300	78	66,858	99	99,293	79	0.95	63,515	65
	長崎市	114,934	91	65,789	97	118,489	94	0.95	62,500	54	
	熊本市	109,000	86	72,559	107	101,869	81	0.95	68,931	63	
	大分市	94,500	75	65,958	98	96,429	76	0.95	62,660	66	
	宮崎市	89,089	71	62,167	92	96,836	77	0.95	59,059	66	
	鹿児島市	85,000	67	61,226	91	93,407	74	0.95	58,165	68	
	沖縄県	鹿那覇市	102,850	82	59,765	89	115,562	92	0.95	56,777	55
	標準偏差	最高	12,743	10.1	4,661	6.9	11,187	8.9	-	6,265	5.4
		最低	京都市	京都市	大阪市	大阪市	京都市	京都市	-	大阪市	松山市
平均		144,000	114	87,121	129	144,000	114	-	91,477	70	
平均		鹿児島市	鹿児島市	徳島市	徳島市	松山市	松山市	-	徳島市	京都市	
平均	85,000	67	58,405	86	91,480	73	-	55,485	49		
平均	108,258	86	66,534	99	109,986	87	-	65,383	60		

(2) 別表2 木造家屋に係る建築価額等の指数年次比較(特別区=100)

都道府県	調査対象 都市名	建築価額			再建築費評点数			修正建築価額			
		56年度 指数	57年度 指数	58年度 指数	56年度 指数	57年度 指数	58年度 指数	56年度 指数	57年度 指数	58年度 指数	
北海道	札幌市	80	86	85	100	110	101	80	78	84	
	青森市	60	73	72	92	100	92	65	73	78	
	岩手市	74	87	82	90	96	88	82	91	93	
	宮城県	仙台市	63	75	91	94	100	93	67	75	98
	秋田県	秋田市	67	78	70	89	99	90	75	78	77
	山形県	山形市	71	76	75	94	100	92	75	76	82
福島県	福島市	64	72	75	94	102	96	68	70	78	
	茨城県	水戸市	72	85	77	99	111	98	73	77	78
	栃木県	宇都宮市	74	83	82	103	108	97	72	76	84
	群馬県	前橋市	68	84	84	96	99	92	71	85	91
	埼玉県	浦和市	92	121	93	102	106	93	90	114	99
	千葉県	千葉市	81	95	96	103	110	102	78	86	94
東京都	特別区	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
	神奈川	横浜市	93	137	92	92	113	101	101	121	91
	新潟県	新潟市	66	80	75	99	106	97	66	75	77
富山県	富山市	73	90	90	103	110	99	71	82	91	
	石川県	金沢市	67	90	86	100	107	99	67	84	87
	福井県	福井市	82	91	87	99	106	96	83	86	91
山梨県	甲府市	68	72	90	96	102	95	71	71	95	
	長野県	長野市	77	85	83	92	101	94	84	84	88
	岐阜県	岐阜市	72	81	79	102	106	99	70	77	79
	静岡県	静岡市	86	88	93	100	115	110	86	77	84
	愛知県	名古屋市	88	99	92	111	117	110	79	85	83
	三重県	津市	76	90	96	97	99	98	79	91	98
滋賀県	大津市	88	89	72	96	101	92	91	88	78	
	京都市	99	131	114	98	110	100	101	120	114	
	大阪府	大阪市	79	101	108	108	134	129	73	75	84
	兵庫県	神戸市	109	119	99	108	117	106	101	102	94
	奈良県	奈良市	95	83	95	96	106	97	99	78	98
	和歌山県	和歌山市	67	115	89	95	141	98	70	81	91
鳥取県	鳥取市	73	85	83	94	97	101	77	88	82	
	島根県	松江市	82	87	89	101	107	98	81	81	91
	岡山県	岡山市	74	78	84	102	110	103	73	71	82
	広島県	広島市	77	91	93	100	103	97	77	88	96
	山口県	山口市	81	99	98	98	103	96	83	96	102
徳島県	徳島市	86	92	76	95	101	86	90	91	88	
	香川県	高松市	75	78	78	95	105	102	79	74	76
	愛媛県	松山市	70	75	77	99	105	106	70	72	73
	高知県	高知市	71	85	90	90	105	103	79	81	87
福岡県	福岡市	70	90	93	100	110	100	70	82	93	
	佐賀県	佐賀市	74	99	78	94	106	99	79	93	79
	長崎県	長崎市	67	88	91	97	109	97	69	80	94
	熊本県	熊本市	73	81	86	93	106	107	78	76	81
	大分県	大分市	70	65	75	101	100	98	70	65	76
	宮崎県	宮崎市	76	78	71	97	102	92	79	76	77
	鹿児島県	鹿児島市	63	75	67	94	104	91	67	72	74
	沖縄県	那覇市	89	85	82	86	96	89	104	88	92
標準偏差	最高	10.6	15.0	10.1	4.7	8.3	6.9	10.0	12.6	8.9	
	最低	神戶市	横浜市	京都市	名古屋市	和歌山市	大阪市	横浜市	横浜市	京都市	
	平均	109	137	114	111	141	129	101	121	114	
	平均	青森市	大分市	鹿児島市	秋田市	大津市	徳島市	青森市	大分市	松山市	
平均	60	65	67	89	96	86	65	65	73		
平均	77	89	86	98	107	99	78	84	87		

都道府県	調査対象 都市名	評点水準 (再建築費評点数(%) 建築価額)				
		昭和 56年度	昭和 57年度	昭和 58年度		
北海道	札幌市	63	66	64		
	青森市	77	71	68		
	岩手市	62	57	58		
	宮城県	仙台市	76	68	54	
	秋田県	秋田市	67	66	69	
	山形県	山形市	68	67	66	
	福島県	福島市	75	73	68	
茨城県	水戸市	70	67	69		
	栃木市	70	67	64		
	群馬県	前橋市	71	60	59	
	埼玉県	浦和市	57	45	54	
	千葉県	千葉市	65	60	57	
	東京都	特別区	51	51	54	
	神奈川県	横浜市	50	42	58	
新潟県	新潟市	77	68	69		
	富山市	72	62	59		
	石川県	金沢市	75	61	61	
福井県	福井市	61	60	59		
	山梨県	甲府市	71	72	56	
		長野市	60	61	61	
岐阜県		岐阜市	72	67	68	
静岡県	静岡市	60	67	64		
	愛知県	名古屋市	64	61	64	
	三重県	津市	65	56	55	
滋賀県	大津市	55	59	69		
	京都府	京都市	50	43	47	
	大阪府	大阪市	69	68	64	
	兵庫県	神戸市	51	51	57	
	奈良県	奈良市	51	66	55	
和歌山県	和歌山市	72	63	59		
	鳥取県	鳥取市	66	58	65	
		島根県	松江市	62	63	59
岡山県		岡山市	70	73	65	
広島県	広島市	66	58	56		
	山口県	山口市	62	53	52	
	徳島県	徳島市	56	56	61	
香川県		高松市	65	69	71	
愛媛県		松山市	73	72	74	
高知県		高知市	64	64	62	
福岡県	福岡市	73	63	58		
	佐賀県	佐賀市	65	55	68	
	長崎県	長崎市	74	64	57	
		熊本県	熊本市	65	67	67
		大分県	大分市	73	79	70
	宮崎県	宮崎市	64	67	70	
		鹿児島県	鹿児島市	76	71	72
鹿儿岛市			49	58	58	
標準偏差	最高	7.7 青森市	7.9 大分市	6.1 松山市		
	最低	1.7 横浜市	7.9 横浜市	7.4 京都市		
	平均	1.5 0	4.2 0	4.7 0		
	平均	6.6	6.3	6.1		

(3) 別表3 木造家屋に係る建築価額等の物価水準別状況

都道府県	調査対象 都市名	物価水準 1.00			物価水準 0.95			物価水準 0.90				
		建築価額 (円)	修正建築 価額(円)	消費者 物価指数	建築価額 (円)	修正建築 価額(円)	消費者 物価指数	建築価額 (円)	修正建築 価額(円)	消費者 物価指数		
北海道	札幌市	106,740	105,683	95.5				90,900	98,804	92.4		
	青森市							103,511	117,626	90.3		
	岩手市						115,164	123,832	93.9			
	宮城県									87,725	97,472	91.4
	秋田山形福島									95,026	103,289	94.0
茨城県	水戸市	126,066	126,066	100.0	96,670	98,643	92.6					
	木都宮市				102,850	106,031	91.7					
	前橋市				106,060	115,283	90.6					
	浦和市				116,652	125,432	93.5					
	千葉特別区				120,735	118,368	93.7					
神奈川県	横浜市	116,205	115,054	98.6								
	新富山							94,753	97,684	93.8		
新潟県	新潟市							113,400	114,545	93.0		
	金沢市							109,000	110,101	93.4		
	福井市							110,000	114,583	92.7		
山梨県	甲府市							114,000	120,000	92.1		
	長野市							104,080	110,723	91.1		
	岐阜市				116,714	106,104	95.0	99,100	100,101	91.8		
静岡県	岡崎市	115,684	105,167	95.0	121,000	123,469	90.7					
	名古屋市											
滋賀県	大津市	144,000	144,000	96.1	90,239	98,086	92.8					
	京都市	136,147	105,540	94.8								
	大阪市	125,000	117,925	94.1								
	神戸市				120,000	123,711	92.8					
和歌山県	和歌山市				112,000	114,286	94.0					
	鳥取市							104,309	103,276	91.5		
鳥取県	松江市							112,700	115,000	92.4		
	岡山市				106,060	102,971	93.5					
	山口市				117,410	121,041	92.5					
徳島県	徳島市							95,538	111,091	92.2		
	高松市							98,000	96,078	90.6		
	高知市							96,969	91,480	90.0		
高知県	高知市							113,000	109,709	92.7		
	福岡市	116,644	116,644	92.9				98,300	99,293	91.0		
福岡県	福岡市							114,934	118,489	92.3		
	佐賀市							109,000	101,869	90.6		
	長崎市							94,500	96,429	90.0		
	熊本市							89,089	96,836	89.5		
	大分市							85,000	93,407	91.7		
	宮崎市							102,850	115,562	91.8		
	鹿児島市											
鹿児島県	鹿儿岛市											
	那覇市											
標最	偏差高	11,352	12,326	2.2	9,410	9,674	1.2	9,857	9,650	1.2		
最	低	京都市	京都市	特別区	津市	浦和市	静岡市	山口市	山口市	山形市		
	均	144,000	144,000	100.0	121,000	125,432	95.0	124,000	129,167	94.0		
平	均	106,740	105,167	92.9	90,239	98,086	90.6	85,000	91,480	89.5		
	均	123,311	117,010	95.9	110,889	113,635	92.9	102,073	105,840	91.7		

(4) 別表 4 木造家屋に係る部分別構成比の状況(再建築費評点数=100)

都道府県	調査対象 都市名	屋 根			基 礎			外 壁		
		56年度	57年度	58年度	56年度	57年度	58年度	56年度	57年度	58年度
北海道	札幌市	6	8	6	9	8	9	10	11	12
	札幌市	7	7	5	5	5	4	14	15	15
	旭川市	8	6	7	6	6	5	12	14	14
	旭川市	9	10	8	6	7	6	8	9	8
	旭川市	9	9	8	6	7	7	13	13	11
青森県	青森市	8	8	8	6	6	5	11	11	12
	青森市	12	10	13	4	4	5	8	10	10
	八戸市	14	14	15	5	5	4	10	9	11
	八戸市	15	11	12	5	4	4	9	10	9
	八戸市	15	14	16	3	3	3	9	10	9
岩手県	盛岡市	13	11	8	3	4	4	8	8	10
	盛岡市	16	15	15	4	4	5	10	10	9
	盛岡市	10	11	12	2	3	4	12	11	10
	盛岡市	11	16	10	4	4	3	8	8	10
	盛岡市	11	14	12	6	6	6	10	9	10
宮城県	仙台市	13	14	14	5	5	6	10	10	10
	仙台市	11	13	13	4	6	5	11	12	9
	仙台市	15	12	11	3	4	4	7	8	9
	仙台市	16	12	16	4	4	5	9	9	7
	仙台市	12	12	12	5	5	5	9	10	9
秋田県	秋田市	10	14	13	4	5	3	7	10	8
	秋田市	10	12	13	4	4	5	9	10	9
	秋田市	10	9	12	4	4	5	7	9	9
	秋田市	15	14	15	3	6	5	9	9	7
	秋田市	13	11	13	4	4	4	11	10	11
福島県	福島市	11	7	10	3	3	4	9	10	10
	福島市	12	13	16	5	4	4	9	10	8
	福島市	12	14	9	3	3	4	10	8	10
	福島市	10	12	13	4	5	4	10	12	10
	福島市	10	15	14	2	5	5	8	6	8
茨城県	水戸市	13	9	15	5	5	4	10	9	9
	水戸市	16	17	18	5	6	6	9	9	10
	水戸市	10	16	12	5	6	5	13	8	10
	水戸市	15	18	14	4	6	6	10	9	10
	水戸市	14	20	17	8	7	5	7	7	9
栃木県	宇都宮市	13	10	11	4	3	4	10	11	11
	宇都宮市	12	10	14	4	5	4	8	8	10
	宇都宮市	14	7	8	6	4	5	13	15	10
	宇都宮市	7	15	13	5	6	5	8	8	9
	宇都宮市	14	7	15	5	4	7	12	12	14
群馬県	高崎市	11	11	12	5	5	5	10	9	9
	高崎市	9	11	14	3	3	4	7	8	8
	高崎市	10	13	11	4	4	5	8	10	9
	高崎市	11	10	9	7	5	4	9	9	9
	高崎市	10	20	16	5	8	8	10	8	6
埼玉県	さいたま市	9	9	10	5	4	4	10	8	7
	さいたま市	10	13	13	6	3	4	10	13	8
	さいたま市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	さいたま市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	さいたま市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
千葉県	千葉市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	千葉市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	千葉市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	千葉市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	千葉市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
東京都	東京都	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	東京都	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	東京都	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	東京都	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	東京都	16	20	18	9	8	9	14	15	15
神奈川県	横浜市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	横浜市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	横浜市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	横浜市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	横浜市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
静岡県	静岡市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	静岡市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	静岡市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	静岡市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	静岡市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
愛知県	名古屋市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	名古屋市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	名古屋市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	名古屋市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	名古屋市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
岐阜県	岐阜市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	岐阜市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	岐阜市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	岐阜市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	岐阜市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
富山県	富山市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	富山市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	富山市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	富山市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	富山市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
石川県	金沢市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	金沢市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	金沢市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	金沢市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	金沢市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
福井県	福井市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	福井市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	福井市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	福井市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	福井市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
山梨県	甲府市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	甲府市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	甲府市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	甲府市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	甲府市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
長野県	長野市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	長野市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	長野市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	長野市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	長野市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
岐阜県	岐阜市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	岐阜市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	岐阜市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	岐阜市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	岐阜市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
静岡県	静岡市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	静岡市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	静岡市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	静岡市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	静岡市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
愛知県	名古屋市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	名古屋市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	名古屋市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	名古屋市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	名古屋市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
岐阜県	岐阜市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	岐阜市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	岐阜市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	岐阜市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	岐阜市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
富山県	富山市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	富山市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	富山市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	富山市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	富山市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
石川県	金沢市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	金沢市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	金沢市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	金沢市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	金沢市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
福井県	福井市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	福井市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	福井市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	福井市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	福井市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
山梨県	甲府市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	甲府市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	甲府市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	甲府市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	甲府市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
長野県	長野市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	長野市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	長野市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	長野市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	長野市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
岐阜県	岐阜市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	岐阜市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	岐阜市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	岐阜市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	岐阜市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
静岡県	静岡市	6	6	5	2	5	3	7	6	6
	静岡市	12	12	12	5	5	5	10	10	10
	静岡市	2.6	3.3	3.0	1.4	1.3	1.2	1.8	1.9	1.7
	静岡市	千外	山口外	松江市	札幌市	札幌市	札幌市	青森市	青森市	青森市
	静岡市	16	20	18	9	8	9	14	15	15
愛知県	名古屋市	6	6	5	2	5	3			



都道府県	調査対象都市名	柱			造作			内 壁		
		56年度	57年度	58年度	56年度	57年度	58年度	56年度	57年度	58年度
北海道	札幌市	9	8	8	4	5	5	15	13	11
	札幌市	14	13	13	7	8	9	13	13	14
	旭川市	8	8	7	5	5	5	13	16	17
	釧路市	9	7	10	6	5	6	16	19	16
	帯広市	8	8	8	5	5	6	15	15	15
	山形市	9	9	9	6	6	6	15	15	13
茨城県	水戸市	10	9	8	5	6	5	12	14	13
	宇都宮市	11	10	8	7	6	6	11	15	14
	前橋市	7	8	7	5	5	5	16	16	13
	浦和市	12	10	14	8	7	5	11	14	14
	千葉市	12	7	8	7	5	4	13	19	18
	東京市	9	10	9	6	6	4	21	18	18
新潟県	新潟市	8	8	10	5	5	6	15	15	14
	富山市	10	9	7	7	5	4	13	14	14
	金沢市	10	11	10	7	5	5	13	14	15
	福井市	9	10	7	7	8	5	15	17	17
	甲府市	11	11	9	5	6	6	14	17	12
	長野市	12	11	9	6	6	6	11	11	13
岐阜県	岐阜市	18	14	16	11	9	10	10	8	11
	静岡市	14	12	12	7	8	7	12	13	11
	名古屋	18	11	15	11	7	9	14	20	14
	三重市	13	10	11	8	4	7	14	14	13
	津市	11	10	10	7	7	6	13	13	13
	大津市	12	15	16	8	5	6	15	16	14
滋賀県	大津市	11	11	13	8	7	9	13	16	9
	彦根市	9	10	9	6	5	5	17	17	16
	奈良市	11	8	11	6	5	6	14	12	13
	和歌山市	16	17	13	8	11	9	12	13	11
	鳥取市	12	15	12	5	6	7	12	10	10
	松江市	9	7	8	6	5	5	13	12	12
岡山県	岡山市	9	10	10	6	8	6	16	18	14
	広島市	8	8	8	5	4	5	14	15	13
	山口市	7	6	6	5	5	4	18	15	15
	徳島市	10	9	8	6	6	5	12	13	14
	高松市	11	11	9	7	7	5	12	15	14
	高知市	11	10	6	7	4	4	14	18	21
福岡県	福岡市	12	6	11	6	4	5	13	13	11
	福岡市	10	14	8	5	9	5	16	13	12
	北九州市	8	8	9	6	5	6	10	13	12
	熊本市	11	11	9	7	8	8	13	12	13
	大分市	8	7	8	5	6	6	16	15	17
	宮崎県	8	6	10	6	6	6	11	15	15
鹿児島県	鹿児島市	10	6	9	7	5	6	14	11	10
	鹿儿岛市	10	11	9	8	9	7	11	8	15
	那覇市	6	7	6	5	6	6	16	11	13
	標準	2.5	2.5	2.5	1.5	1.6	1.5	2.2	2.6	2.3
	最高	岐阜市 18	和歌山市 17	岐阜市 16	岐阜市 11	和歌山市 11	岐阜市 10	特別区 21	名古屋市 20	松山市 21
	最低	前橋市 7	山口市 6	山口市 6	札幌市 4	福島市 4	千葉市、特別区 4	岐阜市 10	岐阜市 8	大阪市 9
平均	10	10	10	6	6	6	14	14	14	

都道府県	調査対象都市名	天 井			床			建 具		
		56年度	57年度	58年度	56年度	57年度	58年度	56年度	57年度	58年度
北海道	札幌市	7	5	6	9	10	10	8	12	11
	青森市	7	7	7	11	10	12	8	8	8
	岩手市	9	8	7	12	11	12	14	14	11
	宮城県	8	7	7	11	11	12	15	12	14
	秋田県	8	7	7	12	11	12	9	9	12
山形県	山形市	9	9	10	12	12	13	10	10	12
	福島市	7	10	9	12	12	11	12	12	10
茨城県	水戸市	6	10	9	11	10	11	12	11	11
	栃木市	9	10	7	10	4	11	10	12	11
	群馬市	7	6	6	12	10	12	12	10	12
	埼玉県	7	7	6	11	12	14	11	11	11
	千葉県	5	7	7	11	10	11	9	11	9
東京都	千代田区	4	4	5	13	11	13	8	11	11
	中央区	13	4	4	12	10	10	13	11	15
新潟県	新潟市	7	10	8	11	10	10	11	11	10
	富山市	8	8	8	10	10	11	10	11	11
	石川市	8	8	9	11	10	11	8	7	9
	福井市	9	8	14	10	11	11	12	11	11
山梨県	甲府市	6	7	7	12	13	11	10	9	13
	長野市	8	7	8	11	11	10	11	11	12
	岐阜市	6	6	7	11	11	9	11	12	12
	静岡県	8	6	6	11	10	10	9	11	10
	愛知県	5	6	5	9	10	9	11	11	12
三重県	名古屋	5	4	5	10	11	9	8	8	12
	津市	5	4	5	10	11	9	8	8	12
滋賀県	大津市	6	5	6	12	12	12	11	11	11
	京都府	5	6	5	11	13	10	10	11	11
	大阪府	5	5	6	10	10	10	12	9	10
	兵庫県	7	7	8	11	11	10	9	11	11
	奈良県	5	6	6	12	12	12	11	13	11
和歌山県	和歌山市	6	8	7	13	17	11	11	8	11
	鳥取市	7	8	7	10	11	10	10	10	11
島根県	松江市	5	6	6	10	11	10	10	11	10
	岡山県	8	5	8	12	11	12	8	5	9
広島県	広島市	8	5	8	11	12	11	9	10	10
	山口県	5	5	5	9	9	10	11	13	11
徳島県	徳島市	9	8	7	11	13	12	10	10	11
	香川県	9	7	7	11	10	11	11	12	11
	愛媛県	5	10	7	10	12	12	8	6	11
高知県	高知市	7	8	9	13	12	11	10	10	11
	福岡県	6	8	7	10	10	10	9	9	9
福岡県	福岡市	10	7	8	11	11	11	14	13	13
	佐賀市	9	9	7	10	10	10	16	16	16
	長崎県	9	9	7	10	10	10	16	16	16
	熊本県	7	8	10	13	11	11	12	11	11
	大宮市	8	7	7	11	11	10	12	14	12
宮城県	分岐市	7	7	7	10	10	10	10	11	12
	鹿島市	7	6	8	11	10	12	15	17	13
沖縄県	那覇市	6	6	5	13	14	14	13	15	15
	那覇市	6	6	5	13	14	14	13	15	15
標準	偏差	1.7	1.6	1.7	1.0	1.5	1.1	2.0	2.2	1.5
	最高	横浜市	福島市	福井市	特別区	甲府市	浦和市	長崎市	鹿児島市	長崎市
最低	特別区	13	4	14	13	13	14	16	17	16
	4	2	4	4	9	4	9	8	5	8
平均	均	7	7	7	11	11	11	11	11	11

都道府県	府名	調査対象 都市名	その他工事			建築設備		
			56年度	57年度	58年度	56年度	57年度	58年度
北海道	札幌市	札幌市	7	7	7	15	13	16
		札幌市	6	7	7	7	6	7
		札幌市	7	7	7	6	5	9
		札幌市	6	7	6	6	6	9
		札幌市	6	7	6	9	9	8
		札幌市	6	7	7	7	6	7
		札幌市	6	6	6	9	13	11
		札幌市	7	6	6	8	6	8
		札幌市	6	10	9	7	7	8
		札幌市	6	7	7	8	9	10
茨城県	水戸市	水戸市	6	7	6	9	8	9
		水戸市	8	7	6	9	8	9
		水戸市	5	5	5	7	7	7
		水戸市	6	6	5	9	10	8
		水戸市	6	5	5	6	6	8
		水戸市	6	6	6	9	7	7
		水戸市	5	5	6	9	9	10
		水戸市	6	5	6	11	9	8
		水戸市	6	6	6	6	5	5
		水戸市	6	6	6	6	7	9
新潟県	新潟市	新潟市	7	7	6	6	8	9
		新潟市	5	6	5	6	6	6
		新潟市	7	6	6	8	8	10
		新潟市	5	5	5	5	7	5
		新潟市	6	6	6	8	7	10
		新潟市	6	6	5	6	10	8
		新潟市	6	6	7	10	8	7
		新潟市	5	6	9	10	9	6
		新潟市	7	6	6	9	8	12
		新潟市	6	6	6	11	9	7
静岡県	静岡市	静岡市	6	4	6	8	5	6
		静岡市	6	6	6	10	10	9
		静岡市	5	6	6	11	11	10
		静岡市	5	5	5	7	7	8
		静岡市	6	6	6	11	7	10
		静岡市	6	6	7	11	8	9
		静岡市	6	6	6	9	10	11
		静岡市	6	6	5	9	8	10
		静岡市	6	6	9	5	9	6
		静岡市	7	7	6	13	9	9
徳島県	徳島市	徳島市	6	6	5	8	8	7
		徳島市	8	7	7	7	10	8
		徳島市	8	8	7	6	5	5
		徳島市	6	6	5	11	10	7
		徳島市	6	7	7	11	11	10
		徳島市	6	6	6	9	8	10
		徳島市	6	6	8	9	9	8
		徳島市	6	10	8	9	9	8
		徳島市	10	6	8	7	7	7
		徳島市	0.8	1.1	1.0	2.2	1.9	2.0
香川県	高松市	高松市	浦外	宇都宮市	宇都宮市	札幌市	札幌市	札幌市
		高松市	2	1	2	15	13	16
		高松市	8	10	9	5	5	5
		高松市	6	和歌山市	千葉市	名古屋市	盛岡市	福井市
		高松市	5	4	外8	1	3	外2
		高松市	6	6	5	5	5	5
		高松市	6	6	6	8	8	8
		高松市	6	6	6	9	8	10
		高松市	6	6	6	9	8	10
		高松市	6	6	6	9	9	8
高知県	高知市	高知市	6	6	6	9	10	11
		高知市	6	6	5	9	8	10
		高知市	6	6	9	5	9	6
		高知市	7	7	6	13	9	9
		高知市	6	6	5	8	8	7
		高知市	8	7	7	7	10	8
		高知市	8	8	7	6	5	5
		高知市	6	6	5	11	10	7
		高知市	6	7	7	11	11	10
		高知市	6	6	6	9	8	10
福岡県	福岡市	福岡市	6	6	6	9	10	11
		福岡市	6	6	5	9	8	10
		福岡市	6	6	9	5	9	6
		福岡市	7	7	6	13	9	9
		福岡市	6	6	5	8	8	7
		福岡市	8	7	7	7	10	8
		福岡市	8	8	7	6	5	5
		福岡市	6	6	5	11	10	7
		福岡市	6	7	7	11	11	10
		福岡市	6	6	6	9	8	10
鹿児島県	鹿儿岛市	鹿儿岛市	6	6	6	9	10	11
		鹿儿岛市	6	6	5	9	8	10
		鹿儿岛市	6	6	9	5	9	6
		鹿儿岛市	7	7	6	13	9	9
		鹿儿岛市	6	6	5	8	8	7
		鹿儿岛市	8	7	7	7	10	8
		鹿儿岛市	8	8	7	6	5	5
		鹿儿岛市	6	6	5	11	10	7
		鹿儿岛市	6	7	7	11	11	10
		鹿儿岛市	6	6	6	9	8	10
鹿児島県	鹿儿岛市	6	10	8	9	9	8	
鹿児島県	鹿儿岛市	10	6	8	7	7	7	
標準	偏差	0.8	1.1	1.0	2.2	1.9	2.0	
最	高	浦外	宇都宮市	宇都宮市	札幌市	札幌市	札幌市	
最	低	2	1	2	15	13	16	
平	均	8	10	9	5	5	5	
		6	和歌山市	千葉市	名古屋市	盛岡市	福井市	
		5	4	外8	1	3	外2	
		6	6	5	5	5	5	
		6	6	6	8	8	8	
		6	6	6	9	8	10	
		6	6	6	9	8	10	
		6	6	6	9	9	8	
		6	6	6	9	9	8	



(6) 別表6 木造家屋に係る建築価額等の状況(3か年度平均)

都道府県	調査対象都市名	建 築 価 額 (A)						
		56年度価額	57年度価額	58年度価額	平均	指数 特別区=100		
北海道	札幌市	105,207	104,236	106,740	105,394	64		
	青森市	78,788	87,878	90,900	85,855	68		
	岩手市	96,600	105,600	103,511	101,904	81		
	宮城県	城仙台市	82,054	90,750	115,164	95,989	76	
	秋田山形	田形市	87,700	93,770	87,725	89,732	71	
	福島	山形市	92,359	92,359	95,026	93,248	74	
		福島市	83,490	86,880	95,002	88,457	70	
	茨城県	水戸市	93,949	102,837	96,670	97,819	78	
		栃木市	宇都宮市	97,314	99,823	102,850	99,996	79
群馬		前橋市	89,393	101,250	106,060	98,901	79	
埼玉		浦和市	120,000	146,241	116,652	127,631	101	
千葉		千葉市	105,315	114,782	120,735	113,611	90	
東京都		特別区	130,800	120,929	126,066	125,932	100	
		神奈川	横浜市	121,643	165,982	116,205	134,610	107
新潟		新潟市	86,008	96,195	94,753	92,319	73	
	富山	富山市	95,457	109,090	113,400	105,982	84	
	石川	金沢市	87,800	108,800	109,000	101,867	81	
	福井	福井市	107,390	110,000	110,000	109,130	87	
山梨	甲府市	89,564	87,337	114,000	96,967	77		
	長野	野田市	100,800	102,777	104,080	102,552	81	
	岐阜	岐阜市	93,784	98,312	99,100	97,065	77	
	静岡	静岡市	111,925	106,796	116,714	111,812	89	
	愛知県	名古屋	115,000	120,000	115,684	116,895	93	
		三河	重津市	100,000	109,000	121,000	110,000	87
	滋賀	大津市	114,790	107,306	90,239	104,112	83	
		京都	京都市	130,000	159,000	144,000	144,333	115
大阪		大阪市	103,282	121,943	136,147	120,457	96	
		神戸	神戸市	141,975	144,100	125,000	137,025	109
奈良		奈良市	124,550	99,824	120,000	114,791	91	
		和歌山	和歌山市	87,500	138,650	112,000	112,717	90
鳥取	鳥取市	94,866	102,852	104,309	100,676	80		
	島根	松江市	107,540	105,124	112,700	108,455	86	
	岡山	岡山市	96,969	94,121	106,060	99,050	79	
	広島	広島市	100,646	109,645	117,410	109,234	87	
		山口	山口市	105,852	120,000	124,000	116,617	93
徳島	徳島市	112,100	111,000	95,538	106,213	84		
	香川	高松市	98,000	94,000	98,000	96,667	77	
	愛媛	松山市	90,909	90,909	96,969	92,929	74	
	高知	高知市	93,000	103,000	113,000	103,000	82	
福岡	福岡市	91,000	108,730	116,644	105,458	84		
	佐賀	佐賀市	96,615	119,801	98,300	104,905	83	
	長崎	長崎市	87,000	106,000	114,934	102,645	82	
	熊本	熊本市	95,000	98,000	109,000	100,667	80	
	大分	大分市	92,200	78,828	94,500	88,509	70	
		宮崎	宮崎市	100,000	94,000	89,089	94,363	75
	鹿児島	鹿児島市	81,800	90,888	85,000	85,896	68	
		沖縄	那覇市	116,983	102,490	102,850	107,441	85
	標準偏差	最高	13,957 神戸市	18,187 横浜市	12,743 京都市	13,041 京都市	10.4 京都市	
最低		141,975 青森市	165,982 大分市	144,000 鹿児島市	144,333 青森市	115 青森市外1市		
平均		78,788	78,828	85,000	85,855	68		
平均		100,390	107,812	108,258	105,486	84		

都道府県	調査対象 都市名	再 建 築 費 評 点 数 (B)					
		56 年 度 評 点 数	57 年 度 評 点 数	58 年 度 評 点 数	平 均	指 数 特別区=100	
北海道	札幌市	53,705	68,418	68,103	63,409	104	
	青森市	49,233	62,237	62,161	57,877	95	
	岩手市	48,183	59,680	59,751	55,871	91	
	宮城県	仙台市	50,353	62,111	62,474	58,313	95
	秋田県	秋田市	47,604	61,528	60,467	56,533	93
	山形県	山形市	50,277	62,149	62,367	58,264	95
福島県	福島市	50,218	63,494	65,017	59,576	98	
	茨城県	水戸市	53,198	68,946	66,392	62,845	103
	栃木県	宇都宮市	55,000	66,952	65,742	62,565	102
	群馬県	前橋市	51,373	61,220	62,390	58,328	96
	埼玉県	玉浦市	54,965	66,094	62,645	61,235	100
	千葉県	千葉市	55,240	68,497	68,700	64,146	105
東京都	特別区	53,630	62,066	67,526	61,074	100	
	神奈川	横浜市	49,373	69,968	67,938	62,426	102
	新潟県	新潟市	53,309	65,698	65,459	61,489	101
	富山県	富山市	55,199	68,030	66,780	63,336	104
	石川県	金沢市	53,404	66,690	66,791	62,295	102
	福井県	福井市	52,950	66,038	64,877	61,288	100
山梨県	甲府市	51,556	63,003	64,004	59,521	97	
	長野県	長野市	49,111	62,810	63,673	58,531	96
	岐阜県	岐阜市	54,559	66,013	67,062	62,545	102
	静岡県	静岡市	53,806	71,486	74,199	66,497	109
	愛知県	名古屋市	59,319	72,880	74,113	68,771	113
	三重県	津市	52,235	61,578	66,411	60,075	98
滋賀県	大津市	51,245	62,957	61,908	58,703	96	
	京都府	京都市	52,785	68,526	67,827	63,046	103
	大阪府	大阪市	57,835	82,902	87,121	75,953	124
	兵庫県	神戸市	58,123	72,781	71,562	67,489	111
	奈良県	奈良市	51,538	65,985	65,800	61,108	100
	和歌山県	和歌山市	50,985	87,350	66,331	68,222	112
鳥取県	鳥取市	50,402	60,022	67,993	59,472	97	
	島根県	松江市	54,069	66,553	66,247	62,290	102
	岡山県	岡山市	54,579	68,278	69,281	64,046	105
	広島県	広島市	53,517	63,655	65,585	60,919	100
	山口県	山口市	52,761	64,101	64,660	60,507	99
	徳島県	徳島市	50,744	62,598	58,405	57,249	94
香川県		高松市	51,101	65,177	69,196	61,825	101
愛媛県		松山市	53,215	65,094	71,862	63,390	104
高知県		高知市	48,302	65,474	69,525	61,100	100
福岡県		福岡市	53,602	68,268	67,671	63,180	103
		佐賀県	佐賀市	50,473	65,552	66,858	60,961
	長崎県	長崎市	52,001	67,817	65,789	61,869	101
	熊本県	熊本市	49,889	65,663	72,559	62,704	103
	大分県	大分市	54,280	62,253	65,958	60,830	100
	宮崎県	宮崎市	51,935	63,125	62,167	59,076	98
鹿児島県	鹿児島市	50,245	64,733	61,226	58,735	96	
	鹿儿岛市	46,162	59,359	59,765	55,095	90	
標準偏差	最高	2,541 名古屋市	5,116 和歌山市	4,661 大阪市	3,512 大阪市	5.8 大阪市	
	最低	59,319 秋田市	87,350 盛岡市	87,121 徳島市	75,953 盛岡市	124 盛岡市	
	平均	47,604	59,680	58,405	55,871	91	
	平均	52,422	66,227	66,534	61,728	101	

都道府県	調査対象 都市名	修正建築価額 (C)					
		56年度価額 (A/B指数)円	57年度価額 (A/B指数)円	58年度価額 (A/B指数)円	平均	指数 特別区=100	
北海道	札幌市	105,207	94,760	105,683	101,883	81	
	青森市	85,639	87,878	98,804	90,774	72	
	岩手市	107,333	110,000	117,626	111,653	89	
	宮城県	87,291	90,750	123,832	100,624	80	
	秋田山形	98,539	94,717	97,472	96,909	77	
	福島	98,254	92,359	103,289	97,967	78	
	茨城	88,819	85,176	98,960	90,985	72	
	栃木	94,898	92,646	98,643	95,396	76	
	群馬	94,480	92,429	106,031	97,647	78	
	埼玉	93,118	102,227	115,283	103,543	82	
千葉県	浦和市	117,647	137,963	125,432	127,014	101	
	千葉市	102,248	104,347	118,368	108,321	86	
	特別区	130,800	120,929	126,066	125,932	100	
	神奈川	132,221	146,887	151,054	131,387	104	
	新潟	86,877	90,750	97,684	91,770	73	
	富山	92,677	99,173	114,545	102,132	81	
	石川	87,800	101,682	110,101	99,861	79	
	福井	108,475	103,774	114,583	108,944	87	
	山梨	93,296	85,625	120,000	99,640	79	
	長野	109,565	101,759	110,723	107,349	85	
岐阜	岐阜市	91,945	92,747	100,101	94,931	75	
	静岡	111,925	92,866	106,104	103,632	82	
	愛知	103,604	102,564	105,167	103,778	82	
	三重	103,093	110,101	123,469	112,221	89	
	滋賀	119,573	106,244	98,086	107,968	86	
	京都	132,653	144,545	144,000	140,399	111	
	大阪	95,631	91,002	105,540	97,391	77	
	兵庫	131,458	123,162	117,925	124,182	99	
	奈良	129,740	94,174	123,711	115,875	92	
	和歌山	92,105	98,333	114,286	101,575	81	
鳥取	鳥取市	100,921	106,033	103,276	103,410	82	
	島根	106,475	98,247	115,000	106,574	85	
	岡山	95,068	85,565	102,971	94,535	75	
	広島	100,646	106,451	121,041	109,379	87	
	山口	108,012	116,505	129,167	117,895	94	
	徳島	118,000	109,901	111,091	112,997	90	
	香川	103,158	89,524	96,078	96,253	76	
	愛媛	91,827	86,580	91,480	89,962	71	
	高知	103,333	98,095	109,709	103,712	82	
	福井	91,000	98,845	116,644	102,163	81	
佐賀	福岡市	102,782	113,020	99,293	105,032	83	
	長崎	89,691	97,248	118,489	101,809	81	
	熊本	102,151	92,453	101,869	98,824	78	
	大分	91,287	78,828	96,429	88,848	71	
	宮崎	103,093	92,157	96,836	97,362	77	
	鹿児島	87,021	87,392	93,407	89,273	71	
	沖縄	136,027	106,760	115,562	119,450	95	
	標準偏差	最高	13,089	14,970	11,187	11,308	90
		最低	京都市 132,653	横浜市 146,887	京都市 144,000	京都市 140,399	京都市 111
		平均	青森市 85,639	大分市 78,828	松山市 91,480	大分市 88,848	松山市外2市 71
平均		102,639	101,052	109,986	104,559	83	

都道府県	調査対象都市名	再 建 築 価 額 (D)					
		56年度価額 (円)	57年度価額 (円)	58年度価額 (円)	平 均	(D)/(A) (%)	
北海道	札幌市	56,390	71,839	71,508	66,579	63	
	青森市	46,771	59,125	59,053	54,983	64	
	岩手市	45,774	56,696	56,763	53,078	52	
	宮城県	仙台市	50,353	62,111	62,474	58,313	61
	秋田県	秋田市	45,224	58,452	57,444	53,707	60
	山形県	山形市	47,763	59,042	59,249	55,351	59
	福島県	福島市	47,707	60,319	61,766	56,597	64
	茨城県	水戸市	53,198	68,946	66,392	62,845	64
		宇都宮市	55,000	66,952	65,742	62,565	63
群馬県		前橋市	51,373	61,220	62,390	58,328	59
埼玉県		浦和市	54,965	66,094	62,645	61,235	48
千葉県		千葉市	55,240	68,497	68,700	64,146	56
東京都		特別区	56,311	65,169	70,902	64,127	51
神奈川県		横浜市	51,842	73,466	71,335	65,548	49
新潟県		新潟市	50,644	62,413	62,186	58,414	63
		富山市	52,439	64,629	63,441	60,170	57
	石川県	金沢市	50,734	63,356	63,451	59,180	58
山梨県	福井市	50,303	62,736	61,633	58,224	53	
	梨野市	48,978	59,853	60,804	56,545	58	
	長野県	長野市	46,655	59,670	60,489	55,605	54
岐阜県	岐阜市	51,831	62,712	63,709	59,417	61	
	静岡県	静岡市	53,806	71,486	74,199	66,497	59
	愛知県	名古屋	62,285	76,524	77,819	72,209	62
滋賀県	三重市	52,235	61,578	66,411	60,075	55	
	大津市	51,245	62,957	61,908	58,703	56	
	京都府	京都市	55,424	71,952	71,218	66,198	46
大阪府	大阪市	60,727	87,047	91,477	79,750	66	
	兵庫県	神戸市	61,029	76,420	75,140	70,863	52
	奈良県	奈良市	51,538	65,985	65,800	61,108	53
和歌山県	和歌山市	50,985	87,350	66,331	68,222	61	
	鳥取県	鳥取市	47,882	57,021	64,593	56,499	56
	島根県	松江市	51,366	63,225	62,935	59,175	55
岡山県	岡山市	54,579	85,565	69,281	69,808	70	
	広島県	広島市	53,517	63,655	65,585	60,919	56
	山口県	山口市	50,123	60,896	61,427	57,482	49
徳島県	徳島市	48,207	59,468	55,485	54,387	51	
	香川県	高松市	48,546	61,918	65,736	58,733	61
	愛媛県	松山市	50,554	61,839	68,269	60,221	65
高知県	高知市	45,887	62,200	66,049	58,045	56	
	福岡県	福岡市	56,282	71,681	71,055	66,339	63
		佐賀県	佐賀市	47,949	62,274	63,515	57,913
長崎県		長崎市	49,401	64,426	62,500	58,776	57
熊本県		熊本市	47,395	62,380	68,931	59,569	59
大分県		大分市	51,566	59,140	62,660	57,789	65
宮崎県		宮崎市	49,338	59,969	59,059	56,122	59
鹿児島県		鹿児島市	47,733	61,496	58,165	55,798	65
沖縄県		那覇市	43,854	56,391	56,777	52,341	49
標準偏差		最高	3,945 名古屋市	7,366 和歌山市	6,265 大阪市	5,379 大阪市	5.3 岡山市
	最低	62,285 秋田市	87,350 盛岡市	91,477 徳島市	79,750 盛岡市	70 京都市	
	平均	45,224	56,696	55,485	53,078	46	
	平均	51,502	65,473	65,383	60,786	58	



(7) 別表7 木造家屋に係る建築価額等の物価水準別状況(3か年度平均)

都道府県	調査対象 都市名	物価水準 1.00			物価水準 0.95			物価水準 0.90		
		建築価額 (円)	修正建築 価額(円)	消費者 物価指数	建築価額 (円)	修正建築 価額(円)	消費者 物価指数	建築価額 (円)	修正建築 価額(円)	消費者 物価指数
北海道 札幌市 旭川市 釧路市 帯広市 苫小牧市	札幌市	105,394	101,883	95.6				85,855	90,774	92.4
	旭川市				95,989	100,624	94.1	101,904	111,653	90.9
	釧路市							89,732	96,909	91.4
	帯広市							93,248	97,967	94.2
	苫小牧市							88,457	90,985	91.0
茨城県 水戸市 宇都宮市 前橋市 浦和市 千葉市 東京都 中央区 千代田区 墨田区 江東区 荒川区 足立区 葛飾区 江戸川区	水戸市				97,819	95,396	92.6			
	宇都宮市				99,996	97,647	91.3			
	前橋市				98,901	103,543	90.8			
	浦和市				127,631	127,014	93.8			
	千葉市				113,611	108,321	94.1			
東京都 中央区 千代田区 墨田区 江東区 荒川区 足立区 葛飾区 江戸川区	中央区	125,932	125,932	100.0						
	千代田区	134,610	131,387	98.5						
新潟県 新潟市 富山市 石川市 福井県 福井市	新潟市							92,319	91,770	93.7
	富山市							105,982	102,132	92.9
	石川市							101,867	99,861	93.6
	福井市							109,130	108,944	92.4
山梨県 甲府市 長野県 長野市 岐阜県 岐阜市 静岡県 静岡市 愛知県 名古屋市 三重県 津市	甲府市							96,967	99,640	92.0
	長野市							102,552	107,349	90.9
	岐阜市				111,812	103,632	95.5	97,065	94,931	92.2
	静岡市									
	名古屋市	116,895	103,778	94.9	110,000	112,221	90.6			
滋賀県 大津市 京都府 京都市 大阪府 大阪市 兵庫県 神戸市 奈良県 奈良市 和歌山県 和歌山市	大津市	144,333	140,399	96.6	104,112	107,968	93.3			
	京都市	120,457	97,391	95.0						
	大阪市	137,025	124,182	94.6						
	神戸市				114,791	115,875	94.0			
	和歌山市				112,717	101,575	94.3			
鳥取県 鳥取市 島根県 松江市 岡山県 岡山市 広島県 広島市 山口県 山口市	鳥取市							100,676	103,410	92.0
	松江市							108,455	106,574	92.0
	岡山市				99,050	94,535	93.9			
	広島市				109,234	109,379	93.4			
徳島県 徳島市 香川県 高松市 愛媛県 高知市 高知市	徳島市							106,213	112,997	93.2
	高松市							96,667	96,253	91.1
	高知市							92,929	89,962	90.4
	高知市							103,000	103,712	92.9
福岡県 福岡市 佐賀県 佐賀市 長崎県 長崎市 熊本県 熊本市 大分県 大分市 宮崎県 宮崎市 鹿児島県 鹿児島市 沖縄県 那覇市	福岡市	105,458	102,163	93.6						
	佐賀市							104,905	105,032	91.1
	長崎市							102,645	101,809	92.2
	熊本市							100,667	98,824	91.4
	大分市							88,509	88,848	90.1
	宮崎市							94,363	97,362	89.9
	鹿児島市							85,896	89,273	92.0
	那覇市							107,441	119,450	91.1
標準偏差 最高 最低 平均		13,472	15,346	2.0	8,726	8,648	1.4	7,747	7,736	1.1
		京都市	京都市	特別区	浦和市	浦和市	静岡市	山口市	山口市	山形市
		144,333	140,399	100.0	127,631	127,014	95.5	116,617	117,895	94.2
		札幌市	大阪市	福岡市	仙台市	岡山市	津市	青森市	大分市	宮崎市
	105,394	97,391	93.6	95,989	94,535	90.6	85,855	88,848	89.9	
	123,763	115,889	96.1	107,359	105,979	93.2	98,665	100,195	91.8	

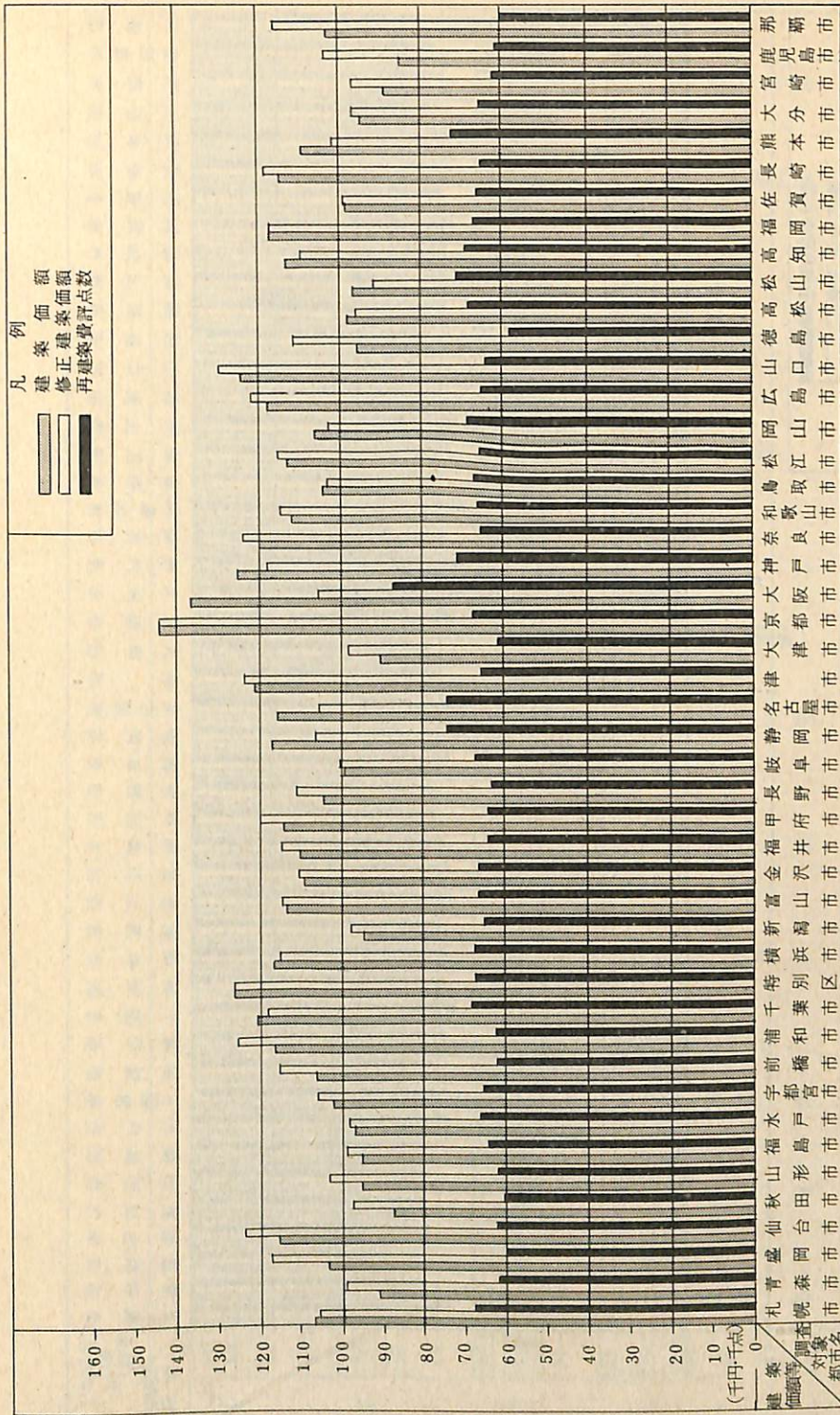
(8) 別表 8 木造家屋に係る部分別(主要部分)評点数の指数の状況  
(3か年度間)(特別区=100)

都道府県	調査対象都市名	屋 根			基 礎			外 壁			
		56年度	57年度	58年度	56年度	57年度	58年度	56年度	57年度	58年度	
北海道	札幌市	62	84	54	369	333	233	91	107	113	
	青森市	65	68	42	198	187	97	113	138	130	
	岩手市	74	58	50	223	205	127	93	119	120	
	宮城県	仙台市	81	96	65	255	244	139	68	79	68
	秋田県	秋田市	75	84	60	239	247	171	99	114	92
	山形県	山形市	76	78	60	245	229	131	93	103	108
福島県	福島市	107	95	112	155	144	129	65	92	96	
茨城県	水戸市	140	147	129	215	200	95	90	88	102	
	栃木市	148	113	103	203	145	98	82	93	86	
	群馬市	前橋市	139	131	130	141	127	84	77	92	79
	埼玉県	浦和市	127	115	63	126	170	90	72	79	87
	千葉県	千葉市	158	161	135	167	155	147	88	95	93
	東京都	特別区	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		横浜市	104	174	89	158	178	89	67	77	98
	新潟県	新潟市	111	140	104	245	220	150	84	85	94
		富山市	133	140	122	202	185	148	89	95	94
		石川市	110	135	107	159	229	123	93	114	87
福井市		147	120	92	143	158	94	60	78	83	
山梨県	甲府市	154	113	131	182	158	115	76	84	64	
	長野市	111	114	99	205	205	134	75	93	82	
	岐阜市	100	138	115	157	195	84	64	94	79	
	静岡県	静岡市	99	131	121	181	167	153	83	105	99
	愛知県	名古屋	114	96	110	196	183	140	64	97	98
	三重県	重津市	141	134	131	137	216	119	78	78	63
		津市	121	109	102	173	165	108	92	94	97
滋賀県	大津市	111	71	90	122	116	95	77	99	98	
	京都市	130	168	183	245	210	125	86	115	99	
	大津市	127	156	83	144	149	119	93	87	102	
	彦根市	95	122	114	166	180	108	83	115	99	
	和歌山市	91	201	115	97	271	129	64	71	80	
鳥取県	鳥取市	124	85	133	209	185	119	79	77	90	
	島根市	163	174	153	230	234	151	82	87	90	
	岡山市	97	168	110	227	261	145	113	83	103	
	広島市	152	170	115	175	229	142	83	85	93	
山口県	山口市	141	191	144	317	286	120	56	61	88	
	徳島市	118	94	81	181	130	84	80	99	89	
	香川県	108	104	124	161	183	113	66	75	99	
愛媛県	松山市	141	65	73	269	160	152	114	144	99	
	高知市	63	150	118	199	224	145	61	79	86	
福岡県	福岡市	138	68	129	197	145	176	101	118	131	
	佐賀市	103	111	101	199	195	132	78	86	83	
	長崎市	90	113	118	140	133	94	57	74	73	
	熊本市	94	126	102	148	176	147	67	92	95	
	大宮市	109	95	75	294	190	112	83	85	84	
	宮崎市	98	197	124	218	286	198	84	73	57	
	鹿児島市	83	91	78	196	158	105	80	72	62	
	鹿儿那市	88	117	101	208	96	94	73	111	72	
標準偏差	最高	26.6	36.7	28.8	53.8	48.1	30.4	14.3	17.1	15.4	
	最 低	松江市	和歌山市	大阪市	札幌市	札幌市	札幌市	松山市	松山市	福岡市	
		163	201	183	369	333	233	114	144	131	
	平均	札幌市	盛岡市	青森市	和歌山市	特別区	前橋市	山口市	山口市	宮崎市	
	62	58	42	97	100	84	56	61	57		
	112	122	104	194	192	126	81	93	92		

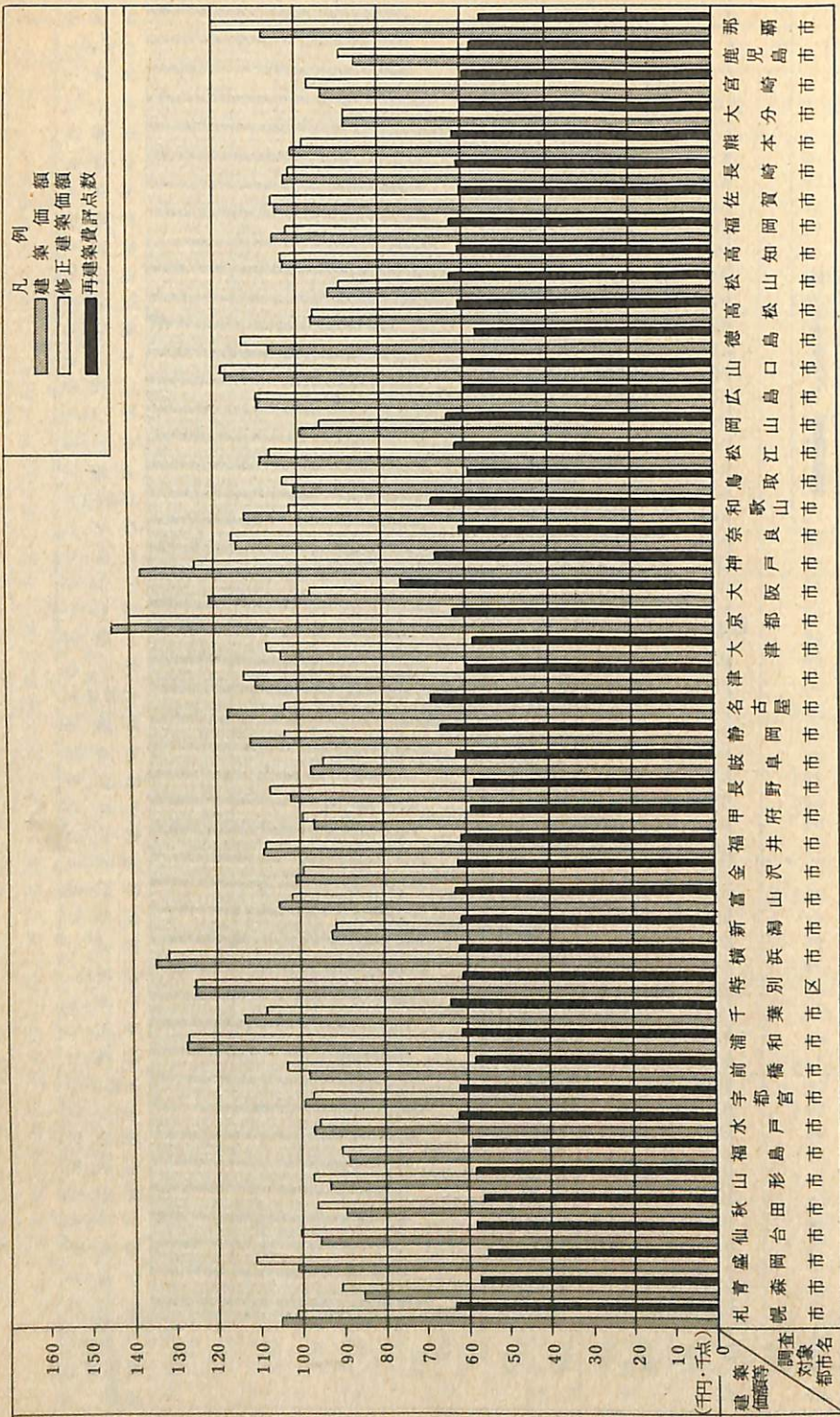
都道府県	調査対象都市名	柱			内 壁			天 井			
		56年度	57年度	58年度	56年度	57年度	58年度	56年度	57年度	58年度	
北海道	札幌市	92	85	86	73	80	62	169	144	108	
	青森市	140	129	133	56	75	71	141	169	124	
	岩手市	71	78	69	56	85	81	198	187	116	
	宮城県	仙台市	85	75	101	73	110	78	164	187	120
	秋田県	秋田市	76	78	81	64	87	71	155	178	123
	山形県	山形市	90	92	87	65	84	67	192	223	170
	福島県	福島市	82	68	74	73	75	73	162	264	160
茨城県	水戸市	100	101	84	58	90	68	144	276	165	
	栃木県	宇都宮市	115	107	82	54	93	76	219	216	132
	群馬県	前橋市	68	79	72	72	90	66	160	149	113
	埼玉県	浦和市	130	111	143	53	83	72	167	178	101
	千葉県	千葉市	132	77	93	64	117	97	128	192	132
	東京都	特別区	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	神奈川県	横浜	88	124	153	48	110	66	269	110	68
新潟県	新潟市	89	83	106	72	88	74	164	254	145	
	富山県	富山市	109	103	74	64	87	75	194	225	152
	石川県	金沢市	107	115	113	63	83	83	191	228	168
	福井県	福井市	96	109	78	71	100	87	199	219	252
山梨県	甲府市	109	110	92	62	98	61	124	178	124	
	長野県	長野市	116	111	97	48	61	66	173	188	140
	岐阜県	岐阜市	189	145	171	51	47	57	145	178	123
	静岡県	静岡市	149	134	148	59	82	67	181	183	134
	愛知県	名古屋	205	134	176	73	130	85	141	175	110
	三重県	津市	135	99	121	66	79	70	122	96	95
	滋賀県	大津市	106	100	100	59	76	67	134	127	96
京都府		京都市	124	162	176	72	103	76	123	170	93
大阪府		大阪市	127	150	186	65	119	64	123	162	149
兵庫県		神戸市	106	114	105	85	112	91	177	193	153
奈良県		奈良市	111	88	114	64	71	71	114	164	116
和歌山県	和歌山市	161	232	142	52	103	59	126	292	127	
鳥取県	鳥取市	114	140	130	55	55	53	144	192	129	
	島根県	松江市	97	77	90	60	75	63	112	156	112
	岡山県	岡山市	102	107	107	77	111	76	195	143	161
	広島県	広島市	81	83	81	66	86	71	181	118	149
徳島県	徳島市	68	67	63	85	87	80	108	129	91	
	香川県	高松市	97	93	77	55	75	64	192	202	122
	愛媛県	高松市	108	120	100	56	90	78	202	187	130
	高知県	高知市	111	100	74	68	104	120	127	274	147
	福岡県	福岡市	113	67	122	55	81	63	153	212	167
	福井県	福井市	107	154	93	75	84	65	131	223	136
		佐賀県	佐賀市	82	87	100	46	75	67	229	199
長崎県		長崎市	108	118	99	60	77	67	212	240	121
熊本県		熊本市	74	71	93	69	90	98	159	206	196
大分県		大分市	81	64	112	53	83	81	194	175	136
宮崎県		宮崎市	106	62	91	66	66	52	165	181	113
鹿児島県		鹿児島市	98	111	94	49	46	74	152	147	130
沖縄県	那覇市	50	64	61	64	60	62	116	143	91	
標準偏差	最高	28.0	31.6	30.5	10.8	17.6	12.8	35.5	44.9	30.6	
	最低	名古屋市 205 前橋市 1市 68	和歌山市 232 宮崎市	大阪市 186 山口市	特別区 100 佐賀市	名古屋 130 鹿児島市	松山市 120 宮崎市	横浜市 269 特別区	和歌山市 292 津市	福井市 252 横浜市	
	平均	108	105	106	64	87	73	162	187	133	

都道府県	調査対象 都市名	床			建 具			建 築 設 備			
		56年度	57年度	58年度	56年度	57年度	58年度	56年度	57年度	58年度	
北海道	札幌市	73	98	75	106	124	103	167	145	207	
	青森市	77	91	81	100	76	71	68	63	79	
	宮城支庁	81	96	79	160	121	87	81	52	105	
	秋田支庁	81	96	82	185	105	121	64	59	102	
	山形支庁	80	99	82	107	83	102	90	87	98	
	山形市	89	110	89	125	94	99	70	64	78	
	福島市	89	110	78	139	107	90	98	130	134	
茨城県	水戸市	83	94	85	153	115	103	85	64	104	
	宇都宮市	83	112	82	132	94	100	84	73	106	
	前橋市	88	87	81	149	91	101	85	93	118	
	浦和市	86	114	96	139	105	91	106	87	110	
	千葉市	86	103	87	125	106	89	85	80	88	
	東京特別区	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
	神奈川横浜市	83	101	80	152	109	138	65	73	101	
新潟県	新潟市	84	96	77	141	107	89	98	79	92	
	富山支庁	76	98	80	132	105	99	108	103	128	
	石川支庁	83	97	81	102	71	85	128	93	104	
	福井市	79	100	80	153	110	99	62	58	68	
山梨県	甲府市	93	114	78	125	84	111	69	67	115	
	長野支庁	80	97	73	124	104	108	64	84	107	
	岐阜支庁	88	101	69	139	117	108	70	68	75	
	静岡支庁	88	107	82	111	118	106	89	91	135	
	愛知名古屋	77	107	75	159	122	119	65	80	75	
	三重津市	77	98	69	106	69	113	85	146	122	
	滋賀県	大津市	89	109	85	139	105	97	69	99	94
京都大坂		83	124	78	125	113	107	107	86	92	
大阪大		86	113	101	163	110	120	116	121	105	
兵庫大		95	115	84	125	114	109	109	100	163	
奈良和歌山		89	114	90	139	127	99	116	98	88	
和歌山		97	108	84	139	105	99	90	66	75	
鳥取県		鳥取市	76	94	75	118	91	103	104	99	112
	島根松江	77	104	74	128	108	95	129	114	126	
	岡山山	92	108	97	104	55	85	85	75	102	
	広島山	81	109	85	117	92	87	121	71	121	
	山口山	71	85	75	133	119	100	123	81	115	
	徳島県	徳島市	79	119	81	125	94	89	98	100	121
		香川高松	84	96	83	139	115	108	94	82	127
愛媛高松		75	111	95	103	60	110	59	93	88	
高知高知		89	113	88	117	100	103	133	100	117	
福岡県	福岡市	81	101	80	115	88	87	91	92	87	
	佐賀市	80	103	86	165	126	118	73	104	97	
	長崎長崎	77	95	75	196	157	143	65	60	66	
	熊本本	97	106	87	139	105	109	114	106	103	
	大分大分	89	96	76	160	123	105	122	112	127	
	宮崎宮崎	78	90	67	125	98	106	94	84	122	
	鹿児島鹿	80	97	80	182	161	109	92	90	88	
	鹿那那	87	116	97	139	132	123	69	67	81	
	標準偏差	最高	6.6	8.6	7.5	22.8	20.3	13.1	23.6	21.2	24.7
最低		100	124	101	196	161	143	167	146	207	
平均		71	85	67	100	55	71	59	52	66	
平均		84	103	82	134	104	103	93	89	106	

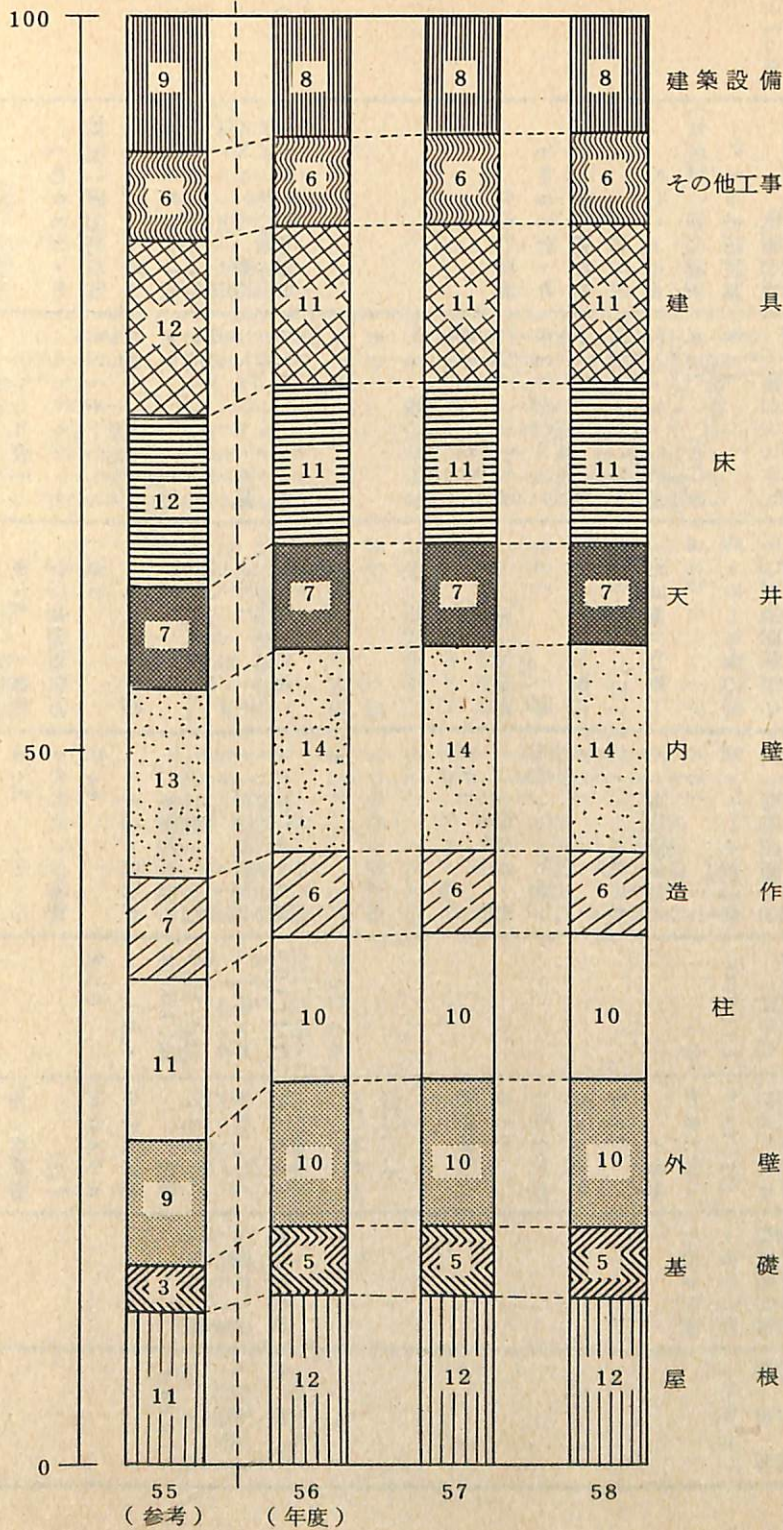
(9) 別図1 木造家屋に係る建築価額等の都市別比較(昭和58年度)



(10) 別図2 木造家屋に係る建築価額等の都市別比較(3か年度平均(昭和56~58年度))



(11) 別図3 木造家屋に係る部分別構成比の年次比較 (3か年度)



(12) 調査対象都市別の部分別仕上げ資材等一覽表

都道府県 (調査対象市)	屋	根	外 壁	柱	内 壁	天 井	床	建 築 設 備	建 築 価 額 10㎡当り
北海道 (札幌市)	着色亜鉛鉄板(平葺・長尺もの)	モルタル仕上げ(モルタル厚3.0cm程度)	えぞ松(10.5cm・中)	合成樹脂壁紙(下地石膏ボード・並下) 70% 合成樹脂壁紙(下地石膏ボード・並) 11% 石膏ボード(普通板・目地棒なし) 19%	合成樹脂壁紙(下地石膏ボード・並下) 63% 一重回り縁目透し(並) 25% 石膏ボード(普通板) 12% 断熱材(加)	プリント合板 45% 畳(中) 25% 軟質クッションフロア(中・下地板張) 15% ラワン合板 12% 角タイル(下地コククリート) 3% 断熱材(加)	集合煙突 瞬間温水ボイラー 電鈴設備(電池式) ユニットバス 流し台 排気扇設備(径20cm・径30cm) 簡易ベチカ	106,740円	
青森県 (青森市)	着色亜鉛鉄板(平葺・長尺もの)	モルタル仕上げ(モルタル厚3.0cm程度) 樹脂入りモルタル吹付(加) 断熱材(加)	ひば(10.5cm・中) 38% 松(10.5cm・上) 62%	角タイル(並) 3% 合成樹脂壁紙(下地合板・並) 13% 合成樹脂壁紙(下地合板・並下) 44% 繊維壁(砂状のもの・中) 34% 石膏ボード(普通板・目地棒なし) 6%	二重回り縁(並下) 13% 一重回り縁(並) 22% 漆喰プラスチック 3% 軟質繊維板(化粧板) 37% 合成樹脂壁紙(中) 19% 石膏ボード(普通板) 6%	電鈴設備(電池式) 浴槽(ステンレス製) 流し台(ステンレス張) 排気扇設備(径20cm・径30cm)	90,900円		



都道府県 (調査対象市)	屋根	外壁	柱	内壁	天井	床	建築設備	建築価額 10㎡当たり
岩手県 (盛岡市) 106.60㎡	着色亜鉛鉄板(平葺)	モルタルリシン仕上げ(中) 断熱材(加)	米椀(10.5cm・中) 大壁造(10.5cm) 6.5%	布貼(下地合板・並下) 8% 合成樹脂壁紙(下地合板・並) 42% 繊維壁(砂状のもの・中) 27% 石膏ボード(普通板・目地棒なし) 18% 合成樹脂板(塩化ビニル) 2% 角タイル(並) 3% 合成樹脂系ペイント(加)	断熱材(加) 一回り縁(卒縁角・並) 20% 合成樹脂壁紙(中) 68% 石膏ボード(普通板) 9% 合成樹脂板(塩化ビニル) 3% 合成樹脂系ペイント(加)	プリント合板 33% じゅうたん(下・下地板張) 5% 断熱材(加) 角タイル(下地コ) 3% タイル(下地コ) 2% タイルカータイル 4% 単板張合板 8% ラワン合板 13% 畳(中) 26% じゅうたん(並・下地板張) 16% じゅうたん(下・下地板張) 12% 軟質クッションフロア(中・下地板張) 16%	断熱材(加) 電鈴設備(電池式)浴槽(径ろろ製)排気扇設備(レンジフードファン)	103,511円
宮城県 (仙台市) 108.54㎡	着色亜鉛鉄板(平葺・長尺もの)	着色亜鉛鉄板成型板(裏板あり・並)	ひば(120cm・中) 10% ひば(10.5	京壁 34% 角タイル(並) 2% ブライスター 2% 合成樹脂壁紙(下	打上天井(桧板・中) 43% 石膏ボード(吸音板) 34%	畳(中) 41% フローリングフロク(なら) 9% フローリング張	電鈴設備(電池式)浴槽(ステンレス製)排気扇設備(径20cm)	115,164円

都道府県 (調査対象市)	屋	根	外 壁	柱	内 壁	天 井	床	建 築 設 備	建築価額 10㎡当り
秋 田 県 (秋田市)	着色亜鉛鉄 板(平葺・ 長尺もの) 断熱材(加)		モルタル色 吹付仕上げ 断熱材(加)	集成材(杉 ・10.5cm・上) 10% 集成材(杉 ・10.5cm・中) 8% 米桐(10.5cm ・下) 15% 大壁造(10.5 cm) 67%	繊維壁(繊維状の もの・特) 32% 合成樹脂壁紙(下 地合板・並下) 55% 角タイル(並)1% モルタル色吹付仕 上げ 1% ラフン合板 11%	竿縁天井(一重回 り縁・中) 35% 竿縁天井(一重回 り縁・並) 10% 合成樹脂壁紙(並) 27% 石膏ボード(吸音 板) 12% 合成樹脂板 2% ラフン合板 14%	畳(上) 46% クリンカータイル 2% 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張) 12% 単板張合板 24% ラフン合板 14% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 2%	ガス湯沸器 電鈴設備(電池式) 浴槽(ポリエステ ル製) 流し台(ステンレ ス張) 排気扇設備(径30 cm)	87,725円
山 形 県 (山形市)	着色亜鉛鉄 板(瓦葺・)		リシン仕上 げ(中)	杉(10.5cm・ 中) 62%	角タイル(並) 5% 合成樹脂壁紙(下 地合板・中) 9% ラフン合板 10% プリント合板 11% 石綿スレート(吸 音板) 32%	ラフン合板 10% 合成樹脂壁紙(中) 9% 合成樹脂板 4%	(なら) 11% ラフン合板 10% 単板張合板 6% 硬質クッションフ ロア(中・下地板 張) 16% 角タイル(下地コ ンクリート) 6% モルタル(下地コ ンクリート) 1%	浄化槽(5人槽)	95,026円

都道府県 (調査対象市)	屋根	外壁	柱	内壁	天井	床	建築設備	建築価額 1.0㎡当たり
12628㎡	長尺もの	断熱材(加)	大壁造(10.5 cm) 38%	地合板・並 30% プリント合板 15% 繊維壁(砂状のも の・中) 40% ラワン合板 10%	一重回り縁(中) 30% 軟質繊維板(化粧 板) 20% ラワン合板 5% 合成樹脂壁紙(中) 30% 石膏ボード(普通 板) 5% 断熱材(加)	軟質クッションフ ロア(中・下地板 張) 20% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 5% クリンカータイル 5% ラワン合板 10%	排気扇設備(径20 cm・径30cm・径 40cm)	
福島県 (福島市) 119.59㎡	日本瓦(中) 84% 着色亜鉛鉄 板(瓦葺・ 長尺もの) 16% 断熱材(加)	モルタルリ シン仕上げ (中) 95% モルタル合 成樹脂系ベ イント仕上 げ(上) 4% 小口二丁掛 タイル1% 断熱材(加)	杉(12.0cm ・中) 10% 杉(10.5cm ・中) 54% 大壁造(10.5 cm) 36%	繊維壁(砂状のも の・上) 54% プリント合板 19% 石綿スレート(化 粧板) 12% ラワン合板 9% 角タイル(上) 3% 合成樹脂被覆合板 3%	目透し天井(二重 回り縁・並下) 15% 目透し天井(一重 回り縁・中) 30% 軟質繊維板(化粧 板) 17% 石膏ボード(吸音 板) 9% ラワン合板 7% バスリア プリント合板1% 石綿スレート(普	畳(中) 43% 単板張合板 20% 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張) 13% ラワン合板 10% フローリング張 (なら) 8% 角タイル(下地コ ンクリート) 4% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 2%	給湯設備 電鈴設備(電池式) 浴槽(ステンレス 製) 流し台 排気扇設備(径30 cm・径15cm) 浄化槽(7人槽)	95,002円

都道府県 (調査対象市)	屋根	外壁	柱	内壁	天井	床	建築設備	建築価額 1.0m <sup>2</sup> 当たり
茨城県 (水戸市) 100.82m <sup>2</sup>	日本瓦(釉薬)	リシン仕上げ(中) 97% 小口二丁掛 タイル3%	杉(120cm・中) 15% 杉(105cm・中) 85%	繊維壁(砂状のもの・中) 31% プリント合板 10% 合成樹脂壁紙(下地合板・並) 21% 硬質繊維板 5% 角タイル(並) 5% 漆喰 10% ラワン合板 18%	通板) 19% 目透し天井(二重回り縁・並) 41% 軟質繊維板(化粧板) 32% 石膏ボード(吸音板) 16% 合板天井(単板張合板) 3% ラワン合板 8%	畳(中) 33% モザイクパーケット(なら) 20% 軟質クッションフロア(中・下地板張) 17% 緑甲板張(中) 17% モザイクタイル(下地コンクリート) 3% 黒砂利洗出(下地コンクリート) 2% モルタル(下地コンクリート) 1% ラワン合板 7%	電鈴設備(電池式)浴槽(ステンレス製) 排気扇設備(径20cm・径30cm) 浄化槽(7.5人槽)	96,670円
栃木県 (宇都宮市) 99.99m <sup>2</sup>	日本瓦(上)	モルタル色吹付仕上げ 96% 小口二丁掛 タイル4%	桧(105cm・上) 13% 桧(105cm・中) 5%	京壁 9% 角タイル(並) 7% 合成樹脂壁紙(下地合板・中) 13%	二重回り縁(並) 20% 一重回り縁(並) 1% ラワン合板 6%	畳(中) 21% 緑甲板張(並) 9% 軟質クッションフロア(中・下地板張) 20% 排気扇設備(径20cm・径30cm)	電鈴設備(電池式)浴槽(ステンレス製) 排気扇設備(径20cm・径30cm)	102,850円

都道府県 (調査対象市)	屋根	外壁	柱	内壁	天井	床	建築設備	建築価額 1.0m <sup>2</sup> 当たり
群馬県 (前橋市)	日本瓦(中)	断熱材(加)	桧(10.5cm ・並) 3% 杉(10.5cm ・並) 5% 大壁造(10.5 cm) 74%	合成樹脂壁紙(下 地合板・並) 57% ラワン合板 14%	軟質繊維板(化粧 板) 17% 石膏ボード(吸音 板) 16% 合成樹脂壁紙(中) 17% 合成樹脂壁紙(並) 20% バスリブ 3%	モザイクタイル (下地板張) 2% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 3% クリンカータイル 3% ラワン合板 6% 単板張合板 3% じゅうたん(並・ 下地板張) 33%	電鈴設備(電池式) 浴槽(ステンレス 製) 排気扇設備 浄化槽(5人槽)	106,060円
群馬県 (前橋市)	モルタル仕 上げ(モル タル厚1.8 cm程度) 樹脂入りモ ルタル吹付 (加)	京壁 37% 合成樹脂壁紙(下 地合板・並) 30% プリント合板 21% 石膏ボード(化粧 板・目地棒あり) 4% 角タイル(並) 2% ラワン合板 6%	桧(12.0cm ・中) 23% 杉(10.5cm ・中) 14% 大壁造(10.5 cm) 63%	二重回り縁(卒縁 猿頬・並下) 23% 一重回り縁(卒縁 角・並) 14% 合成樹脂壁紙(中) 11% 軟質繊維板(化粧 板) 29% 合板天井(プリン ト合板・中) 4% 石膏ボード(普通	畳(中) 31% リノタイル(下地 板張) 23% 緑甲板張(中) 11% 角タイル(下地コ ンクリート) 2% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 4% ラワン合板 6% 単板張合板 11%			

都道府県 (調査対象市)	屋根	外壁	柱	内壁	天井	床	建築設備	建築価額 1.0㎡当り
埼玉県 (浦和市) 10287㎡	スレート葺 (着色板) 断熱材(加)	モルタル仕 上げ(モル タル厚1.8 cm程度) 樹脂入りモ ルタル吹付 (加)	桧(10.5cm ・上) 30% 杉(10.5cm ・上) 40% 米桐(10.5cm ・上) 30%	砂壁 10% 角タイル(並)5% 合成樹脂壁紙(下 地合板・中) 60% ラフン合板25%	板) 岩綿繊維板 2% ラフン合板 6% 一重回り縁(竿縁 猿頬・中)20% ラフン合板10% 軟質繊維板(化粧 板)25% 硬質繊維板15% 石膏ボード(吸音 板)15% 合成樹脂壁紙(中) 15%	プリント合板 12% 畳(中)20% 角タイル(下地コ タリート)5% 杉板張(並)10% 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張)15% じゅうたん(中・ 下地板張)30% フローリング張 (桜)20%	浴槽(ステンレス 製) 排気扇設備(径20 cm) 浄化槽(6人槽)	116,652円
千葉県 (千葉市) 9186㎡	日本瓦(釉 薬)	モルタル仕 上げ(モル タル厚1.8 cm程度) 樹脂入りモ ルタル吹付 (加) 断熱材(加)	杉(10.5cm ・中) 58% 大壁造(10.5 cm)42%	合成樹脂壁紙(下 地合板・中) 40% プリント合板 31% 砂壁 25% 角タイル(並)2% モルタル(リジン 仕上げ)2%	岩綿繊維板36% 打上天井(桧板・ 中)25% 合成樹脂壁紙(中) 21% 軟質繊維板(化粧 板)15% モルタル(リジン 仕上げ)3% 断熱材(加)	軟質クッションフ ロア(中・下地板 張)35% 畳(中)25% フローリング張 (なら)25% じゅうたん(並・ 下地板張)10% モザイクタイル(下地 コンクリート)3%	電鈴設備(電池式) 浴槽(ステンレス 製) 流し台(ステンレ ス張) 排気扇設備(径30 cm)	120,735円

都道府県 (調査対象) 市	屋	根	外 壁	柱	内 壁	天 井	床	建 築 設 備	建 築 価 額 1.0m <sup>2</sup> 当たり
東 京 都 (特別区)	日本瓦(釉 薬)		モルタル (リシン仕 上げ・中)	桧(10.5cm ・上) 24% 米桐(10.5 cm・上) 14% 大壁造(10.5 cm) 62%	繊維壁(下地合板 ・綿状のもの・上) 15% 繊維壁(下地合板 ・砂状のもの・中) 10% 合成樹脂壁紙(下 地合板・中) 50% 角タイル(並) 10% プリント合板 10% ラワン合板 5%	合板天井(単板張 合板) 20% 岩綿繊維板 24% 合成樹脂壁紙(中) 34% 合板天井(ブリン ト合板・中) 7% 石膏ボード(吸音 板) 7% モルタル(リシン 仕上げ) 3% 合板天井(ラワン 合板) 5%	クリンカータイル 2% 断熱材(加)	電鈴設備(電池式) 浴槽(ステンレス 製) 流し台(ステンレ ス張・陶器製) 排気扇設備(径30 cm)	126,066円
神 奈 川 県 (横浜市)	日本瓦(釉 薬)		モルタル仕 上げ(モル	集成材(桧 ・10.5cm・	繊維壁(砂状のも の・中) 42% の	合板天井(ブリン ト合板・中) 42% ト合板	畳(上) 42% 畳(中) 27% 軟質クッションフ ロア(中・下地合 板) 10% モザイクパーケッ ト(なら) 30% じゅうたん(中・ 下地板張) 22% ラワン合板 4% 軟質クッションフ ロア(中・下地コ ンクリート) 2% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 3% クリンカータイル 2%	電鈴設備(電池式) 浴槽(ステンレス製)	116,205円

都道府県 (調査対象市)	屋	根	外 壁	柱	内 壁	天 井	床	建 築 設 備	建 築 価 額 1.0㎡当たり
94.66㎡			タル厚1.8 cm程度) 砂壁状セメ ント系吹付 (加)	中) 56% 大壁造(10.5 cm) 44%	プリント合板 30% 合成樹脂壁紙(下 地合板・並) 14% ラワン合板 9% 角タイル(上) 5%	石膏ボード(吸音 板) 40% 合板天井(ラワン 合板) 9% 合成樹脂壁紙(中) 6% 石綿スレート(フ レキシブル板) 3% 合成樹脂ペイント (加)	軟質クッションフ ロア(中・下地板 張) 16% ラワン合板 9% モザイクタイル (下地コングリー ト) 3% クリンカータイル 3%	流し台(ステンレ ス張・陶器製) 排気扇設備(径30 cm)	
新 潟 県 (新潟市)	日本瓦(中)		モルタル (色吹付仕 上げ) 10% 木片セメン ト板 90% 断熱材(加)	杉(120cm ・上) 30% 杉(120cm ・中) 5% 杉(120cm ・並) 70%	角タイル(並) 4% 石膏ボード(化粧 板・目地棒なし) 5% ラワン合板 11% 石綿スレート(化 粧板) 10% 繊維壁(繊維状の もの・中) 70%	二重回り縁(中) 9% 一重回り縁(中) 21% 一重回り縁(並) 27% 合板天井(ラワン 合板) 11% 合板天井(プリン ト合板・中) 5% 軟質繊維板(化粧 板) 12%	畳(中) 49% フローリング張 (桜) 12% モザイクパーケッ ト(なら・ぶな) 3% ラワン合板 11% 単板張合板 5% プリント合板 5% 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張) 10%	電鈴設備(電池式) 浴槽(ステンレス 製) 排気扇設備(径20 cm) 浄化槽(5人槽)	94,753円
117.05㎡									



都道府県 (調査対象市)	屋	根	外壁	柱	内壁	天井	床	建築設備	建築価額 1.0㎡当たり
富山県 (富山市)	日本瓦(中)		モルタル (リシン仕 上げ・中) 断熱材(加)	杉(12.0cm ・上) 12% 杉(10.5cm ・上) 29% 大壁造(12.0 cm) 6% 大壁造(10.5 cm) 53%	繊維壁(砂状のも の・上) 41% 繊維壁(下地合板 ・繊維状のもの・ 並) 14% 角タイル(並) 2% 布貼(下地合板・ 並) 12% 合成樹脂壁紙(下 地合板・並) 10% 合成樹脂壁紙(下 地合板・並下) 15% プリント合板 6%	目透し天井(二重 回り縁・中) 24% 目透し天井(一重 回り縁・中) 17% 布貼(中) 12% 合成樹脂壁紙(並) 15% モルタル(リシン 仕上げ) 2% 軟質繊維板(化粧 板) 16% 石膏ボード(吸音 板) 14%	モザイクタイル (下地コンクリー ト) 3% クリンカータイル 2%	電鈴設備(電池式) 浴槽(ステンレス 製) 流し台(ステンレ ス張) 洗面台(陶器製) 排気扇設備(径30 cm) 浄化槽(7人槽)	113,400円
石川県 (金沢市)	日本瓦(中)		モルタル(リ シン仕上げ ・中) 50%	集成材(松 10.5cm・上) 30%	合成樹脂壁紙(下 地合板・中) 50%	目透し天井(二重 回り縁・並) 23%	畳(中) 40% じゅうたん(下地 板張・並) 12% じゅうたん(下地 板張・下) 10% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 4%	電鈴設備(トラン ス式)	109,000円

都道府県 (調査対象) 市	屋	根	外 壁	柱	内 壁	天 井	床	建 築 設 備	建 築 価 額 1.0m <sup>2</sup> 当たり
115.91m <sup>2</sup>			着色亜鉛鉄板(波板) 50% 断熱材(加)	桧(10.5cm・中) 20% 大壁造(10.5cm) 50%	繊維壁(下地合板・砂状のもの・中) 30% ラワン合板 15% 角タイル(並) 5%	目透し天井(一重回り縁・中) 20% 合成樹脂壁紙(中) 46% 合板天井(ラワン合板) 9% 塩化ビニル(リップ状) 2%	軟質クッションフロア(下地板張・中) 11% モザイクパケックト(ぶな) 32% ラワン合板 12% モザイクタイル(下地コンクリート) 2% クリンカータイル 3%	浴槽(ステンレス製) 流し台(ステンレス張・陶器製) 排気扇設備(径30cm)	
福 井 県 (福井市)			モルタル(リシン仕上げ・上) 60% 着色亜鉛鉄板成型板(裏板あり・上) 35% 小口二丁掛タイル 5%	米栴(12.0cm・中)	京壁 48% 石膏ボード(化粧板・目地棒なし) 11% 合成樹脂壁紙(下地合板・中) 20% 合成樹脂壁紙(下地合板・並) 9% ラワン合板 6% プリント合板 4% 角タイル(並) 2%	二重回り縁(中) 48% 軟質繊維板(化粧板) 14% 石膏ボード(吸音板) 11% 岩綿繊維板 9% 合成樹脂壁紙(中) 10% 合板天井(ラワン合板) 6% 塩化ビニル(リップ状) 2%	畳(中) 42% モザイクパケックト(桜) 17% 軟質クッションフロア(中・下地板張) 12% モルタル(下地コンクリート) 11% フローリング張(なら) 8% ラワン合板 6% モザイクタイル(下地コンクリート) 2%	浴槽(ステンレス製)	110,000円

都道府県 (調査対象) 市	屋	根	外	壁	柱	内	壁	天	井	床	建築設備	建築価額 1.0m <sup>2</sup> 当たり
山梨県 (甲府市) 139.50m <sup>2</sup>	日本瓦(中)		モルタル (リシン仕 上げ・中) 断熱材(加)	じゅうらく壁 35% ビニルクロス(中) 42% 角タイル(上) 2%	桧(120cm ・中) 15% 桧(105cm ・中) 20% 米栴(105 cm・中) 65%	石膏ボード(化粧 板・目地棒なし) 10% 単板張合板 5% ラワン合板 6%	打上天井(桧板・ 中) 39% バスリブ 2% 合板天井(ブリン ト合板・中) 4% 軟質繊維板(化粧 板) 30% ビニルクロス(中) 19% 合板天井(ラワン 合板) 6%	量(中) 31% 単板張合板 18% ラワン合板 6% 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張) 14% じゅうたん(中・ 下地板張) 5% じゅうたん(下地 板張・並) 15% フローリング張 (ぶな) 7% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 2% クリンカータイル 2%	電鈴設備(電池式) 浴槽(ステンレス 製) 流し台(ステンレ ス張) 排気扇設備(径30 cm) 浄化槽(7.5人槽)	114,000円		
長野県 (長野市) 104.12m <sup>2</sup>	日本瓦(釉 薬) 35% 着色重鉛鉄 板(瓦棒・長 尺もの) 65%		モルタル (リシン仕 上げ・中) 断熱材(加)	繊維壁(下地合板 ・砂状のもの・上) 31% プリント合板 20%	杉(120cm ・上) 30%	目透し天井(二重 回り縁・並) 22% 目透し天井(一重 回り縁・並) 24%	量(中) 39% 単板張合板 17% 軟質クッションフ ロア(下地板張・ 中) 14%	浴槽(ステンレス 製) 排気扇設備(径25 cm)	104,080円			

都道府県 (調査対象)市	屋根	外壁	柱	内壁	天井	床	建築設備	建築価額 1.0㎡当たり
岐阜県 (岐阜市)	断熱材(加)	モルタル (リシン仕 上げ・中)	米樺(10.5 cm・上) 30%	合成樹脂壁紙(下 地合板・中) 15%	合成樹脂壁紙(中) 14%	じゅうたん(並・ 下地板張)10%		
		モルタル (リシン仕 上げ・下)	大壁造(10.5 cm)40%	石膏ボード(化粧 板・目地棒あり) 7%	軟質繊維板(化粧 板)14%	クリンカータイル 3%		
		モルタル (人造石洗 出)5%	桧(12.0cm ・上)	角タイル(並)5%	半硬質繊維板(吸 音板)10%	モザイクタイル (下地コンクリー ト)3%		
		着色亜鉛鉄 板成型板 (裏板あり ・並)36%	桧(12.0cm ・中)	ラワン合板22%	バスリブ 3%	ラワン合板14%		
岐阜県 (岐阜市)	日本瓦(釉 薬)	モルタル (リシン仕 上げ・中)	桧(13.5cm ・中)	角タイル(並)5%	打上天井(桧板・ 中)40%	畳(中)39%	電鈴設備(電池式)	99,100円
11399㎡		モルタル (リシン仕 上げ・下)	桧(12.0cm ・上)	合成樹脂壁紙(下 地合板・中) 10%	軟質繊維板(化粧 板)12%	フローリング張 (ラワン)35%	浴槽(ステンレス 製)	
		モルタル (人造石洗 出)5%	桧(12.0cm ・中)	繊維壁(下地合板 ・繊維状のもの 中)35%	合板天井(ラワン 合板)8%	ラワン合板8%	排気扇設備(径20 cm)	
		モルタル (人造石洗 出)5%	桧(10.5cm ・中)	繊維壁(下地合板 ・砂状のもの・中) 20%	石膏ボード(普通 板)10%	軟質クッションフ ロア(中・下地板 張)12%		
		着色亜鉛鉄 板成型板 (裏板あり ・並)36%	桧(10.5cm ・中)	ラワン合板10%	石膏ボード(吸音 板)5%	モザイクタイル (下地コンクリー ト)3%		
			杉(10.5cm ・中)	プリント合板 20%	モルタル(リシン 仕上げ)2%	クリンカータイル 3%		
			杉(10.5cm ・中)	合成樹脂壁紙(上) 7%	合成樹脂壁紙(中) 7%			

都道府県 (調査対象市)	屋	根	外	壁	柱	内	壁	天	井	床	建築設備	建築価額 1.0m <sup>2</sup> 当たり
静岡県 (静岡市) 109.30m <sup>2</sup>	日本瓦(釉 薬) 85% 陸屋根 銅板(瓦葺) 4%	モルタル (リシン仕 上げ・中) 10% 断熱材(加)	繊維壁(下地合板 ・繊維状のもの・ 上) 51% 合成樹脂壁紙(下 地合板・並) 20% ラワン合板 15% プリント合板 10% 角タイル(並) 4%	合成樹脂壁紙(並) 7% 目透し天井(中) 41% 目透し天井(並) 11% 合成樹脂壁紙(中) 26% 布貼(中) 10% 合板天井(ラワン 合板) 10% モルタル(リシン 仕上げ) 2%	畳(中) 38% 軟質クッション フロア(中・下地板 張) 18% 緑甲板張(中) 14% フローリング張 (桜) 10% クリンカータイル 3% 角タイル(下地コ ンクリート) 2% ラワン合板 15%	電話設備(通話式) 浴槽(ステンレス 製) 排気扇設備(径25 cm) 浄化槽(7人槽)	116,714円					
愛知県 (名古屋市) 125.86m <sup>2</sup>	日本瓦(釉 薬)	モルタル (リシン仕 上げ・中) 28% 着色亜鉛鉄 板成型板 (裏板なし ・並) 72%	繊維壁(綿状のも の・中) 14% 繊維壁(砂状のも の・中) 22% 角タイル(並) 7% モルタル(リシン 仕上げ) 2%	竿縁天井(一重回 り縁・中) 12% 敷目天井(下) 35% 合板天井(ラワン 合板) 7% 石膏ボード(吸音 板) 33%	畳(中) 32% フローリング張 (ぶな) 16% 軟質クッション フロア(中・下地板 張) 8% モザイクタイル(下地 コンクリート) 5%	インターホン 浴槽(ステンレス 製) 排気扇設備(径30 cm)	115,684円					

都道府県 (調査対象市)	屋根	外壁	柱	内壁	天井	床	建築設備	建築価額 1.0㎡当り
三重県 (津市)	日本瓦(中)	着色亜鉛鉄 板成型板 (並・裏板 なし) 98% 小口二丁掛 タイル2%	桧(12.0cm ・上) 20% 桧(12.0cm ・中) 20% 大壁造(12.0 cm) 60%	合成樹脂壁紙(中 ・下地合板) 5% 石膏ボード(化粧 板・目地帯あり) 8% ラワン合板 17% プリント合板 25%	合成樹脂壁紙(中) 8% よしず天井 3% バスリブ 2%	クリンカータイル 3% ラワン合板 7% 単板張合板 29%	電鈴設備(電池式) 浴槽(ステンレス 製) 流し台(ステンレ ス張) 排気扇設備(径30 cm) 浄化槽(7.5人槽)	121,000円
三重県 (津市)					竿縁天井(一重回 り縁・並) 35% 軟質繊維板(化粧 板) 20% 石膏ボード(吸音 板) 19% 布貼(並) 13% 岩綿繊維板 2% 合板天井(プリン ト合板・中) 2% 合板天井(ラワン 合板) 9%	畳 33% プリント合板 21% 合成樹脂塗壁床 (塩化ビニル系) 15% 縁甲板張(並) 13% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 4% 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張) 2% クリンカータイル 3%		

都道府県 (調査対象市)	屋根	外壁	柱	内壁	天井	床	建築設備	建築価額 1.0㎡当たり
滋賀県 (大津市) 103,06㎡	日本瓦(上)	モルタル (リシン仕 上げ・中)	桧(12.0cm ・中) 21% 桧(10.5cm ・並) 53% 榎(10.5cm ・中) 26%	漆喰壁 3% 角タイル(並)7% モルタル(リシン 仕上げ) 2% 合成樹脂壁紙(下 地合板・並)7% ラワン合板10% プリント合板 29% 繊維壁(下地合板 ・砂状のもの・中) 42%	打上天井(桧板・ 下) 56% 合板天井(ラワン 合板) 5% 軟質繊維板(化粧 板) 37% モルタル(リシン 仕上げ) 2%	ラワン合板 9% 畳(中) 39% モザイクパーケッ ト 49% フローリング張 (ラワン・アビト ン) 2% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 3% クリンカータイル 2% 土間コンクリート 打 5%	浴槽(ステンレス 製) 排気扇設備(25 cm) シャワーデリア	90,239円
京都府 (京都市) 96,82㎡	日本瓦(釉 薬)	モルタル (色吹付仕 上げ)	桧(12.0cm ・上) 20% 桧(10.5cm ・上) 10% 集成材(桧 10.5cm・中) 20%	繊維壁(砂状のも の・中) 20% 単板張合板 25% プリント合板 20% ラワン合板 15% 合成樹脂壁紙(下 地合板・並) 15%	竿縁天井(一重回 り縁・並) 25% 布貼(並) 10% 岩綿繊維板 30% 石膏ボード(吸音 板) 25% 合板天井(ラワン 合板) 10%	畳(中) 25% 単板張合板 55% 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張) 5% ラワン合板 10% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 5%	浴槽(ほろろ製) 流し台(ステンレ ス張) 洗面台(陶器製) 排気扇設備(径30 cm)	144,000円

都道府県 (調査対象市)	屋根	外壁	柱	内壁	天井	床	建築設備	建築価額 1.0㎡当たり
大阪府 (大阪市)	日本瓦(特)	モルタル (リシン仕 上げ・中)	桧(10.5cm ・並) 50%	角タイル(並)5% 繊維壁(下地合板 ・砂状のもの・上) 43% 角タイル(上) 10% 石膏ボード(吸音 板・目地棒あり) 9% ラフン合板10% プリント合板 28%	打上天井(桧板・ 中)41% 石膏ボード(吸音 板)12% 合板天井(ラフン 合板)6% 合成樹脂壁紙(上) 20% モルタル(リジン 仕上げ)4% 合板天井(単板張 合板)17%	畳(上)34% モザイクパーケッ ト(ぶな)44% ラフン合板6% クリンカータイル 3% 緑甲板張(中) 10% モザイクタイル (下地コンクリー ト)2% モザイクタイル (下地板張)1%	浴槽(ステンレス 製) 流し台(ステンレ ス張) 洗面台(陶器製) 排気扇設備(径30 cm)	136,147円
兵庫県 (神戸市)	モニエル瓦	モルタル仕 上げ(モル タル厚1.8 cm程度) 樹脂入モル タル吹付 (加)	集成材(桧 ・10.5cm ・上)12% 大壁造(10.5 cm)88%	角タイル(並)7% 繊維壁(下地合板 ・砂状のもの・中) 12% ラフン合板22% 合成樹脂壁紙(下 地板・中)59%	打上天井(杉貼り 底目)20% 合板天井(ラフン 合板)10% 合成樹脂壁紙(中) 60% プリント合板10%	畳(中)19% ラフン合板12% 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張)14% 単板張合板48% 緑甲板張(上)2%	電鈴設備(トラン ス式) 給湯設備 流し台(ステンレ ス張) 洗面所ユニット	125,000円



都道府県 (調査対象) 市	屋根	外壁	柱	内壁	天井	床	建築設備	建築価額 1.0㎡当たり
奈良県 (奈良市)	日本瓦(上)	モルタル (リシン仕 上げ・中)	桧(12.0 cm ・並) 15 % 桧(12.0 cm ・上) 10 % 桧(10.5 cm ・中) 20 % 桧(10.5 cm ・並) 15 % 大壁造(10.5 cm) 40 %	角タイル(並) 7 % モルタル(リシン 仕上げ) 1 % プリント合板 3 % ラワン合板 7 % 繊維壁(下地合板 ・砂状のもの・上) 52 % 布貼(下地合板・ 並) 14 % 合成樹脂壁紙(下 地合板・並) 16 %	二重回り縁(並・ 下) 14 % 一重回り縁(並) 38 % 合板天井(ラワン 合板) 7 % 軟質繊維板(化粧 板) 29 % 合成樹脂壁紙(中) 9 % モルタル(リシン 仕上げ) 3 %	モザイクタイル (下地コンクリー ト) 2 % レンガタイル(下 地コンクリート) 3 % 畳(上) 40 % モザイクパーケッ ト(なら・ぶな) 10 % クリンカータイル 2 % フローリング張 (さくら) 12 % 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張) 10 % モザイクタイル (下地コンクリー ト) 4 % ラワン合板 7 % じゅうたん(並・ 下地板張) 15 %	排気扇設備(径25 cm) 浴槽(ほろろ製)	120,000円

都道府県 (調査対象市)	屋根	外壁	柱	内壁	天井	床	建築設備	建築価額 1.0㎡当たり
和歌山県 (和歌山市) 10186㎡	日本瓦(中)	モルタル (リシン仕 上げ・中)	桧(12.0cm ・中) 10% 桧(10.5cm ・中) 60% 桧(10.5cm ・並) 30%	繊維壁(砂状のも の・上) 15% 繊維壁(砂状のも の・中) 25% 合成樹脂壁紙(下 地合板・中) 30% ラワン合板 10% プリント合板 15% プラスチック 5%	打上天井(桧板・ 中) 50% 軟質繊維板(化粧 板) 15% 石膏ボード(吸音 板) 15% 合成樹脂壁紙(中) 10% 合板天井(ラワン 合板) 10%	畳(中) 50% フローリングプロ ック(なら)35% ラワン合板 10% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 5%	電鈴設備(トラン ス式) 浴槽(ほうろろ製) 排気扇設備(径30 cm)	112,000円
鳥取県 (鳥取市) 11696㎡	日本瓦(中)	モルタル (リシン仕 上げ・中) 小口二丁掛 タイル3% 断熱材(加)	桧(13.5cm ・中) 15% 桧(10.5cm ・上) 10% 桧(10.5cm ・中) 35% 桧(10.5cm ・並) 20%	繊維壁(砂状のも の・中) 20% 繊維壁(綿状のも の・並) 60% 石膏ボード(化粧 板・目地棒あり) 10% ラワン合板 10%	一重回り縁(竿縁 猿頬・中) 30% 一重回り縁(竿縁 角物・並) 50% 石膏ボード(吸音 板) 10% 合板天井(ラワン 合板) 10%	畳(中) 48% 単板張合板 31% 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張) 4% ラワン合板 10% クリンカータイル (下地コンクリー ト) 4% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 3%	電鈴設備(トラン ス式) 浴槽(ステンレス 製) 流し台(ステンレ ス張) 排気扇設備(レン ジフードファン) 浄化槽(7.5人槽)	104,309円

都道府県 (調査対象) 市	屋根	外壁	柱	内壁	天井	床	建築設備	建築価額 1.0㎡当たり
島根県 (松江市) 115,35㎡	日本瓦(釉薬)	モルタル (リシン仕 上げ・中) 断熱材(加)	杉(10.5cm ・並) 10% 大壁造(10.5 cm) 10%	繊維壁(下地合板 ・砂状のもの・上) 33% ラフン合板 12% プリント合板 20% 石膏ボード(化粧 板・目地棒あり) 9% 合成樹脂壁紙(下 地合板・並) 18% 角タイル(上) 8%	二重回り縁(竿縁 猿頬・並下) 20% 一重回り縁(竿縁 角物・並) 20% 合板天井(ラフン 合板) 6% 石膏ボード(吸音 板) 12% 軟質繊維板(化粧 板) 29% 合成樹脂壁紙(並) 10% 合成樹脂板 3%	畳(中) 30% フローリング張 (さくら) 3% ラフン合板 6% 単板張合板 37% 軟質クッションフ ロア(下地板張) 16% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 4% クリンカータイル 3% モルタル(下地コ ンクリート) 1%	電鈴設備(電池式) 浴槽(ステンレス 製) 流し台(ステンレ ス張) 洗面台(陶器製) 排気扇設備(径25 cm) 浄化槽(7.5人槽)	112,700円
岡山県 (岡山市)	日本瓦(釉薬)	モルタル (リシン仕 上げ・上)	桧(12.0cm ・中) 10%	角タイル(上) 7% 合成樹脂壁紙(下 地合板・並下) 2% 一重回り縁(中) 3%	一重回り縁(上) 23% 一重回り縁(中) 3%	畳(上) 19% 畳(中) 9% 縁甲板張(中) 10%	浴槽(ステンレス 製)	106,060円

都道府県 (調査対象) 市	屋	根	外	壁	柱	内	壁	天	井	床	建	築	設	備	建	築	価	額
113.03㎡					米杓(10.5 cm・中) 7.5% 集成材(松 ・10.5cm・ 中) 15%	硬質繊維板 3% ラワン合板 5% プリント合板 57% 繊維壁(下地合板 ・繊維状のもの 上) 26%	合板天井(ラワン 合板) 5% 軟質繊維板(化粧 板) 15% 石膏ボード(吸音 板) 6% 合成樹脂壁紙(中) 12% 合成樹脂壁紙(並) 4% 布貼(上) 15% 布貼(中) 15% モルタル(リジン 仕上げ) 2%	フロアリングプロ ック(さくら) 15% フロアリングプロ ック(なら) 15% フロアリング張 (さくら) 12% 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張) 9% モザイクタイル (下地板張) 3% クリンカータイル 3% ラワン合板 5%										
広島県 (広島市)	洋風瓦(中)		モルタル (リジン仕 上げ)	合成樹脂壁紙(下 地合板・中) 12% 角タイル(上) 7% ラワン合板 20% 単板張合板 8% プリント合板 19%	米杓(10.5 cm・中)	合成樹脂壁紙(下 地合板・中) 12% 角タイル(上) 7% ラワン合板 20% 単板張合板 8% プリント合板 19%	竿縁天井(一重回 り縁・並) 8% 竿縁天井(二重回 り縁・並) 20% 合板天井(ラワン 合板) 9% 塩化ビニール(パ スリア) 2%	畳(中) 27% 縁甲板張(中) 9% モザイクパーケッ ト(さくら) 32% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 4%	電鈴設備(電池式) 浴槽(ステンレス 製) 流し台(ステンレ ス張) 洗面台ユニット 排気扇設備(径20 cm)							117,410円		
119.24㎡																		

都道府県 (調査対象市)	屋根	外壁	柱	内壁	天井	床	建築設備	建築価額 1.0㎡当たり
山口県 (山口市)	日本瓦(釉薬)	モルタル (リシン仕 上げ)	米杵(100 cm・中)	繊維壁(下地合板 ・繊維状のもの 中) 34%	合成樹脂壁紙(中) 61%	ラワン合板 12% 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張) 16%	浄化槽(5.5人槽)	124,000円
9185㎡				繊維壁(砂状のも の・中) 37% プリント合板 42% ラワン合板 11% 角タイル(並) 10%	一回り縁(竿縁 角物・並下) 40% 軟質繊維板(化粧 板) 51% 合成樹脂板 5% 合板天井(ラワン 合板) 4%	畳(中) 33% 単板張合板 56% ラワン合板 5% 角タイル(下地コ ンクリート) 2% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 4%	電鈴設備(電池式) 浴槽(ステンレス 製) 排気扇設備(径20 cm) 浄化槽(5人槽)	
徳島県 (徳島市)	スレート葺 (厚型スレ ート(色付)) 90% 着色亜鉛鉄 板(瓦葺・ 長尺もの) 10%	サイディング ボード	米杵(10.5 cm・上) 35% 米杵(10.5 cm・中) 65%	ラワン合板 20% 繊維壁(砂状のも の・中) 19% 単板張合板 18% 合成樹脂壁紙(下 地合板・並) 11% 合成樹脂壁紙(下 地合板・並下) 11%	軟質繊維板(化粧 板) 18% 合成樹脂壁紙(中) 15% 布貼(上) 14% 一回り縁(竿縁 角物・並) 13% 石膏ボード(吸音 板) 13% 一回り縁(竿縁 猿頬・中) 11%	畳(中) 24% 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張) 16% 単板張合板 16% じゅうたん(下・ 下地板張) 14% ラワン合板 10% 緑甲板張(中) 10%	電鈴設備(電池式) 浴槽(ステンレス 製) 排気扇設備(径30 cm) 浄化槽(5人槽)	95,538円
11095㎡								

都道府県 (調査対象市)	屋根	外壁	柱	内壁	天井	床	建築設備	建築価額 1.0㎡当たり
香川県 (高松市)	日本瓦(釉薬)	アクリルリ ン吹付 97% 小口二丁掛 タイル3%	桧(10.5cm ・中) 15% 米桐(10.5 cm・中) 57% 大壁造(10.5 cm) 28%	石膏ボード(化粧 板・目地棒なし) 11% 角タイル(並) 8% プリント合板 2%	合板天井(ラワン 合板) 7% 合成樹脂壁紙(並) 3% 塩化ビニル(リブ 状) 3% 仕上げなし 3%	モザイクタイル (下地コンクリー ト) 5% 角タイル(下地コ ンクリート) 3% 仕上げなし 2%	電鈴設備(電池式) 浴槽(ステンレス 製) 流し台(ステンレ ス張) レンジフード 浄化槽(5人槽)	98,000円
				聚楽壁 55% 石膏ボード(化粧 板) 7% 角タイル(並) 7% 合成樹脂壁紙(並) 2% プリント合板 20% ラワン合板 9%	竿縁天井(二重回 り縁・プリント合 板) 20% 目透し天井(二重 回り縁・単板張合 板) 18% 目透し天井(一重 回り縁・プリント 合板) 18% 岩綿繊維板 13% 合成樹脂板(塩化 ビニル・リップ状) 3% 軟質繊維板(化粧 板) 20% 合板天井(ラワン 合板) 8%	クリンカータイル 3% 縁甲板張(中) 15% 畳(中) 38% 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張) 10% 軟質クッションフ ロア(中・下地コ ンクリート) 3% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 4% 単板張合板 18% ラワン合板 9%		

都道府県 (調査対象) 市	屋	根	外	壁	柱	内	壁	天	井	床	建築設備	建築価額 1.0㎡当たり
愛媛県 (松山市) 94.19㎡	スレート瓦 (和型)	モルタル (リシン仕 上げ・中) 91% エポキシ樹 脂 9% 断熱材(加)	繊維壁(砂状のも の・中) 24% 合成樹脂壁紙(上) 45% プリント合板 11% 板張(並) 3% 石膏ボード(普通 板・目地棒なし) 9% 角タイル(並) 8%	一重回り縁(並) 12% 一重回り縁(中) 15% 合成樹脂壁紙(上) 53% 石綿スレート(吸 音板) 12% 合板天井(ラワン 合板) 5% 塩化ビニル 3% 断熱材(加)	杉(10.5cm ・中) 47% 大壁造(10.5 cm) 53%	織維壁(砂状のも の・中) 24% 合成樹脂壁紙(上) 45% プリント合板 11% 板張(並) 3% 石膏ボード(普通 板・目地棒なし) 9% 角タイル(並) 8%	角タイル(並) 9% 合成樹脂壁紙(下 地合板・並) 7% ラワン合板 20% プリント合板 26% 繊維壁(砂状のも の・中) 38%	二重回り縁(中) 10% 一重回り縁(中) 25% 一重回り縁(並) 20% 合板天井(ラワン 合板) 10% 軟質繊維板(化粧 板) 32%	畳(中) 22% 緑甲板張(中) 7% 寄木貼(なら) 47% 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張) 6% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 2% ラワン合板 13% クリンカータイル 3% 断熱材(加)	電鈴設備(トラン ス式) 浴槽(ほろろ製) 排気扇設備(径30 cm)	96,969円	
高知県 (高知市) 110.97㎡	日本瓦(中)	モルタル (リシン仕 上げ) 2% モルタル仕 上げ(モル タル厚1.8 cm程度) 3%	角タイル(並) 9% 合成樹脂壁紙(下 地合板・並) 7% ラワン合板 20% プリント合板 26% 繊維壁(砂状のも の・中) 38%	二重回り縁(中) 10% 一重回り縁(中) 25% 一重回り縁(並) 20% 合板天井(ラワン 合板) 10% 軟質繊維板(化粧 板) 32%	桧(10.5cm ・上) 10% 桧(10.5cm ・中) 30% 桧(10.5cm ・並) 20%	角タイル(並) 9% 合成樹脂壁紙(下 地合板・並) 7% ラワン合板 20% プリント合板 26% 繊維壁(砂状のも の・中) 38%	角タイル(並) 9% 合成樹脂壁紙(下 地合板・並) 7% ラワン合板 20% プリント合板 26% 繊維壁(砂状のも の・中) 38%	二重回り縁(中) 10% 一重回り縁(中) 25% 一重回り縁(並) 20% 合板天井(ラワン 合板) 10% 軟質繊維板(化粧 板) 32%	畳(中) 52% モザイクパーケッ ト(なら) 32% 角タイル(下地コ ンクリート) 2% モザイクタイル (下地板張) 1% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 3% 断熱材(加)	電鈴設備(電池式) 浴槽(ステンレス 製) 流し台(ステンレ ス張) 排気扇設備(径20 cm) 浄化槽(5人槽)	113,000円	

都道府県 (調査対象 市)	屋	根	外 壁	柱	内 壁	天 井	床	建 築 設 備	建 築 価 額 1.0m <sup>2</sup> 当たり
福 岡 県 (福岡市) 111.45m <sup>2</sup>		日本瓦(釉 薬) 90% 銅板 10%	着色亜鉛鉄 板成型板 (裏板なし ・上) 83% 小口二丁掛 タイル1% ボンタイル 吹付 11%	大壁造(10.5 cm) 40%  杉(10.5cm ・上) 40% 米桐(10.5 cm・中) 60%	繊維壁(下地合板 ・砂状のもの・中) 45% 繊維壁(下地合板 ・繊維状のもの・ 中) 10% 合成樹脂壁紙(下 地合板・並下) 15% プリント合板 15% ラワン合板 10% 角タイル(上) 5%	塩化ビニル(リブ 状) 3%	ラワン合板 10%  畳(中) 40% 緑甲板張(中) 15% 単板張合板 15% 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張) 15% ラワン合板 10% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 5%	電鈴設備(トラン ス式) 浴槽(ステンレス 製) 排気扇設備(径30 cm)	116,644円



都道府県 (調査対象 市)	屋根	外壁	柱	内壁	天井	床	建築設備	建築価額 1.0m <sup>3</sup> 当たり
佐賀県 (佐賀市) 115.74m <sup>2</sup>	セメント瓦	モルタル (リシン仕 上げ・中) 95% 小口二丁掛 タイル5% 断熱材(加)	杉(12.0cm ・上) 8% 杉(12.0cm ・中) 10% 杉(10.5cm ・上) 33% 杉(10.5cm ・中) 32% 杉(10.5cm ・並) 17%	プラスチック64% 石綿スレート(化 粧板) 9% 角タイル(上)6% 石膏ボード(化粧 板・目地棒あり) 3% 合成樹脂被覆合板 11% ラワン合板 7%	竿縁天井(一重回 り縁・中) 64% 軟質繊維板(化粧 板) 12% 合成樹脂(塩化ビ ニル) 6% 合成樹脂壁紙(中) 11% 合板天井(ラワン 合板) 7%	畳(中) 39% 縁甲板張(中) 23% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 3% 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張) 15% カーペット(下地 板張) 10% ラワン合板 7% クリンカータイル 3%	電鈴設備(トラン ス式) 浴槽(ほろろ製) 排気扇設備(径20 cm・径30cm)	98,300円
長崎県 (長崎市) 134.96m <sup>2</sup>	日本瓦(中)	モルタル (リシン仕 上・中)	桧(12.0cm ・中) 10% 桧(10.5cm ・中) 40% 大壁造(10.5 cm) 50%	繊維壁(砂状のも の・中) 30% 合成樹脂壁紙(下 地合板・並) 3% 単板張合板 45% プラスチック 4% 石綿スレート(化 粧板) 11% 角タイル(並) 7%	二重回り縁(並) 8% 一重回り縁(中) 20% 合板天井(ラワン 合板) 4% ポリエステル3% 石綿スレート(吸 音板) 38%	畳(中) 22% ラワン合板 4% 単板張合板 43% 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張) 24% モザイクタイル (下地コンクリー ト) 7%	電鈴設備(標示式) 浴槽(ほろろ製) 排気扇設備(径30 cm)	114,934円

都道府県 (調査対象) 市	屋	根	外	壁	柱	内	壁	天井	床	建築設備	建築価額 1.0㎡当たり
熊本県 (熊本市) 140.96㎡	セメント (色付) 67% 砂付ルーフ イング(シ ングル葺) 33% 断熱材(加)	モルタル (リシン仕 上げ・中) 断熱材(加)	杉(10.5cm ・上) 30% 杉(10.5cm ・中) 30% 大壁造(10.5 cm) 40%	京壁 40% 合成樹脂壁紙(下 地合板・中) 2.6% 合成樹脂壁紙(下 地合板・並) 15% 角タイル(上)6% ラワン合板13%	石膏ボード(吸音 板) 16% 合成樹脂壁紙(中) 11% 二重回り縁(並) 43% 布貼(中) 38% モルタル(リシン 仕上げ) 3% 石綿スレート(吸 音板) 5% 合板天井(ラワン 合板) 11%	畳(上) 35% 縁甲板張(上)6% 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張) 18% 単板張合板18% カーベット 8% 角タイル(下地コ ンクリート)3% モザイクタイル (下地コンクリ ート) 2% ラワン合板10%	電鈴設備(トラン ス式) 浴槽(ほろろ製) 流し台(ステンレ ス張) 排気扇設備(径30 cm) 浄化槽(7.5人槽)	109,000円			
大分県 (大分市) 113.95㎡	セメント瓦 (色付)	モルタル (色吹付仕 上げ)	桧(12.0cm ・中) 8% 桧(10.5cm ・中) 43%	角タイル(並)6% 合成樹脂壁紙(下 地合板・中) 35% ラワン合板 6% プリント合板7%	二重回り縁(並下) 21% 一重回り縁(中) 17% 合板天井(ラワン 合板) 9%	畳(中) 28% 縁甲板張(中)6% 軟質クッションフ ロア(下地板張・ 中) 11% 電鈴設備(電池式) 浴槽(ほろろ製) 排気扇設備(径20 cm)	94,500円				

都道府県 (調査対象市)	屋根	外壁	柱	内壁	天井	床	建築設備	建築価額 1.0m <sup>2</sup> 当たり
宮崎県 (宮崎市)	セメント瓦	石綿スレート(着色板)	杉(10.5cm・中) 11% 米桐(10.5cm・中) 15% 大壁造(10.5cm) 23%	繊維壁(下地合板・繊維状のもの・中) 41% 石綿スレート(化粧板) 5%	軟質繊維板(化粧板) 8% 石膏ボード(吸音板) 7% 合成樹脂壁紙(中) 34% 合成樹脂板 2% 板すのこ天井 2%	角タイル(下地コンクリート) 5% モザイクタイル(下地板張) 2% ラワン合板 16% プリント合板 23% じゅうたん(下地板張・下) 9%	電鈴設備(電池式) 浴槽(ほろろ製) 排気扇設備(径20cm) 浄化槽(5人槽)	89,089円
鹿兒島県 (鹿兒島市)	セメント瓦(色付)	モルタル刷毛引アクリルリシン吹付	杉(10.5cm・上) 37%	繊維壁(下地合板・砂状のもの・上) 14%	二重回り縁(プリント・並下) 15% 一重回り縁(プリント・並) 30% 軟質繊維板(化粧板) 30% 合板天井(ラワン合板) 5% 石綿スレート(吸音板) 15% ハスリブ 5%	モザイクタイル(下地コンクリート) 10% 単板張合板 25% ラワン合板 10% 畳(中) 25% 軟質クッションフロア(中・下地板張) 15% フローリング張 15%	電冷設備(電池式) 浴槽(ステンレス製)	85,000円

都道府県 (調査対象市)	屋根	外壁	柱	内壁	天井	床	建築設備	建築価額 1.0m <sup>2</sup> 当たり
10298m <sup>2</sup>			杉(10.5cm ・中)9% 杉(10.5cm ・並) 14% 大壁造(10.5 cm)40%	繊維壁(下地合板 ・綿状のもの・中) 5% 繊維壁(下地合板 ・綿状のもの・並) 11% 単板張合板32% ラワン合板24% 石膏ボード(化粧 板・目地棒あり) 6% 角タイル(並)8%	一重回り縁(竿縁 猿頬・並下) 24% 二重回り縁(竿縁 猿頬・並)21% 合板天井(ラワン 合板)11% 軟質繊維板(化粧 板)37% 塩化ビニル(リブ 状)3%	フローリング張 (板)22% 単板張合板6% ラワン合板13% モザイクタイル (下地コンクリー ト)3% 軟質クッションフ ロア(中・下地板 張)8% クリンカータイル 3%	流し台(ステンレ ス張) 排気扇設備(径30 cm)	
沖縄県 (那覇市)	スレート葺 (天然スレ ート)	硬質繊維板 合成樹脂系 ペイント (加)	杉(11.4cm) 25% 杉(10.0cm) 75%	ラワン合板20% プリント合板 54% 布貼(下地合板・ 並)8% 角タイル(並) 18%	岩綿繊維板51% 合板天井(ラワン 合板)5% 合板天井(プリン ト合板・上) 35% 塩化ビニル板9%	畳(中)30% 縁甲板張(中) 21% フローリング張 (なら)32% 杉板張(並)7% モザイクタイル (下地コンクリー ト)10%	浴槽(ポリエステ ル製) 排気扇設備(径20 cm)	102850円
12375m <sup>2</sup>								

IV 参考資料

1 主要建設材料の卸売物価指数

(昭和55年平均=100)

品目	昭和55年		昭和56年		昭和57年		(B)/(A)		(C)/(A)		
	1月	1月	1月	1月	1月	1月	(A)	(B)	(A)	(C)	
丸太	101.5	91.7	85.5	0.90	0.84	ボク	93.6	98.6	95.6	1.05	1.02
じゅうた	91.7	102.8	99.3	1.12	1.08	ぎ	94.7	96.0	93.0	1.01	0.98
タフテットカーペット	92.6	99.9	96.7	1.08	1.04	網	95.6	96.0	89.8	1.00	0.94
角材	109.5	84.2	83.7	0.77	0.76	プラスチック板	93.8	97.1	98.2	1.04	1.05
ひき割材	108.3	83.5	83.2	0.77	0.77	プラスチックシート	94.6	98.2	100.0	1.04	1.06
板	97.1	87.7	91.3	0.90	0.94	プラスチック化粧板	85.7	102.6	100.1	1.20	1.17
普通板	106.9	77.7	86.9	0.73	0.81	プラスチックタイル	97.6	103.0	102.7	1.06	1.05
特殊板	95.1	92.2	88.7	0.97	0.93	プラスチック発泡製品	92.7	97.7	93.6	1.05	1.01
フローリングボード	98.9	97.3	88.6	0.98	0.90	油性塗料	92.2	102.6	103.0	1.11	1.12
合板	96.0	92.1	88.6	0.96	0.92	油性塗料	93.7	102.8	104.3	1.10	1.11
パーティクルボード	87.7	92.0	88.7	1.05	1.01	合成樹脂塗料	94.0	101.7	103.8	1.08	1.10
ファイバーボード	93.6	101.9	98.6	1.09	1.05	合成樹脂塗料	88.9	103.7	108.0	1.17	1.21
木製ドア	95.4	101.4	93.2	1.06	0.98	アスファルト	81.8	108.2	133.5	1.32	1.63
ガ障子	93.0	103.6	103.6	1.11	1.11	普通板ガラス	96.9	110.8	108.2	1.14	1.12
障子	96.0	97.8	92.5	1.02	0.96	型ガラス	95.8	114.6	111.9	1.20	1.17
ふすま	96.9	101.7	99.1	1.05	1.02	ガラス短繊維製品	93.4	108.2	110.2	1.16	1.18
アスファルト塗工紙	92.3	90.0	90.3	0.98	0.98	セメント	84.2	105.8	106.3	1.26	1.26
軽棒	96.2	94.9	92.4	0.99	0.96	生コンクリート	91.2	101.8	100.7	1.12	1.10
棒	103.7	85.5	77.4	0.82	0.75	石綿セメント板	95.4	101.3	101.3	1.06	1.06
亜鉛系表面処理鋼板	92.5	101.5	101.9	1.10	1.10	波形石綿シート	92.5	102.2	101.1	1.10	1.09
ステンレス鋼板	93.8	101.6	102.2	1.08	1.09	セメントがわら	88.6	101.8	101.8	1.15	1.15
銅板	90.7	100.7	96.9	1.11	1.07	厚形スレート	86.1	103.0	103.0	1.20	1.20
アルミニウム板	103.9	84.1	78.7	0.81	0.76	軽量気泡コンクリート	95.6	102.7	97.8	1.07	1.02
アルミニウム合金板	85.7	101.2	94.6	1.18	1.10	粘土がわら	89.8	99.6	93.0	1.11	1.04
アルミニウムサッシ	89.6	96.9	91.4	1.08	1.02	衛生陶器	91.9	102.9	102.9	1.12	1.12
スチールサッシ	90.8	106.7	97.6	1.18	1.07	タイル	93.4	111.0	111.0	1.19	1.19
アルミニウムドア	96.0	104.2	104.2	1.09	1.09	石こうボード	96.4	94.1	108.0	0.98	1.12
スチールドア	94.4	105.1	99.8	1.11	1.06	割く砂	100.0	100.0	99.5	1.00	1.00
シヤッター	96.1	104.1	104.1	1.08	1.08	割く砂	98.3	100.8	100.3	1.03	1.02
建具用取付具	95.3	105.1	109.4	1.10	1.15	量	82.3	97.9	93.5	1.19	1.14
	96.0	101.1	100.6	1.05	1.05	量	107.9	97.8	96.1	0.91	0.89

〔昭和57年基準卸売物価指数〕(日本銀行調)

2 建築工事職種別労務費の上昇状況

(円、%)

区分	木				工			
	55年4月(A)	56年4月(B)	57年4月(C)	58年4月(D)	(B) / (A)	(C) / (A)	(D) / (A)	(D) / (A)
大工	9,060	12,450	12,630	12,890	1.37	1.39	1.42	1.42
屋葺工	8,900	11,300	11,940	12,320	1.27	1.34	1.38	1.38
板金工	8,420	10,150	10,630	11,110	1.21	1.26	1.32	1.32
左官	9,040	12,380	12,990	13,140	1.37	1.44	1.45	1.45
石工	10,030	14,460	15,410	15,730	1.44	1.54	1.57	1.57
タイル工	9,110	11,520	11,950	12,250	1.26	1.31	1.34	1.34
たみ工	8,280	10,330	10,840	10,990	1.25	1.31	1.33	1.33
土工	6,850	-	-	-	-	-	-	-
塗工	8,820	12,240	12,700	12,720	1.39	1.44	1.44	1.44
ブロック・レンガ工	9,400	11,700	12,240	12,500	1.24	1.30	1.33	1.33
木製建具工	8,070	10,110	10,670	10,930	1.25	1.32	1.35	1.35
金属製建具工	8,220	10,540	11,110	11,640	1.28	1.35	1.42	1.42
ガラス工	8,180	11,060	11,680	12,060	1.35	1.43	1.47	1.47
内装工	8,010	10,490	11,010	11,150	1.31	1.37	1.39	1.39

(財団法人経済調査会調)

3 都道府県別木造居住用建物の工事予定単価（昭和53年～57年）

（工事費予定額単位：円、指数東京：100）

都道府県	昭和53年		昭和54年		昭和55年		昭和56年		昭和57年	
	1㎡当たり 予定額	指 数	1㎡当たり 予定額	指 数	1㎡当たり 予定額	指 数	1㎡当たり 予定額	指 数	1㎡当たり 予定額	指 数
北海道	77,229	81.0	82,722	82.3	95,770	83.9	98,937	81.4	100,784	80.5
青森	58,071	60.9	62,582	62.2	73,198	64.1	75,911	62.5	77,787	62.1
岩手	64,447	67.6	69,833	69.5	79,429	69.5	81,207	66.8	83,475	66.7
宮城	69,933	73.4	75,936	75.5	88,158	77.2	92,667	76.3	95,647	76.4
秋田	60,569	63.6	64,345	64.0	71,887	62.9	73,681	60.6	75,538	60.3
山形	69,395	72.8	74,854	74.5	85,675	75.0	86,911	71.5	87,747	70.1
福島	68,335	71.7	73,524	73.1	85,695	75.0	89,139	73.4	91,280	72.9
茨城	75,156	78.9	80,023	79.6	91,809	80.4	96,441	79.4	99,168	79.2
栃木	72,315	75.9	77,238	76.8	89,088	78.8	92,894	76.5	96,497	77.1
群馬	73,492	77.1	78,665	78.2	92,370	80.9	95,662	78.7	98,004	78.3
埼玉	85,352	89.6	91,558	91.1	103,800	90.9	110,352	90.8	112,737	90.1
千葉	88,903	93.3	93,859	93.4	105,508	92.4	111,772	92.0	114,916	91.8
東京都	95,287	100.0	100,536	100.0	114,210	100.0	121,498	100.0	125,183	100.0
神奈川県	93,632	98.3	96,907	96.4	110,013	96.3	118,632	97.6	123,155	98.4
新潟	68,140	71.8	73,714	73.3	85,558	74.9	87,780	72.2	89,536	71.5
富山	75,812	79.6	82,752	82.3	95,671	83.8	98,818	81.3	100,625	80.4
石川	74,928	78.6	81,379	80.9	95,115	83.3	98,149	80.8	100,553	80.3
福井	75,461	79.2	80,997	80.6	95,371	83.5	99,146	81.6	101,295	80.9
山梨	76,608	80.4	81,981	81.5	96,603	84.6	100,664	82.9	104,504	83.5
長野	72,237	75.8	78,380	78.0	93,972	82.3	97,129	79.9	99,830	79.7
岐阜	76,851	80.7	81,903	81.5	95,453	83.6	99,688	82.0	102,695	82.0
静岡県	79,664	83.6	84,529	84.1	98,680	86.4	105,093	86.5	108,800	86.9
愛知県	82,961	87.1	88,688	88.2	102,017	89.3	107,812	88.7	110,760	88.5
三重	87,783	92.1	92,870	92.4	105,000	91.9	108,454	89.3	112,068	89.5
滋賀	84,383	88.6	89,344	88.9	100,828	88.3	104,301	85.8	107,635	86.0
京都	90,489	95.0	96,081	95.6	107,917	94.5	114,875	94.5	120,408	96.2
大阪	90,165	94.6	93,978	93.5	105,809	92.6	117,392	96.6	121,059	96.7
兵庫県	89,452	93.9	93,376	92.9	104,596	91.6	111,231	91.5	114,392	91.4
奈良	89,503	93.9	93,986	93.5	105,045	92.0	113,371	93.3	117,138	93.6
和歌山	91,599	96.1	96,666	96.2	109,652	96.0	114,830	94.5	116,755	93.3
鳥取	78,046	81.9	83,828	83.4	98,127	85.9	101,997	83.9	102,349	81.8
島根	81,990	86.0	84,978	84.5	98,100	85.0	100,603	82.8	102,403	81.8
岡山	79,789	83.7	84,740	84.3	97,222	85.1	101,740	83.7	104,259	83.3
広島	71,874	80.7	81,610	81.2	95,000	83.2	100,639	82.8	104,149	83.2
山口	81,753	85.8	86,452	86.0	100,205	87.7	107,718	88.7	110,609	88.4
徳島	78,248	82.1	83,961	83.5	98,056	85.9	102,669	84.5	104,792	83.7
香川	77,690	81.5	83,660	83.2	96,651	84.6	101,883	83.9	102,939	82.2
愛媛	73,748	77.4	78,683	78.3	89,519	78.4	93,440	76.9	95,935	76.6
高知	78,577	82.5	84,516	84.1	98,099	85.9	102,461	84.3	103,701	82.8
福岡	80,202	84.2	84,494	85.0	97,317	85.2	101,744	83.7	104,204	83.2
佐賀	73,368	77.0	78,592	78.2	90,441	79.2	94,443	77.7	96,655	77.2
長崎	73,936	77.6	78,449	78.0	89,814	78.6	93,327	76.8	95,237	76.1
熊本	71,562	75.1	76,813	76.4	88,481	77.5	90,555	74.5	91,974	73.5
大分	71,435	75.0	75,999	75.6	86,739	75.9	90,864	74.8	93,294	74.5
宮崎	70,028	73.5	74,334	73.9	84,510	74.0	86,687	71.3	87,965	70.3
鹿児島	71,361	74.9	75,805	75.4	86,175	75.5	88,254	72.6	88,573	70.8
沖縄	76,603	80.4	77,684	77.3	97,419	85.3	90,350	74.4	100,223	80.1
(平均)	80,161	84.1	85,040	84.6	97,546	85.4	99,443	81.8	102,113	81.6

「建設省建築統計年報」（建設省調）

4 消費者物価指数（昭和57年総合）

（東京：100）

北海道	札幌市	95.5	滋賀	大津市	92.8
青森	青森市	92.4	京都	京都市	96.1
岩手	盛岡市	90.3	大阪	大阪市	94.8
宮城	仙台市	93.9	兵庫	神戸市	94.1
秋田	秋田市	91.4	奈良	奈良市	92.8
山形	山形市	94.0	和歌山	和歌山市	94.0
福島	福島市	90.9	鳥取	鳥取市	91.5
茨城	水戸市	92.6	島根	松江市	92.4
栃木	宇都宮市	91.7	岡山	岡山市	93.5
群馬	前橋市	90.6	広島	広島市	92.5
埼玉	浦和市	93.5	山口	山口市	90.4
千葉	千葉市	93.7	徳島	徳島市	92.2
東京都	東京都区部	100.0	香川	高松市	90.6
神奈川	横浜市	98.6	愛媛	松山市	90.0
新潟	新潟市	93.8	高知	高知市	92.7
富山	富山市	93.0	福岡	福岡市	92.9
石川	金沢市	93.4	佐賀	佐賀市	91.0
福井	福井市	92.7	長崎	長崎市	92.3
山梨	甲府市	92.1	熊本	熊本市	90.6
長野	長野市	91.1	大分	大分市	90.0
岐阜	岐阜市	91.8	宮崎	宮崎市	89.5
静岡	静岡市	95.0	鹿児島	鹿児島市	91.7
愛知	名古屋	95.0	沖縄	那覇市	91.8
三重	津市	90.7	（全国平均）		91.9

「消費者物価指数月報昭和58年6月号」（総理府調）





